

## 第2章 公共施設再編のあり方に関する市民アンケート調査

### 1 調査の概要

#### (1) 目的

高島市における公共施設の再編のあり方を検討する上での基礎資料とするため、市民の公共施設の利用状況、今後の整備、維持・管理、再編等に対する意識・意向等を把握することを目的に、市民を対象としたアンケート調査を実施した。

#### (2) 調査名

公共施設の再編のあり方に関する市民アンケート調査  
－高島市の健全な公共施設の整備や管理・運営に向けて－

#### (3) 調査対象

平成27年7月31日現在の住民基本台帳から18歳以上の市民3,000人を層化抽出(地区別人口の構成比に合わせて、旧6町村別にサンプルを設定)。

図表2-1 平成27年7月31日現在データによるサンプル割当

地区	全体人口	地区別人口(18歳以上)	地区別人口構成比	サンプル割当
マキノ	5,992	5,250	11.97	359
今津	12,151	10,322	23.54	706
朽木	1,976	1,725	3.93	118
安曇川	13,415	11,585	26.42	792
高島	6,439	5,504	12.55	377
新旭	11,306	9,471	21.60	648
合計	51,279	43,857	100.0	3,000

#### (4) 調査項目

- ①公共施設の利用状況(4問)
- ②公共施設の再編のあり方(4問)
- ③公共施設の再編の方法(2問)
- ④公共施設の再編に係る市民理解・協力(1問)
- ⑤回答者属性(5問)

#### (5) 調査方法

##### ①配布・回収方法

配布方法：市の封筒による郵送

回収方法：返信用封筒による郵送(返送先は高島市総務部行財政改革課)

配布物：アンケート調査票・返信用封筒

## (6) 調査の体制

学識経験者、高島市、(一財) 地方自治研究機構で組織する「合併市町村における公共施設の再編に関する調査研究」(第1回委員会)において、アンケート調査の設問項目、調査方法などの検討を行った。委員会に提出する調査票案の作成については、調査事務局である高島市、地方自治研究機構、基礎調査機関(朝日航洋株式会社)が担当した。また、委員会の意見に基づく修正案については事務局が作成し、第1回委員会後に委員長の意見等を反映しながら、最終調査票案を作成した。配布用調査票については、メール(PDF版調査票を添付)にて、委員長の承認を得た。

## (7) 調査に係る作業及び日程

調査の作業及び日程は下記のとおりとなっている。

図表 2-2 調査に係る作業及び日程の状況

作業	日程	担当
(1) 調査票案の作成	6月	市・機構・基礎調査機関
(2) 調査票案の審議	7月23日	第1回委員会
(3) 調査票案の修正	7月24日～8月11日	市・機構・基礎調査機関
(4) 最終調査票の確定	8月12日	委員長協議・確認
(5) 調査の実施	8月21日～9月4日	市
(6) 調査の分析	9月～10月	機構・基礎調査機関
(7) アンケート調査報告書作成	10月	市・機構・基礎調査機関
(8) アンケート調査結果報告	11月6日	第2回委員会

## (8) 回収状況

配布票数 3,000 票(うち、未達 30 票)、回収票数 1,330 票、有効回収票数 1,330 票、回収率 43.33%  
(有効回収票ベース)。

## (9) 利用上の注意

- ①図表の n とは回答者の総数、%は全体に占める割合を示す。
- ②クロス集計においては、表側の項目は不明を除いてあるため、累計値は「合計」と一致しないものがある。
- ③図表のタイトルにある「SA」はシングルアンサーの略で、選択肢の中から1つだけ回答する設問、「MA」はマルチアンサーの略で、選択肢の中から複数回答する設問(例: MA 3は選択肢の中から3つ選択する設問)、となっている。
- ④各設問の回答結果は不明(無回答・無効回答等)を含む調査数(回答総数)を基数として、全体(票数)、%(割合)を示している。
- ⑤対象者を特定した設問(例: 前問で「はい」と回答した人だけお答えください、50歳以上の方だけお答え下さい等)の回答結果は非該当を除く調査数(回答総数)を基数として、全体(票数)、%(割合)を示している。なお、非該当者数は図表中に「非該当」として示している。
- ⑥回答結果の%(割合)表示は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、全体の合計値は必ずしも100.0%とならない。
- ⑦複数回答(MA)の中で回答個数が指定されている設問(「主なもの3つを選択」等)のうち、

回答数が指定数に満たない回答（1つのみ、2つのみが回答される場合）であっても有効回答として集計した。

- ⑧複数回答（MA）の矛盾回答（「わからない」や「特にない」と他の選択肢が回答されている場合）は、「わからない」、「特にない」の回答を無効とし、他の選択肢の回答を有効として集計した。

## 2 公共施設の利用状況

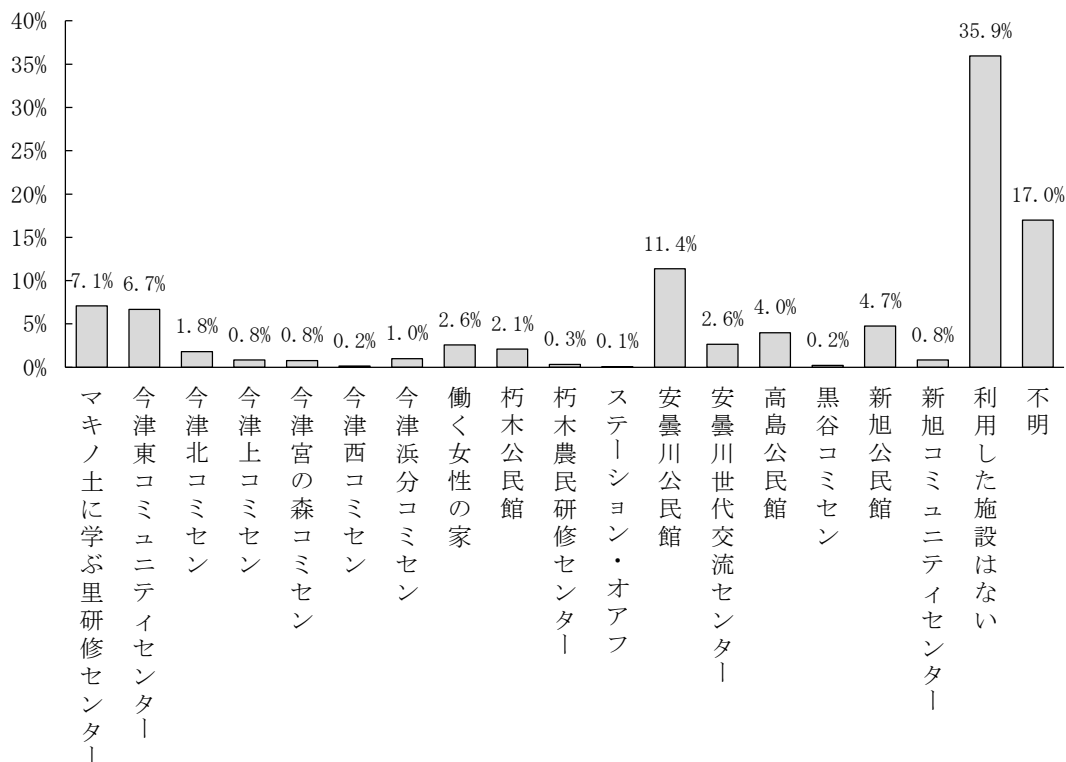
### (1) 過去1年間の利用状況

問1 市内に複数整備されている公共施設のうち、過去1年間にあなたが最もよく利用した公共施設はどれですか？（公共施設の種類別にそれぞれ1つずつ〇印）

#### ① 公民館・コミュニティセンター

過去1年間の公民館・コミュニティセンターの利用状況は、「利用した施設はない」(35.9%)が最も高く、以下、「安曇川公民館」(11.4%)、「マキノ土に学ぶ里研修センター(マキノ公民館)」(7.1%)、「今津東コミュニティセンター」(6.7%)、「今津北コミセン」(1.8%)、「今津上コミセン」(0.8%)、「今津宮の森コミセン」(0.8%)、「今津西コミセン」(0.2%)、「今津浜分コミセン」(1.0%)、「働く女性の家」(2.6%)、「朽木公民館」(2.1%)、「朽木農民研修センター」(0.3%)、「ステーション・オアフ」(0.1%)、「安曇川公民館」(11.4%)、「安曇川世代交流センター」(2.6%)、「高島公民館」(4.0%)、「黒谷コミセン」(0.2%)、「新旭公民館」(4.7%)、「新旭コミュニティセンター」(0.8%)、「利用した施設はない」(35.9%)、「不明」(17.0%)となっている。累計すると、市内の公民館・コミュニティセンターのいずれかを「利用した人」は47.1%、「利用していない人」は35.9%となっている。

図表2-3 公民館・コミュニティセンターの利用状況（SA）



No.	カテゴリー名	n	%
1	マキノ土に学ぶ里研修センター（マキノ公民館）	94	7.1
2	今津東コミュニティセンター	89	6.7
3	今津北コミセン（今津公民館）	24	1.8
4	今津上コミセン	11	0.8
5	今津宮の森コミセン	10	0.8
6	今津西コミセン	2	0.2
7	今津浜分コミセン	13	1.0
8	働く女性の家	34	2.6
9	朽木公民館（やまびこ館）	28	2.1
10	朽木農民研修センター	4	0.3
11	ステーションオアフ	1	0.1
12	安曇川公民館	151	11.4
13	安曇川世代交流センター	35	2.6
14	高島公民館	53	4.0
15	黒谷コミセン	3	0.2
16	新旭公民館	63	4.7
17	新旭コミュニティセンター「ほおじろ荘」	11	0.8
18	利用した施設はない	478	35.9
	不明	226	17.0
	全体（回答者数）	1,330	100.0

図表 2-4 公民館・コミュニティセンターの利用状況 (SA)

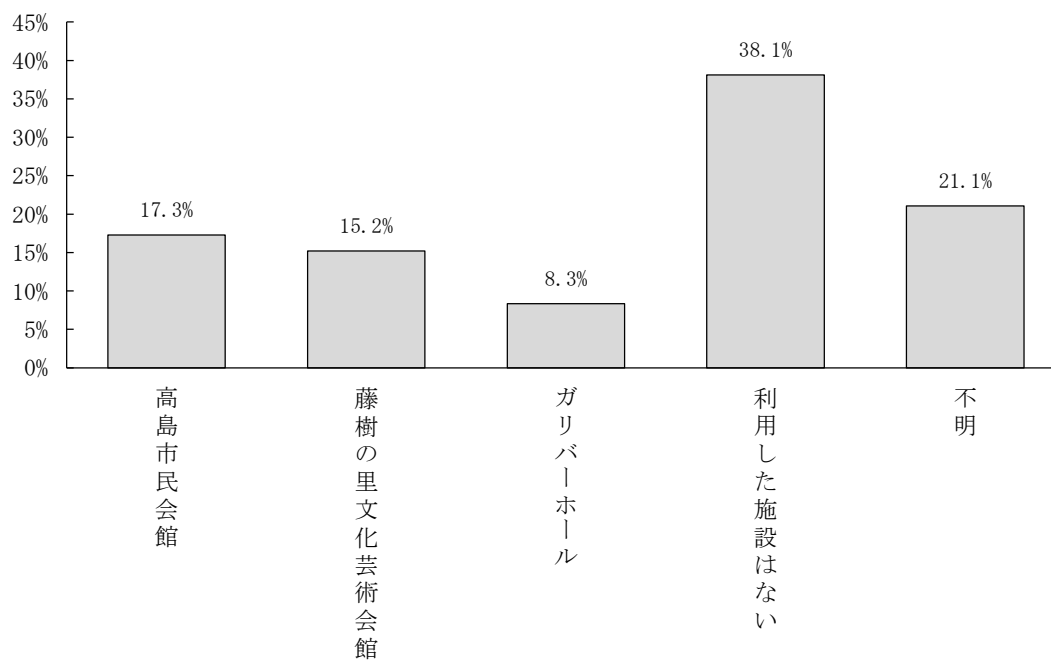
区分	調査数	マキノ土に学ぶ里研修センター	今津東コミュニティセンター	今津北コミセン	今津上コミセン	今津宮の森コミセン	今津西コミセン	今津浜分コミセン	働く女性の家	朽木公民館(やまびこ館)	朽木農民研修センター	ステーション・オアフ	安曇川公民館	安曇川世代交流センター	高島公民館	
合計	1,330 100.0	94 7.1	89 6.7	24 1.8	11 0.8	10 0.8	2 0.2	13 1.0	34 2.6	28 2.1	4 0.3	1 0.1	151 11.4	35 2.6	53 4.0	
性別	男性	559 100.0	44 7.9	38 6.8	14 2.5	4 0.7	4 0.7	2 0.4	5 0.9	7 1.3	7 1.3	3 0.5	1 0.2	60 10.7	13 2.3	20 3.6
	女性	726 100.0	47 6.5	50 6.9	9 1.2	6 0.8	6 0.8	0 0.0	8 1.1	27 3.7	19 2.6	1 0.1	0 0.0	86 11.8	21 2.9	31 4.3
年齢	10代	20 100.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	97 100.0	5 5.2	5 5.2	5 5.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.1	1 1.0	0 0.0	0 0.0	5 5.2	4 4.1	4 4.1
	30代	102 100.0	5 4.9	6 5.9	1 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0	6 5.9	2 2.0	0 0.0	0 0.0	21 20.6	0 0.0	1 1.0
	40代	159 100.0	13 8.2	10 6.3	1 0.6	1 0.6	1 0.6	0 0.0	2 1.3	7 4.4	3 1.9	0 0.0	1 0.6	23 14.5	3 1.9	6 3.8
	50代	198 100.0	10 5.1	18 9.1	5 2.5	1 0.5	1 0.5	0 0.0	1 0.5	6 3.0	3 1.5	0 0.0	0 0.0	16 8.1	5 2.5	3 1.5
	60代	353 100.0	35 9.9	25 7.1	6 1.7	4 1.1	5 1.4	0 0.0	3 0.8	6 1.7	9 2.5	1 0.3	0 0.0	40 11.3	10 2.8	14 4.0
	70代	251 100.0	21 8.4	16 6.4	4 1.6	4 1.6	1 0.4	1 0.4	4 1.6	5 2.0	7 2.8	2 0.8	0 0.0	34 13.5	9 3.6	17 6.8
	80代以上	141 100.0	5 3.5	8 5.7	1 0.7	1 0.7	2 1.4	2 0.7	2 1.4	1 0.7	2 1.4	1 0.7	1 0.0	11 7.8	4 2.8	8 5.7
職業等	農林漁業	63 100.0	10 15.9	3 4.8	2 3.2	3 4.8	1 1.6	1 1.6	1 1.6	0 0.0	1 1.6	1 1.6	0 0.0	6 9.5	1 1.6	4 6.3
	商・工・サービス業等の自営	88 100.0	9 10.2	7 8.0	2 2.3	1 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.1	1 1.1	0 0.0	0 0.0	13 14.8	1 1.1	2 2.3
	会社員・会社役員	246 100.0	18 7.3	16 6.5	6 2.4	0 0.0	1 0.4	0 0.0	1 0.4	9 3.7	2 0.8	0 0.0	1 0.4	17 6.9	3 1.2	10 4.1
	公務員・団体職員	94 100.0	6 6.4	7 7.4	1 1.1	1 1.1	1 1.1	0 0.0	1 1.1	3 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 14.9	3 3.2	2 2.1
	専業主婦(夫)	181 100.0	17 9.4	12 6.6	1 0.6	1 0.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0	3 1.7	4 2.2	1 0.6	0 0.0	36 19.9	5 2.8	6 3.3
	アルバイト・パート	175 100.0	8 4.6	15 8.6	5 2.9	3 1.7	1 0.6	0 0.0	1 0.6	9 5.1	6 3.4	0 0.0	0 0.0	15 8.6	4 2.3	2 1.1
	学生(高校・専門学校・大学等)	39 100.0	0 0.0	0 0.0	2 5.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0	0 0.0	1 2.6	2 5.1	2 5.1
	無職	402 100.0	26 6.5	25 6.2	5 1.2	2 0.5	5 1.2	1 0.2	7 1.7	9 2.2	13 3.2	2 0.5	0 0.0	44 10.9	15 3.7	23 5.7
	その他	28 100.0	0 0.0	3 10.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 14.3	1 3.6	2 7.1
居住年数	5年未満	45 100.0	1 2.2	2 4.4	1 2.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 11.1	0 0.0	1 2.2
	5年以上10年未満	48 100.0	3 6.3	3 6.3	1 2.1	1 2.1	0 0.0	0 0.0	1 2.1	1 2.1	0 0.0	0 0.0	5 10.4	0 0.0	1 2.1	
	10年以上20年未満	148 100.0	13 8.8	9 6.1	2 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.4	8 5.4	4 2.7	0 0.0	0 0.0	19 12.8	2 1.4	6 4.1
	20年以上30年未満	195 100.0	10 5.1	16 8.2	6 3.1	2 1.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	5 2.6	1 0.5	0 0.0	0 0.0	16 8.2	6 3.1	10 5.1
	30年以上	886 100.0	67 7.6	58 6.5	14 1.6	8 0.9	10 1.1	2 0.2	9 1.0	19 2.1	23 2.6	4 0.5	1 0.1	105 11.9	27 3.0	35 4.0
居住地区	マキノ地域	166 100.0	74 44.6	6 3.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 4.2	0 0.0	0 0.0
	今津地域	313 100.0	14 4.5	61 19.5	22 7.0	10 3.2	10 3.2	2 0.6	11 3.5	15 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 1.3	3 1.0	0 0.0
	朽木地域	63 100.0	0 0.0	1 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	27 42.9	4 6.3	1 1.6	7 11.1	0 0.0	0 0.0
	安曇川地域	336 100.0	0 0.0	6 1.8	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 1.2	1 0.3	0 0.0	0 0.0	110 32.7	29 8.6	2 0.6
	高島地域	167 100.0	0 0.0	4 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	2 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 4.2	0 0.0	47 28.1
	新旭地域	274 100.0	6 2.2	10 3.6	0 0.0	1 0.4	0 0.0	0 0.0	1 0.4	9 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 5.5	3 1.1	4 1.5

区分		調査数	黒谷コミセン	新旭公民館	新旭コミュニティセンター 「ほおじろ荘」	利用した施設はない	不明
合計		1,330 100.0	3 0.2	63 4.7	11 0.8	478 35.9	226 17.0
性別	男性	559 100.0	1 0.2	28 5.0	5 0.9	215 38.5	88 15.7
	女性	726 100.0	2 0.3	32 4.4	6 0.8	252 34.7	123 16.9
年齢	10代	20 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 65.0	4 20.0
	20代	97 100.0	1 1.0	4 4.1	1 1.0	44 45.4	16 16.5
	30代	102 100.0	1 1.0	2 2.0	2 2.0	47 46.1	7 6.9
	40代	159 100.0	0 0.0	7 4.4	0 0.0	59 37.1	22 13.8
	50代	198 100.0	0 0.0	11 5.6	0 0.0	84 42.4	34 17.2
	60代	353 100.0	0 0.0	18 5.1	2 0.6	125 35.4	50 14.2
	70代	251 100.0	1 0.4	17 6.8	5 2.0	61 24.3	42 16.7
	80代以上	141 100.0	0 0.0	4 2.8	1 0.7	42 29.8	47 33.3
職業等	農林漁業	63 100.0	0 0.0	7 11.1	0 0.0	12 19.0	10 15.9
	商・工・サービス業等の の自営	88 100.0	0 0.0	6 6.8	1 1.1	35 39.8	9 10.2
	会社員・会社役員	246 100.0	0 0.0	8 3.3	2 0.8	115 46.7	37 15.0
	公務員・団体職員	94 100.0	0 0.0	6 6.4	1 1.1	35 37.2	13 13.8
	専業主婦（夫）	181 100.0	1 0.6	9 5.0	1 0.6	60 33.1	23 12.7
	アルバイト・パート	175 100.0	0 0.0	7 4.0	1 0.6	74 42.3	24 13.7
	学生（高校・専門学校・ 大学等）	39 100.0	1 2.6	2 5.1	0 0.0	21 53.8	7 17.9
	無職	402 100.0	1 0.2	17 4.2	5 1.2	110 27.4	92 22.9
	その他	28 100.0	0 0.0	1 3.6	0 0.0	10 35.7	6 21.4
	居住 年数	5年未満	45 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	22 48.9
5年以上10年未満		48 100.0	0 0.0	2 4.2	1 2.1	19 39.6	10 20.8
10年以上20年未満		148 100.0	0 0.0	2 1.4	2 1.4	56 37.8	23 15.5
20年以上30年未満		195 100.0	1 0.5	3 1.5	2 1.0	73 37.4	43 22.1
30年以上		886 100.0	2 0.2	56 6.3	6 0.7	305 34.4	135 15.2
居住 地区	マキノ地域	166 100.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	56 33.7	17 10.2
	今津地域	313 100.0	0 0.0	2 0.6	0 0.0	106 33.9	53 16.9
	朽木地域	63 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 22.2	9 14.3
	安曇川地域	336 100.0	0 0.0	3 0.9	0 0.0	119 35.4	61 18.2
	高島地域	167 100.0	1 0.6	1 0.6	2 1.2	69 41.3	33 19.8
	新旭地域	274 100.0	1 0.4	57 20.8	9 3.3	111 40.5	47 17.2

## ②文化ホール

過去1年間の文化ホールの利用状況は、「利用した施設はない」(38.1%)が最も高く、以下、「高島市民会館」(17.3%)、「藤樹の里文化芸術会館」(15.2%)、「ガリバーホール」(8.3%)となっている。累計すると、市内の文化ホールのいずれかを「利用した人」は40.8%、「利用していない人」は38.1%となっている。

図表2-5 文化ホールの利用状況 (S A)



No.	カテゴリー名	n	%
1	高島市民会館	230	17.3
2	藤樹の里文化芸術会館	202	15.2
3	ガリバーホール	111	8.3
4	利用した施設はない	507	38.1
	不明	280	21.1
	全体 (回答者数)	1,330	100.0



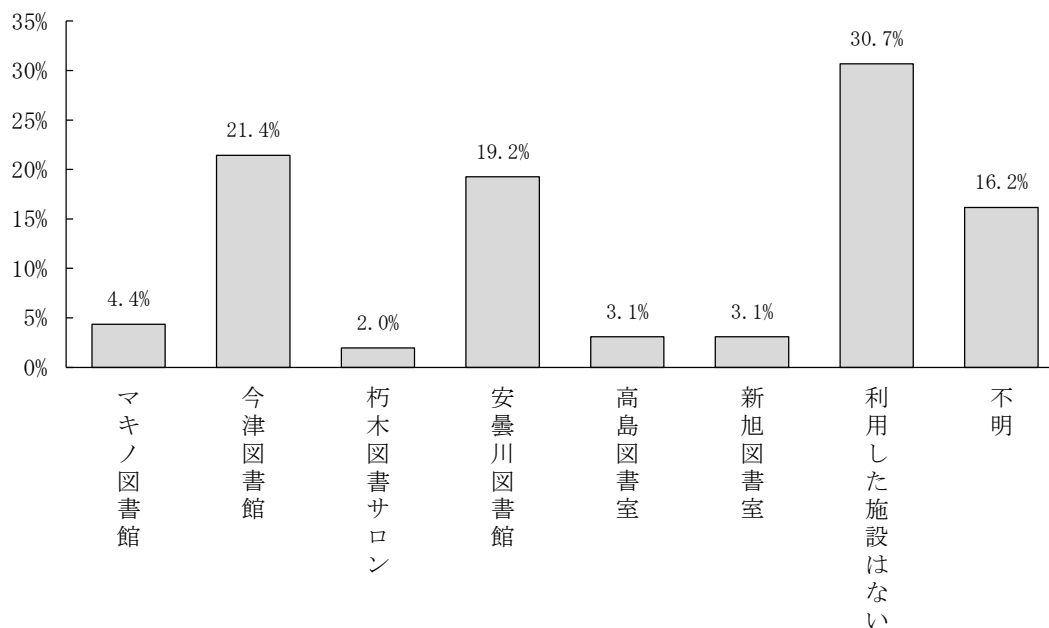
図表 2-6 文化ホールの利用状況 (S A)

区分		調査数	高島市民会館	藤樹の里文化芸術会館	ガリバーホール	利用した施設はない	不明
合計		1,330 100.0	230 17.3	202 15.2	111 8.3	507 38.1	280 21.1
性別	男性	559 100.0	99 17.7	89 15.9	35 6.3	226 40.4	110 19.7
	女性	726 100.0	125 17.2	109 15.0	76 10.5	265 36.5	151 20.8
年齢	10代	20 100.0	2 10.0	3 15.0	1 5.0	12 60.0	2 10.0
	20代	97 100.0	15 15.5	7 7.2	8 8.2	47 48.5	20 20.6
	30代	102 100.0	12 11.8	20 19.6	12 11.8	49 48.0	9 8.8
	40代	159 100.0	15 9.4	30 18.9	23 14.5	68 42.8	23 14.5
	50代	198 100.0	36 18.2	29 14.6	12 6.1	85 42.9	36 18.2
	60代	353 100.0	67 19.0	57 16.1	26 7.4	142 40.2	61 17.3
	70代	251 100.0	60 23.9	40 15.9	20 8.0	65 25.9	66 26.3
	80代以上	141 100.0	23 16.3	14 9.9	9 6.4	37 26.2	58 41.1
職業等	農林漁業	63 100.0	12 19.0	13 20.6	1 1.6	19 30.2	18 28.6
	商・工・サービス業等の自営	88 100.0	19 21.6	12 13.6	4 4.5	38 43.2	15 17.0
	会社員・会社役員	246 100.0	34 13.8	35 14.2	24 9.8	112 45.5	41 16.7
	公務員・団体職員	94 100.0	20 21.3	17 18.1	11 11.7	35 37.2	11 11.7
	専業主婦(夫)	181 100.0	31 17.1	36 19.9	15 8.3	68 37.6	31 17.1
	アルバイト・パート	175 100.0	31 17.7	20 11.4	17 9.7	80 45.7	27 15.4
	学生(高校・専門学校・大学等)	39 100.0	4 10.3	4 10.3	4 10.3	20 51.3	7 17.9
	無職	402 100.0	70 17.4	58 14.4	34 8.5	124 30.8	116 28.9
	その他	28 100.0	7 25.0	5 17.9	1 3.6	6 21.4	9 32.1
居住年数	5年未満	45 100.0	3 6.7	4 8.9	1 2.2	24 53.3	13 28.9
	5年以上10年未満	48 100.0	7 14.6	5 10.4	7 14.6	19 39.6	10 20.8
	10年以上20年未満	148 100.0	22 14.9	23 15.5	15 10.1	63 42.6	25 16.9
	20年以上30年未満	195 100.0	32 16.4	25 12.8	19 9.7	72 36.9	47 24.1
	30年以上	886 100.0	166 18.7	143 16.1	68 7.7	328 37.0	181 20.4
居住地区	マキノ地域	166 100.0	44 26.5	21 12.7	8 4.8	64 38.6	29 17.5
	今津地域	313 100.0	113 36.1	22 7.0	7 2.2	109 34.8	62 19.8
	朽木地域	63 100.0	11 17.5	11 17.5	2 3.2	26 41.3	13 20.6
	安曇川地域	336 100.0	20 6.0	81 24.1	27 8.0	135 40.2	73 21.7
	高島地域	167 100.0	10 6.0	21 12.6	44 26.3	57 34.1	35 21.0
	新旭地域	274 100.0	32 11.7	44 16.1	23 8.4	114 41.6	61 22.3

### ③図書館・図書室

過去1年間の図書館・図書室の利用状況は、「利用した施設はない」(30.7%)が最も高く、以下、「今津図書館」(21.4%)、「安曇川図書館」(19.2%)、「マキノ図書館」(4.4%)、「高島図書室(高島公民館内)」(3.1%)、「新旭図書室(新旭公民館内)」(3.1%)、「朽木図書サロン(朽木公民館内)」(2.0%)となっている。累計すると、市内の図書館・図書室のいずれかを「利用した人」は53.2%、「利用していない人」は30.7%となっている。

図表2-7 図書館・図書室の利用状況(SA)



No.	カテゴリー名	n	%
1	マキノ図書館	58	4.4
2	今津図書館	285	21.4
3	朽木図書サロン(朽木公民館内)	26	2.0
4	安曇川図書館	256	19.2
5	高島図書室(高島公民館内)	41	3.1
6	新旭図書室(新旭公民館内)	41	3.1
7	利用した施設はない	408	30.7
	不明	215	16.2
	全体(回答者数)	1,330	100.0

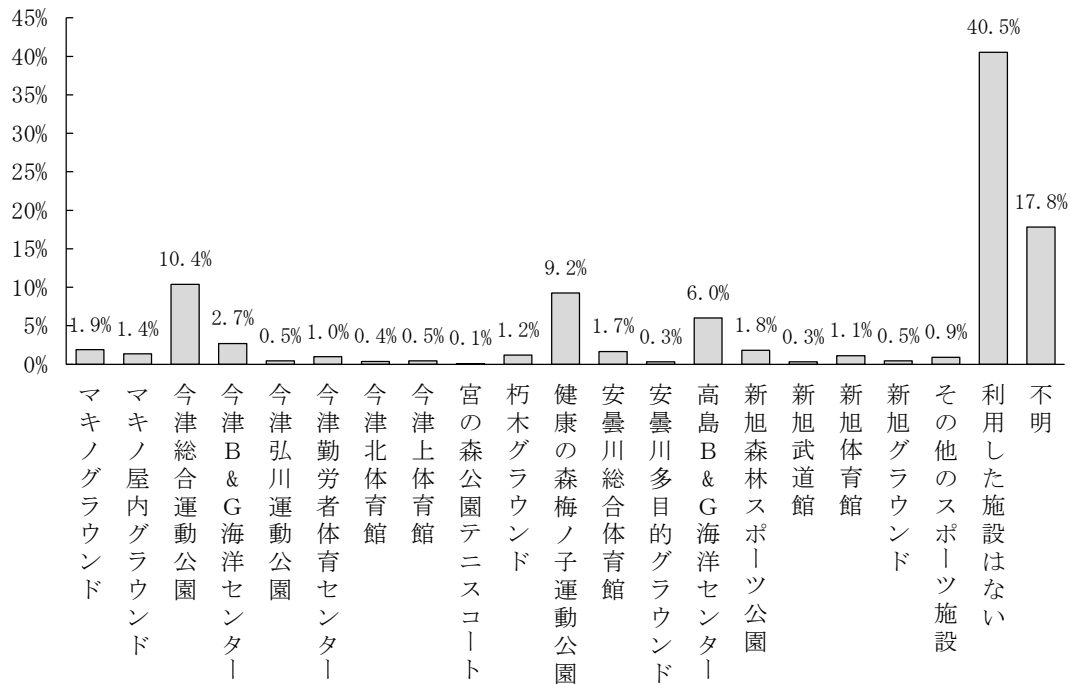
図表 2-8 図書館・図書室の利用状況 (SA)

区分		調査数	マキノ図書館	今津図書館	朽木図書サロン (朽木公民館内)	安曇川図書館	高島図書室 (高島公民館内)	新旭図書室 (新旭公民館内)	利用した施設はない	不明
合計		1,330 100.0	58 4.4	285 21.4	26 2.0	256 19.2	41 3.1	41 3.1	408 30.7	215 16.2
性別	男性	559 100.0	23 4.1	114 20.4	9 1.6	102 18.2	16 2.9	14 2.5	196 35.1	85 15.2
	女性	726 100.0	33 4.5	163 22.5	15 2.1	149 20.5	23 3.2	26 3.6	202 27.8	115 15.8
年齢	10代	20 100.0	0 0.0	4 20.0	1 5.0	7 35.0	0 0.0	0 0.0	6 30.0	2 10.0
	20代	97 100.0	2 2.1	27 27.8	0 0.0	20 20.6	7 7.2	0 0.0	30 30.9	11 11.3
	30代	102 100.0	5 4.9	25 24.5	2 2.0	33 32.4	2 2.0	5 4.9	25 24.5	5 4.9
	40代	159 100.0	11 6.9	35 22.0	3 1.9	38 23.9	5 3.1	11 6.9	37 23.3	19 11.9
	50代	198 100.0	7 3.5	49 24.7	3 1.5	35 17.7	7 3.5	5 2.5	60 30.3	32 16.2
	60代	353 100.0	17 4.8	83 23.5	7 2.0	67 19.0	6 1.7	9 2.5	122 34.6	42 11.9
	70代	251 100.0	13 5.2	46 18.3	8 3.2	40 15.9	8 3.2	10 4.0	81 32.3	45 17.9
	80代以上	141 100.0	3 2.1	15 10.6	1 0.7	14 9.9	6 4.3	1 0.7	46 32.6	55 39.0
職業等	農林漁業	63 100.0	8 12.7	10 15.9	0 0.0	6 9.5	0 0.0	2 3.2	28 44.4	9 14.3
	商・工・サービス業等の自営	88 100.0	5 5.7	12 13.6	2 2.3	21 23.9	2 2.3	2 2.3	35 39.8	9 10.2
	会社員・会社役員	246 100.0	9 3.7	53 21.5	3 1.2	45 18.3	10 4.1	6 2.4	86 35.0	34 13.8
	公務員・団体職員	94 100.0	4 4.3	24 25.5	0 0.0	25 26.6	3 3.2	6 6.4	22 23.4	10 10.6
	専業主婦(夫)	181 100.0	7 3.9	49 27.1	2 1.1	37 20.4	6 3.3	5 2.8	56 30.9	19 10.5
	アルバイト・パート	175 100.0	10 5.7	56 32.0	4 2.3	35 20.0	6 3.4	9 5.1	40 22.9	15 8.6
	学生(高校・専門学校・大学等)	39 100.0	0 0.0	9 23.1	1 2.6	12 30.8	3 7.7	0 0.0	9 23.1	5 12.8
	無職	402 100.0	15 3.7	66 16.4	13 3.2	66 16.4	11 2.7	9 2.2	122 30.3	100 24.9
	その他	28 100.0	0 0.0	4 14.3	0 0.0	5 17.9	0 0.0	1 3.6	9 32.1	9 32.1
	居住年数	5年未満	45 100.0	1 2.2	10 22.2	0 0.0	5 11.1	2 4.4	0 0.0	16 35.6
5年以上10年未満		48 100.0	3 6.3	12 25.0	1 2.1	10 20.8	3 6.3	4 8.3	8 16.7	7 14.6
10年以上20年未満		148 100.0	9 6.1	33 22.3	5 3.4	40 27.0	4 2.7	7 4.7	34 23.0	16 10.8
20年以上30年未満		195 100.0	6 3.1	51 26.2	1 0.5	39 20.0	10 5.1	1 0.5	51 26.2	36 18.5
30年以上		886 100.0	39 4.4	178 20.1	18 2.0	160 18.1	22 2.5	29 3.3	298 33.6	142 16.0
居住地区	マキノ地域	166 100.0	55 33.1	29 17.5	0 0.0	2 1.2	0 0.0	0 0.0	61 36.7	19 11.4
	今津地域	313 100.0	2 0.6	190 60.7	0 0.0	1 0.3	0 0.0	2 0.6	71 22.7	47 15.0
	朽木地域	63 100.0	0 0.0	4 6.3	24 38.1	5 7.9	0 0.0	1 1.6	20 31.7	9 14.3
	安曇川地域	336 100.0	0 0.0	13 3.9	1 0.3	168 50.0	2 0.6	1 0.3	93 27.7	58 17.3
	高島地域	167 100.0	0 0.0	4 2.4	0 0.0	29 17.4	37 22.2	0 0.0	64 38.3	33 19.8
	新旭地域	274 100.0	1 0.4	43 15.7	0 0.0	49 17.9	2 0.7	37 13.5	98 35.8	44 16.1

#### ④スポーツ施設

過去1年間のスポーツ施設の利用状況は、「利用した施設はない」(40.5%)が最も高く、以下、「今津総合運動公園」(10.4%)、「健康の森梅ノ子運動公園」(9.2%)、「高島B&G海洋センター」(6.0%)、「今津B&G海洋センター」(2.7%)となっている。累計すると、市内のスポーツ施設のいずれかを「利用した人」は41.7%、「利用していない人」は40.5%となっている。

図表 2-9 スポーツ施設の利用状況 (SA)



No.	カテゴリー名	n	%
1	マキノグラウンド	25	1.9
2	マキノ屋内グラウンド	18	1.4
3	今津総合運動公園	138	10.4
4	今津B&G海洋センター	36	2.7
5	今津弘川運動公園 (プール含む)	6	0.5
6	今津勤労者体育センター	13	1.0
7	今津北体育館	5	0.4
8	今津上体育館	6	0.5
9	宮の森公園テニスコート	1	0.1
10	朽木グラウンド	16	1.2
11	健康の森梅ノ子運動公園	123	9.2
12	安曇川総合体育館	22	1.7
13	安曇川多目的グラウンド	4	0.3
14	高島B&G海洋センター	80	6.0
15	新旭森林スポーツ公園	24	1.8
16	新旭武道館	4	0.3
17	新旭体育館	15	1.1
18	新旭グラウンド	6	0.5
19	その他のスポーツ施設	12	0.9
20	利用した施設はない	539	40.5
	不明	237	17.8
	全体 (回答者数)	1,330	100.0

図表 2-10 スポーツ施設の利用状況 (SA)

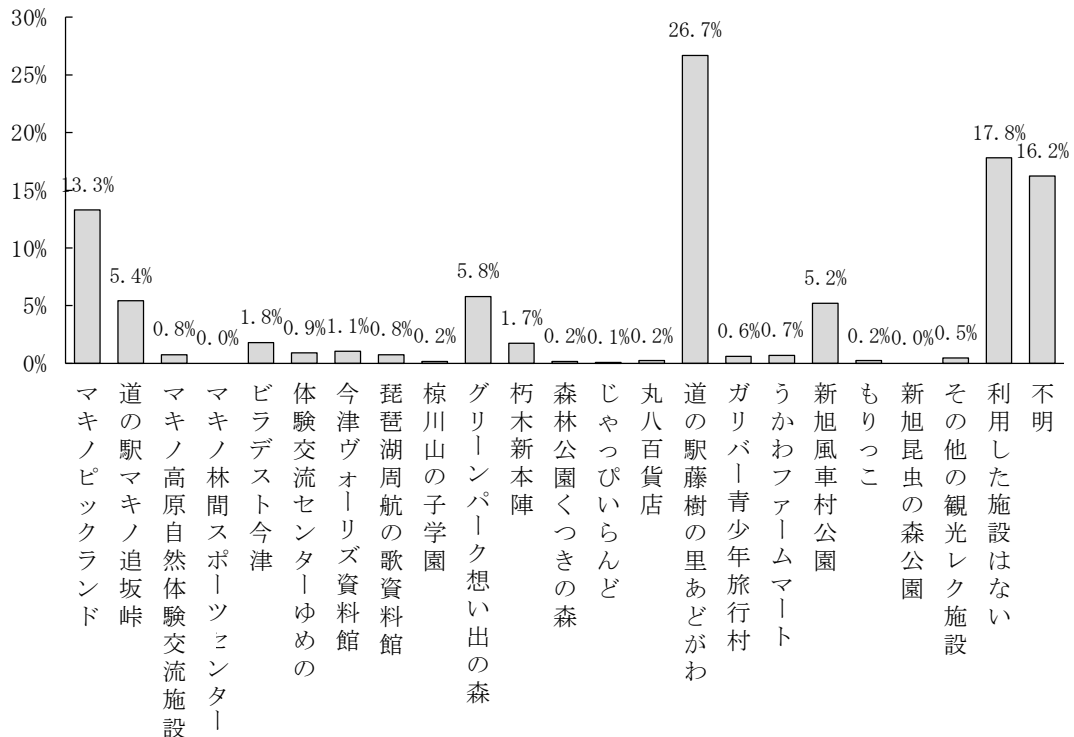
区分	調査数	マキノグラウンド	マキノ屋内グラウンド	今津総合運動公園	今津B&G海洋センター	今津弘川運動公園 (プール含む)	今津勤労者体育センター	今津北体育館	今津上体育館	宮の森公園テニスコート	朽木グラウンド	健康の森梅ノ子運動公園	安曇川総合体育館	
合計	1,330 100.0	25 1.9	18 1.4	138 10.4	36 2.7	6 0.5	13 1.0	5 0.4	6 0.5	1 0.1	16 1.2	123 9.2	22 1.7	
性別	男性	559 100.0	13 2.3	9 1.6	71 12.7	10 1.8	1 0.2	9 1.6	4 0.7	3 0.5	0 0.0	8 1.4	52 9.3	8 1.4
	女性	726 100.0	11 1.5	9 1.2	65 9.0	26 3.6	5 0.7	4 0.6	1 0.1	3 0.4	1 0.1	7 1.0	65 9.0	14 1.9
年齢	10代	20 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 15.0	0 0.0
	20代	97 100.0	2 2.1	0 0.0	16 16.5	3 3.1	0 0.0	1 1.0	1 1.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	6 6.2	1 1.0
	30代	102 100.0	1 1.0	0 0.0	11 10.8	3 2.9	1 1.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0	1 1.0	24 23.5	5 4.9
	40代	159 100.0	4 2.5	0 0.0	19 11.9	9 5.7	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 11.9	5 3.1
	50代	198 100.0	1 0.5	1 0.5	18 9.1	7 3.5	1 0.5	3 1.5	1 0.5	1 0.5	0 0.0	1 0.5	13 6.6	4 2.0
	60代	353 100.0	7 2.0	5 1.4	39 11.0	10 2.8	1 0.3	5 1.4	2 0.6	2 0.6	0 0.0	6 1.7	26 7.4	3 0.8
	70代	251 100.0	9 3.6	10 4.0	24 9.6	3 1.2	3 1.2	2 0.8	1 0.4	2 0.8	0 0.0	6 2.4	21 8.4	3 1.2
	80代以上	141 100.0	1 0.7	2 1.4	11 7.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.4	8 5.7	1 0.7
職業等	農林漁業	63 100.0	2 3.2	4 6.3	8 12.7	0 0.0	0 0.0	1 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 7.9	5 0.0	0 0.0
	商・工・サービス業等の自営	88 100.0	0 0.0	2 2.3	9 10.2	2 2.3	0 0.0	2 2.3	2 2.3	0 0.0	0 0.0	0 9.1	8 3.4	3 1.1
	会社員・会社役員	246 100.0	5 2.0	0 0.0	29 11.8	4 1.6	1 0.4	3 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.4	21 8.5	7 2.8
	公務員・団体職員	94 100.0	3 3.2	0 0.0	15 16.0	4 4.3	0 0.0	2 2.1	1 1.1	1 1.1	1 1.1	0 0.0	14 14.9	3 3.2
	専業主婦(夫)	181 100.0	7 3.9	1 0.6	20 11.0	8 4.4	2 1.1	0 0.0	0 0.0	2 1.1	0 0.0	1 0.6	23 12.7	1 0.6
	アルバイト・パート	175 100.0	2 1.1	1 0.6	18 10.3	8 4.6	0 0.0	3 1.7	1 0.6	2 1.1	0 0.0	1 0.6	18 10.3	3 1.7
	学生(高校・専門学校・大学等)	39 100.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	3 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.1	1 2.6
	無職	402 100.0	5 1.2	9 2.2	33 8.2	7 1.7	3 0.7	3 0.7	0 0.0	1 0.2	0 0.0	13 3.2	27 6.7	4 1.0
	その他	28 100.0	1 3.6	0 0.0	4 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 7.1	0 0.0
	居住年数	5年未満	45 100.0	0 0.0	0 0.0	4 8.9	4 8.9	0 0.0	1 2.2	1 2.2	0 0.0	0 0.0	0 11.1	5 0.0
5年以上10年未満		48 100.0	2 4.2	1 2.1	6 12.5	0 0.0	0 0.0	1 2.1	0 0.0	1 2.1	0 0.0	5 10.4	0 0.0	
10年以上20年未満		148 100.0	5 3.4	2 1.4	14 9.5	10 6.8	2 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.7	14 9.5	4 2.7	
20年以上30年未満		195 100.0	3 1.5	2 1.0	25 12.8	7 3.6	0 0.0	2 1.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0	10 5.1	2 1.0	
30年以上		886 100.0	15 1.7	13 1.5	89 10.0	15 1.7	4 0.5	10 1.1	3 0.3	5 0.6	0 0.0	15 1.7	86 9.7	16 1.8
居住地区	マキノ地域	166 100.0	18 10.8	15 9.0	13 7.8	7 4.2	1 0.6	1 0.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 1.2	2 0.6	
	今津地域	313 100.0	3 1.0	0 0.0	85 27.2	21 6.7	5 1.6	12 3.8	2 0.6	6 1.9	0 0.0	3 1.0	3 1.0	
	朽木地域	63 100.0	0 0.0	0 0.0	5 7.9	1 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 20.6	5 7.9	1 1.6	
	安曇川地域	336 100.0	2 0.6	1 0.3	6 1.8	1 0.3	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.3	86 25.6	14 4.2	
	高島地域	167 100.0	0 0.0	0 0.0	7 4.2	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 6.0	2 1.2	
	新旭地域	274 100.0	2 0.7	2 0.7	21 7.7	5 1.8	0 0.0	0 0.0	1 0.4	0 0.0	1 0.4	2 0.7	14 5.1	1 0.4

区分		調査数	安曇川多目的グラウンド	高島B&G海洋センター	新旭森林スポーツ公園	新旭武道館	新旭体育館	新旭グラウンド	その他のスポーツ施設	利用した施設はない	不明
合計		1,330 100.0	4 0.3	80 6.0	24 1.8	4 0.3	15 1.1	6 0.5	12 0.9	539 40.5	237 17.8
性別	男性	559 100.0	4 0.7	35 6.3	12 2.1	1 0.2	8 1.4	3 0.5	3 0.5	211 37.7	94 16.8
	女性	726 100.0	0 0.0	42 5.8	12 1.7	3 0.4	6 0.8	3 0.4	8 1.1	314 43.3	127 17.5
年齢	10代	20 100.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	10 50.0	3 15.0
	20代	97 100.0	0 0.0	8 8.2	1 1.0	1 1.0	3 3.1	0 0.0	1 1.0	38 39.2	14 14.4
	30代	102 100.0	0 0.0	5 4.9	2 2.0	0 0.0	2 2.0	0 0.0	0 0.0	39 38.2	6 5.9
	40代	159 100.0	1 0.6	17 10.7	7 4.4	0 0.0	2 1.3	1 0.6	1 0.6	54 34.0	19 11.9
	50代	198 100.0	1 0.5	11 5.6	4 2.0	1 0.5	1 0.5	0 0.0	0 0.0	93 47.0	36 18.2
	60代	353 100.0	1 0.3	19 5.4	2 0.6	2 0.6	4 1.1	1 0.3	3 0.8	168 47.6	47 13.3
	70代	251 100.0	1 0.4	14 5.6	5 2.0	0 0.0	2 0.8	2 0.8	5 2.0	86 34.3	52 20.7
	80代以上	141 100.0	0 0.0	5 3.5	1 0.7	0 0.0	1 0.7	1 0.7	2 1.4	50 35.5	56 39.7
職業等	農林漁業	63 100.0	0 0.0	2 3.2	2 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	27 42.9	12 19.0
	商・工・サービス業等の自営	88 100.0	0 0.0	6 6.8	1 1.1	0 0.0	1 1.1	1 1.1	0 0.0	39 44.3	12 13.6
	会社員・会社役員	246 100.0	1 0.4	24 9.8	9 3.7	0 0.0	3 1.2	0 0.0	0 0.0	106 43.1	32 13.0
	公務員・団体職員	94 100.0	1 1.1	7 7.4	1 1.1	1 1.1	2 2.1	1 1.1	0 0.0	27 28.7	10 10.6
	専業主婦（夫）	181 100.0	0 0.0	13 7.2	3 1.7	1 0.6	0 0.0	0 0.0	3 1.7	71 39.2	25 13.8
	アルバイト・パート	175 100.0	0 0.0	7 4.0	5 2.9	1 0.6	3 1.7	1 0.6	2 1.1	77 44.0	22 12.6
	学生（高校・専門学校・大学等）	39 100.0	0 0.0	4 10.3	1 2.6	0 0.0	2 5.1	1 2.6	0 0.0	17 43.6	7 17.9
	無職	402 100.0	2 0.5	16 4.0	1 0.2	1 0.2	3 0.7	2 0.5	7 1.7	159 39.6	106 26.4
	その他	28 100.0	0 0.0	1 3.6	0 0.0	0 0.0	1 3.6	0 0.0	0 0.0	12 42.9	7 25.0
	居住年数	5年未満	45 100.0	0 0.0	3 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	16 35.6
5年以上10年未満		48 100.0	0 0.0	2 4.2	2 4.2	0 0.0	1 2.1	0 0.0	0 0.0	18 37.5	9 18.8
10年以上20年未満		148 100.0	0 0.0	15 10.1	1 0.7	1 0.7	1 0.7	1 0.7	5 3.4	50 33.8	22 14.9
20年以上30年未満		195 100.0	0 0.0	15 7.7	2 1.0	0 0.0	3 1.5	0 0.0	0 0.0	82 42.1	41 21.0
30年以上		886 100.0	4 0.5	45 5.1	18 2.0	3 0.3	10 1.1	5 0.6	7 0.8	372 42.0	151 17.0
居住地区	マキノ地域	166 100.0	0 0.0	2 1.2	2 1.2	0 0.0	0 0.0	1 0.6	2 1.2	77 46.4	23 13.9
	今津地域	313 100.0	0 0.0	3 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	1 0.3	115 36.7	53 16.9
	朽木地域	63 100.0	0 0.0	2 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.2	25 39.7	9 14.3
	安曇川地域	336 100.0	3 0.9	22 6.5	0 0.0	0 0.0	2 0.6	0 0.0	0 0.0	134 39.9	63 18.8
	高島地域	167 100.0	0 0.0	46 27.5	1 0.6	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	67 40.1	32 19.2
	新旭地域	274 100.0	1 0.4	5 1.8	20 7.3	4 1.5	12 4.4	4 1.5	7 2.6	121 44.2	51 18.6

### ⑤観光レクリエーション施設

過去1年間の観光レクリエーション施設の利用状況は、「道の駅藤樹の里あどがわ」(26.7%)が最も高く、以下、「利用した施設はない」(17.8%)、「マキノピックランド」(13.3%)、「グリーンパーク想いの森」(5.8%)、「道の駅マキノ追坂峠」(5.4%)、「新旭風車村公園」(5.2%)となっている。累計すると、市内の観光レクリエーション施設のいずれかを「利用した人」は65.9%、「利用していない人」は17.8%となっている。

図表2-11 観光レクリエーション施設の利用状況(SA)



No.	カテゴリー名	n	%
1	マキノピックランド	177	13.3
2	道の駅マキノ追坂峠	72	5.4
3	マキノ高原自然体験交流施設	10	0.8
4	マキノ林間スポーツセンター	0	0.0
5	ビラデスト今津	24	1.8
6	体験交流センターゆめの・センパイ	12	0.9
7	今津ヴォーリズ資料館	14	1.1
8	琵琶湖周航の歌資料館	10	0.8
9	椋川山の子学園	2	0.2
10	グリーンパーク想いの森	77	5.8
11	朽木新本陣	23	1.7
12	森林公園くつきの森	2	0.2
13	じゃっぴいらんど	1	0.1
14	丸八百貨店	3	0.2
15	道の駅藤樹の里あどがわ	355	26.7
16	ガリバー青少年旅行村	8	0.6
17	うかわファームマーケット	9	0.7
18	新旭風車村公園	69	5.2
19	もりっこ	3	0.2
20	新旭昆虫の森公園	0	0.0
21	その他の観光レクリエーション施設	6	0.5
22	利用した施設はない	237	17.8
	不明	216	16.2
	全体(回答者数)	1,330	100.0

図表 2-1 2 観光レクリエーション施設の利用状況 (S A)

区分	調査数	マキノピックランド	道の駅マキノ追坂峠	マキノ高原自然体験交流施設	マキノ林間スポーツセンター	ピラデスト今津	体験交流センターゆめの森パバイ	今津ヴォーリズ資料館	琵琶湖周航の歌資料館	椋川山の子学園	グリーンパーク想い出の森	朽木新本陣	森林公園くつきの森	じゃっぴいらんど	
合計	1,330 100.0	177 13.3	72 5.4	10 0.8	0 0.0	24 1.8	12 0.9	14 1.1	10 0.8	2 0.2	77 5.8	23 1.7	2 0.2	1 0.1	
性別	男性	559 100.0	67 12.0	34 6.1	6 1.1	0 0.0	13 2.3	8 1.4	8 1.4	3 0.5	2 0.4	40 7.2	8 1.4	1 0.2	0 0.0
	女性	726 100.0	107 14.7	38 5.2	3 0.4	0 0.0	9 1.2	4 0.6	6 0.8	7 1.0	0 0.0	31 4.3	15 2.1	1 0.1	1 0.1
年齢	10代	20 100.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	97 100.0	14 14.4	4 4.1	0 0.0	0 0.0	3 3.1	1 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.1	2 2.1	0 0.0	0 0.0
	30代	102 100.0	14 13.7	5 4.9	1 1.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 3.9	1 1.0	0 0.0	1 1.0
	40代	159 100.0	25 15.7	11 6.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.3	0 0.0	1 0.6	12 7.5	2 1.3	1 0.6	0 0.0
	50代	198 100.0	20 10.1	12 6.1	2 1.0	0 0.0	4 2.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0	0 0.0	10 5.1	2 1.0	0 0.0	0 0.0
	60代	353 100.0	49 13.9	25 7.1	6 1.7	0 0.0	6 1.7	7 2.0	9 2.5	2 0.6	0 0.0	23 6.5	9 2.5	1 0.3	0 0.0
	70代	251 100.0	45 17.9	11 4.4	1 0.4	0 0.0	5 2.0	3 1.2	1 0.4	5 2.0	1 0.4	16 6.4	7 2.8	0 0.0	0 0.0
	80代以上	141 100.0	8 5.7	4 2.8	0 0.0	0 0.0	4 2.8	1 0.7	0 0.0	3 2.1	0 0.0	8 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
職業等	農林漁業	63 100.0	9 14.3	7 11.1	0 0.0	0 0.0	2 3.2	4 6.3	0 0.0	0 0.0	1 1.6	5 7.9	1 1.6	1 1.6	0 0.0
	商・工・サービス業等の自営	88 100.0	6 6.8	4 4.5	3 3.4	0 0.0	5 5.7	0 0.0	1 1.1	2 2.3	0 0.0	7 8.0	2 2.3	0 0.0	0 0.0
	会社員・会社役員	246 100.0	35 14.2	14 5.7	3 1.2	0 0.0	4 1.6	0 0.0	2 0.8	0 0.0	0 0.0	11 4.5	3 1.2	0 0.0	1 0.4
	公務員・団体職員	94 100.0	10 10.6	4 4.3	1 1.1	0 0.0	1 1.1	2 2.1	1 1.1	0 0.0	1 1.1	8 8.5	1 1.1	0 0.0	0 0.0
	専業主婦(夫)	181 100.0	32 17.7	9 5.0	2 1.1	0 0.0	1 0.6	0 0.0	2 1.1	0 0.0	0 0.0	7 3.9	5 2.8	1 0.6	0 0.0
	アルバイト・パート	175 100.0	30 17.1	12 6.9	0 0.0	0 0.0	2 1.1	2 1.1	3 1.7	0 0.0	0 0.0	11 6.3	3 1.7	0 0.0	0 0.0
	学生(高校・専門学校・大学等)	39 100.0	3 7.7	1 2.6	0 0.0	0 0.0	2 5.1	0 0.0	1 2.6	0 0.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無職	402 100.0	49 12.2	20 5.0	1 0.2	0 0.0	6 1.5	4 1.0	3 0.7	8 2.0	0 0.0	25 6.2	8 2.0	0 0.0	0 0.0
	その他	28 100.0	3 10.7	1 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	居住年数	5年未満	45 100.0	5 11.1	4 8.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 2.2	1 0.0	0 0.0	0 0.0
5年以上10年未満		48 100.0	8 16.7	2 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 2.1	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
10年以上20年未満		148 100.0	30 20.3	7 4.7	0 0.0	0 0.0	1 0.7	0 0.0	2 1.4	0 0.0	0 0.0	6 4.1	1 0.7	1 0.7	0 0.0
20年以上30年未満		195 100.0	27 13.8	11 5.6	0 0.0	0 0.0	5 2.6	1 0.5	0 0.0	1 0.5	0 0.0	6 3.1	2 1.0	1 0.5	0 0.0
30年以上		886 100.0	107 12.1	48 5.4	10 1.1	0 0.0	18 2.0	11 1.2	12 1.4	9 1.0	1 0.1	60 6.8	20 2.3	0 0.0	1 0.1
居住地区	マキノ地域	166 100.0	81 48.8	21 12.7	5 3.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	今津地域	313 100.0	53 16.9	27 8.6	0 0.0	0 0.0	22 7.0	10 3.2	10 3.2	5 1.6	1 0.3	8 2.6	2 0.6	0 0.0	0 0.0
	朽木地域	63 100.0	2 3.2	2 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.6	1 1.6	0 0.0	0 0.0	17 27.0	16 25.4	1 1.6	1 1.6
	安曇川地域	336 100.0	9 2.7	6 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.6	2 0.6	1 0.3	19 5.7	5 1.5	1 0.3	0 0.0
	高島地域	167 100.0	7 4.2	2 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	新旭地域	274 100.0	25 9.1	14 5.1	5 1.8	0 0.0	2 0.7	0 0.0	0 0.0	3 1.1	0 0.0	24 8.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0

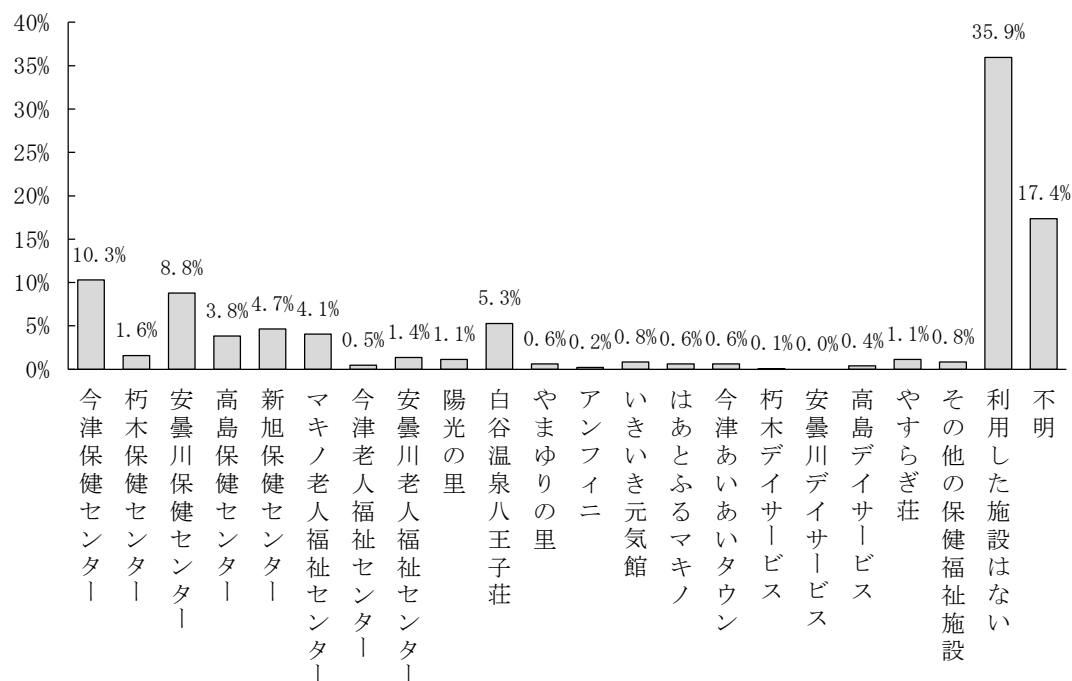


区分		調査数	丸八百貨店	道の駅藤樹の里あどがわ	ガリバー青少年旅行村	うかわファームマート	新旭風車村公園	もりっこ	新旭昆虫の森公園	その他の観光レクリエーション施設	利用した施設はない	不明
合計		1,330 100.0	3 0.2	355 26.7	8 0.6	9 0.7	69 5.2	3 0.2	0 0.0	6 0.5	237 17.8	216 16.2
性別	男性	559 100.0	0 0.0	139 24.9	3 0.5	5 0.9	30 5.4	1 0.2	0 0.0	2 0.4	105 18.8	84 15.0
	女性	726 100.0	2 0.3	210 28.9	5 0.7	3 0.4	35 4.8	2 0.3	0 0.0	4 0.6	128 17.6	115 15.8
年齢	10代	20 100.0	0 0.0	5 25.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 30.0	2 10.0
	20代	97 100.0	0 0.0	14 14.4	3 3.1	1 1.0	13 13.4	1 1.0	0 0.0	0 0.0	25 25.8	14 14.4
	30代	102 100.0	0 0.0	39 38.2	0 0.0	1 1.0	11 10.8	1 1.0	0 0.0	0 0.0	17 16.7	6 5.9
	40代	159 100.0	0 0.0	45 28.3	1 0.6	0 0.0	12 7.5	0 0.0	0 0.0	1 0.6	26 16.4	20 12.6
	50代	198 100.0	0 0.0	68 34.3	1 0.5	1 0.5	8 4.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	37 18.7	31 15.7
	60代	353 100.0	1 0.3	103 29.2	3 0.8	2 0.6	13 3.7	0 0.0	0 0.0	2 0.6	49 13.9	43 12.2
	70代	251 100.0	1 0.4	60 23.9	0 0.0	3 1.2	8 3.2	1 0.4	0 0.0	0 0.0	41 16.3	42 16.7
	80代以上	141 100.0	1 0.7	19 13.5	0 0.0	0 0.0	3 2.1	0 0.0	0 0.0	2 1.4	34 24.1	54 38.3
職業等	農林漁業	63 100.0	1 1.6	12 19.0	0 0.0	2 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 11.1	11 17.5
	商・工・サービス業等の自営	88 100.0	0 0.0	27 30.7	0 0.0	1 1.1	2 2.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	18 20.5	10 11.4
	会社員・会社役員	246 100.0	0 0.0	61 24.8	2 0.8	2 0.8	17 6.9	0 0.0	0 0.0	2 0.8	55 22.4	34 13.8
	公務員・団体職員	94 100.0	0 0.0	28 29.8	3 3.2	0 0.0	8 8.5	1 1.1	0 0.0	0 0.0	15 16.0	10 10.6
	専業主婦（夫）	181 100.0	2 1.1	53 29.3	0 0.0	1 0.6	16 8.8	1 0.6	0 0.0	0 0.0	25 13.8	24 13.3
	アルバイト・パート	175 100.0	0 0.0	59 33.7	0 0.0	1 0.6	11 6.3	0 0.0	0 0.0	1 0.6	23 13.1	17 9.7
	学生（高校・専門学校・大学等）	39 100.0	0 0.0	9 23.1	2 5.1	0 0.0	2 5.1	1 2.6	0 0.0	0 0.0	11 28.2	6 15.4
	無職	402 100.0	0 0.0	92 22.9	0 0.0	2 0.5	10 2.5	0 0.0	0 0.0	3 0.7	78 19.4	93 23.1
	その他	28 100.0	0 0.0	10 35.7	1 3.6	0 0.0	3 10.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 7.1	7 25.0
	居住年数	5年未満	45 100.0	0 0.0	12 26.7	1 2.2	0 0.0	3 6.7	0 0.0	0 0.0	1 2.2	6 13.3
5年以上10年未満		48 100.0	0 0.0	14 29.2	1 2.1	1 2.1	8 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.2	8 16.7
10年以上20年未満		148 100.0	0 0.0	42 28.4	1 0.7	1 0.7	10 6.8	0 0.0	0 0.0	1 0.7	27 18.2	18 12.2
20年以上30年未満		195 100.0	0 0.0	45 23.1	3 1.5	1 0.5	12 6.2	1 0.5	0 0.0	1 0.5	37 19.0	41 21.0
30年以上		886 100.0	3 0.3	240 27.1	2 0.2	6 0.7	36 4.1	2 0.2	0 0.0	3 0.3	163 18.4	134 15.1
居住地区	マキノ地域	166 100.0	0 0.0	11 6.6	0 0.0	1 0.6	4 2.4	0 0.0	0 0.0	2 1.2	21 12.7	18 10.8
	今津地域	313 100.0	0 0.0	50 16.0	0 0.0	1 0.3	11 3.5	1 0.3	0 0.0	1 0.3	58 18.5	53 16.9
	朽木地域	63 100.0	1 1.6	7 11.1	1 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.6	4 6.3	8 12.7
	安曇川地域	336 100.0	0 0.0	171 50.9	1 0.3	0 0.0	11 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	50 14.9	58 17.3
	高島地域	167 100.0	1 0.6	61 36.5	5 3.0	7 4.2	6 3.6	0 0.0	0 0.0	1 0.6	36 21.6	33 19.8
	新旭地域	274 100.0	1 0.4	53 19.3	1 0.4	0 0.0	37 13.5	2 0.7	0 0.0	1 0.4	66 24.1	40 14.6

## ⑥保健福祉施設

過去1年間の保健福祉施設の利用状況は、「利用した施設はない」(35.9%)が最も高く、以下、「今津保健センター」(10.3%)、「安曇川保健センター」(8.8%)、「白谷温泉八王子荘」(5.3%)、「新旭保健センター」(4.7%)、「マキノ老人福祉センター」(4.1%)、「高島保健センター」(3.8%)となっている。累計すると、市内の保健福祉施設のいずれかを「利用した人」は46.7%、「利用していない人」は35.9%となっている。

図表2-13 保健福祉施設の利用状況(SA)



No.	カテゴリー名	n	%
1	今津保健センター	137	10.3
2	朽木保健センター	21	1.6
3	安曇川保健センター	117	8.8
4	高島保健センター	51	3.8
5	新旭保健センター	62	4.7
6	マキノ老人福祉センター	54	4.1
7	今津老人福祉センター	6	0.5
8	安曇川老人福祉センター	18	1.4
9	陽光の里	15	1.1
10	白谷温泉八王子荘	70	5.3
11	やまゆりの里	8	0.6
12	アンフィニ	3	0.2
13	いきいき元気館	11	0.8
14	はあとふるマキノ	8	0.6
15	今津あいあいタウン	8	0.6
16	朽木デイサービスセンター	1	0.1
17	安曇川デイサービスセンター	0	0.0
18	高島デイサービスセンター	5	0.4
19	やすらぎ荘	15	1.1
20	その他の保健福祉施設	11	0.8
21	利用した施設はない	478	35.9
	不明	231	17.4
	全体(回答者数)	1,330	100.0

図表 2-14 保健福祉施設の利用状況 (SA)

区分	調査数	今津保健センター	朽木保健センター	安曇川保健センター	高島保健センター	新旭保健センター	マキノ老人福祉センター	今津老人福祉センター	安曇川老人福祉センター	陽光の里	白谷温泉八王子荘	やまゆりの里	アンフィニ	いきいき元気館	はあとふるマキノ	
合計	1,330 100.0	137 10.3	21 1.6	117 8.8	51 3.8	62 4.7	54 4.1	6 0.5	18 1.4	15 1.1	70 5.3	8 0.6	3 0.2	11 0.8	8 0.6	
性別	男性	559 100.0	49 8.8	8 1.4	41 7.3	21 3.8	25 4.5	24 4.3	5 0.9	9 1.6	6 1.1	35 6.3	4 0.7	0 0.0	1 0.2	3 0.5
	女性	726 100.0	83 11.4	13 1.8	74 10.2	28 3.9	35 4.8	29 4.0	1 0.1	9 1.2	9 1.2	31 4.3	4 0.6	3 0.4	9 1.2	5 0.7
年齢	10代	20 100.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	97 100.0	11 11.3	0 0.0	5 5.2	1 1.0	0 0.0	2 2.1	1 1.0	0 0.0	2 2.1	5 5.2	0 0.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0
	30代	102 100.0	14 13.7	1 1.0	16 15.7	1 1.0	3 2.9	1 1.0	1 1.0	0 0.0	1 1.0	5 4.9	1 1.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0
	40代	159 100.0	18 11.3	1 0.6	14 8.8	2 1.3	7 4.4	4 2.5	0 0.0	2 1.3	1 0.6	11 6.9	3 1.9	0 0.0	0 0.0	3 1.9
	50代	198 100.0	22 11.1	3 1.5	16 8.1	9 4.5	6 3.0	4 2.0	0 0.0	1 0.5	2 1.0	8 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.0
	60代	353 100.0	38 10.8	8 2.3	33 9.3	15 4.2	17 4.8	18 5.1	1 0.3	0 0.0	5 1.4	25 7.1	1 0.3	1 0.3	5 1.4	2 0.6
	70代	251 100.0	22 8.8	6 2.4	23 9.2	15 6.0	25 10.0	25 7.6	2 0.8	8 3.2	2 0.8	11 4.4	3 1.2	0 0.0	4 1.6	0 0.0
	80代以上	141 100.0	12 8.5	2 1.4	9 6.4	8 5.7	4 2.8	6 4.3	1 0.7	6 4.3	2 1.4	5 3.5	0 0.0	0 0.0	2 1.4	1 0.7
職業等	農林漁業	63 100.0	5 7.9	1 1.6	5 7.9	5 7.9	4 6.3	7 11.1	1 1.6	1 1.6	1 1.6	5 7.9	1 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	商・工・サービス業等の自営	88 100.0	13 14.8	2 2.3	12 13.6	2 2.3	3 3.4	4 4.5	1 1.1	2 2.3	1 1.1	8 9.1	0 0.0	0 0.0	1 1.1	0 0.0
	会社員・会社役員	246 100.0	18 7.3	2 0.8	13 5.3	9 3.7	7 2.8	5 2.0	1 0.4	1 0.4	3 1.2	14 5.7	3 1.2	0 0.0	0 0.0	3 1.2
	公務員・団体職員	94 100.0	8 8.5	0 0.0	11 11.7	0 0.0	1 1.1	1 1.1	0 0.0	0 0.0	2 2.1	8 8.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	専業主婦(夫)	181 100.0	24 13.3	3 1.7	27 14.9	7 3.9	9 5.0	11 6.1	0 0.0	1 0.6	0 0.0	7 3.9	1 0.6	1 0.6	3 1.7	2 1.1
	アルバイト・パート	175 100.0	26 14.9	4 2.3	16 9.1	4 2.3	11 6.3	5 2.9	1 0.6	2 1.1	2 1.1	6 3.4	1 0.6	0 0.0	0 0.0	2 1.1
	学生(高校・専門学校・大学等)	39 100.0	1 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	1 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無職	402 100.0	39 9.7	9 2.2	31 7.7	21 5.2	26 6.5	21 5.2	1 0.2	9 2.2	5 1.2	18 4.5	2 0.5	2 0.5	7 1.7	1 0.2
	その他	28 100.0	3 10.7	0 0.0	2 7.1	3 10.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.6	0 0.0	2 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	居住年数	5年未満	45 100.0	7 15.6	0 0.0	5 11.1	1 2.2	1 0.0	1 2.2	1 2.2	0 0.0	0 0.0	2 4.4	0 0.0	1 2.2	0 0.0
5年以上10年未満		48 100.0	6 12.5	0 0.0	3 6.3	1 2.1	3 6.3	0 0.0	1 2.1	0 0.0	0 0.0	3 6.3	0 0.0	0 0.0	1 2.1	0 0.0
10年以上20年未満		148 100.0	11 7.4	2 1.4	12 8.1	5 3.4	7 4.7	2 1.4	0 0.0	3 2.0	0 0.0	12 8.1	0 0.0	0 0.0	2 1.4	1 0.7
20年以上30年未満		195 100.0	21 10.8	1 0.5	11 5.6	9 4.6	4 2.1	6 3.1	1 0.5	0 0.0	2 1.0	9 4.6	0 0.0	1 0.5	2 1.0	2 1.0
30年以上		886 100.0	92 10.4	18 2.0	86 9.7	35 4.0	48 5.4	45 5.1	3 0.3	14 1.6	13 1.5	44 5.0	8 0.9	1 0.1	6 0.7	5 0.6
居住地区	マキノ地域	166 100.0	6 3.6	1 0.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0	53 31.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	22 13.3	1 0.6	0 0.0	2 1.2	4 2.4
	今津地域	313 100.0	120 38.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 1.9	1 0.3	4 1.3	20 6.4	1 0.3	0 0.0	0 0.0	3 1.0
	朽木地域	63 100.0	1 1.6	20 31.7	1 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 7.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	安曇川地域	336 100.0	3 0.9	0 0.0	102 30.4	1 0.3	2 0.6	0 0.0	0 0.0	16 4.8	4 1.2	7 2.1	1 0.3	0 0.0	4 1.2	0 0.0
	高島地域	167 100.0	0 0.0	0 0.0	6 3.6	49 29.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 3.6	6 3.6	0 0.0	2 1.2	1 0.6	0 0.0
	新旭地域	274 100.0	7 2.6	0 0.0	7 2.6	1 0.4	60 21.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.4	15 5.5	0 0.0	1 0.4	4 1.5	1 0.4

区分		調査数	今津あいあいタウン	朽木デイサービスセンター	安曇川デイサービスセンター	高島デイサービスセンター	やすらぎ荘	その他の保健福祉施設	利用した施設はない	不明
合計		1,330 100.0	8 0.6	1 0.1	0 0.0	5 0.4	15 1.1	11 0.8	478 35.9	231 17.4
性別	男性	559 100.0	2 0.4	0 0.0	0 0.0	1 0.2	4 0.7	5 0.9	223 39.9	93 16.6
	女性	726 100.0	6 0.8	1 0.1	0 0.0	3 0.4	9 1.2	6 0.8	246 33.9	122 16.8
年齢	10代	20 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	16 80.0	3 15.0
	20代	97 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0	1 1.0	51 52.6	16 16.5
	30代	102 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 2.9	0 0.0	48 47.1	6 5.9
	40代	159 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.3	2 1.3	1 0.6	66 41.5	22 13.8
	50代	198 100.0	2 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	3 1.5	83 41.9	36 18.2
	60代	353 100.0	2 0.6	1 0.3	0 0.0	1 0.3	6 1.7	3 0.8	118 33.4	53 15.0
	70代	251 100.0	1 0.4	0 0.0	0 0.0	1 0.4	0 0.0	1 0.4	65 25.9	43 17.1
	80代以上	141 100.0	3 2.1	0 0.0	0 0.0	1 0.7	2 1.4	2 1.4	28 19.9	47 33.3
職業等	農林漁業	63 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.2	0 0.0	16 25.4	9 14.3
	商・工・サービス業等の自営	88 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.3	1 1.1	24 27.3	12 13.6
	会社員・会社役員	246 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 1.2	125 50.8	39 15.9
	公務員・団体職員	94 100.0	3 3.2	0 0.0	0 0.0	1 1.1	1 1.1	1 1.1	46 48.9	11 11.7
	専業主婦（夫）	181 100.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0	1 0.6	4 2.2	1 0.6	50 27.6	28 15.5
	アルバイト・パート	175 100.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	1 0.6	2 1.1	2 1.1	67 38.3	22 12.6
	学生（高校・専門学校・大学等）	39 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	28 71.8	8 20.5
	無職	402 100.0	4 1.0	0 0.0	0 0.0	2 0.5	3 0.7	3 0.7	108 26.9	90 22.4
	その他	28 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.6	0 0.0	0 32.1	9 25.0
	居住年数	5年未満	45 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	16 35.6
5年以上10年未満		48 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.1	1 2.1	16 33.3	12 25.0
10年以上20年未満		148 100.0	1 0.7	0 0.0	0 0.0	1 0.7	0 0.0	0 0.0	65 43.9	24 16.2
20年以上30年未満		195 100.0	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	3 1.5	77 39.5	44 22.6
30年以上		886 100.0	6 0.7	1 0.1	0 0.0	4 0.5	13 1.5	7 0.8	301 34.0	136 15.3
居住地区	マキノ地域	166 100.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	54 32.5	20 12.0
	今津地域	313 100.0	7 2.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.6	2 0.6	92 29.4	55 17.6
	朽木地域	63 100.0	0 0.0	1 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.6	24 38.1	10 15.9
	安曇川地域	336 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	1 0.3	131 39.0	63 18.8
	高島地域	167 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 2.4	1 0.6	3 1.8	57 34.1	32 19.2
	新旭地域	274 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 4.4	3 1.1	117 42.7	45 16.4

## (2) 公共施設の利用頻度

【問2～4は、問1でご回答いただいた施設についてお尋ねします。】

問2 あなたは、公共施設をどのぐらいの頻度で利用していますか？（①～⑥の項目について、それぞれ1つだけに○印）

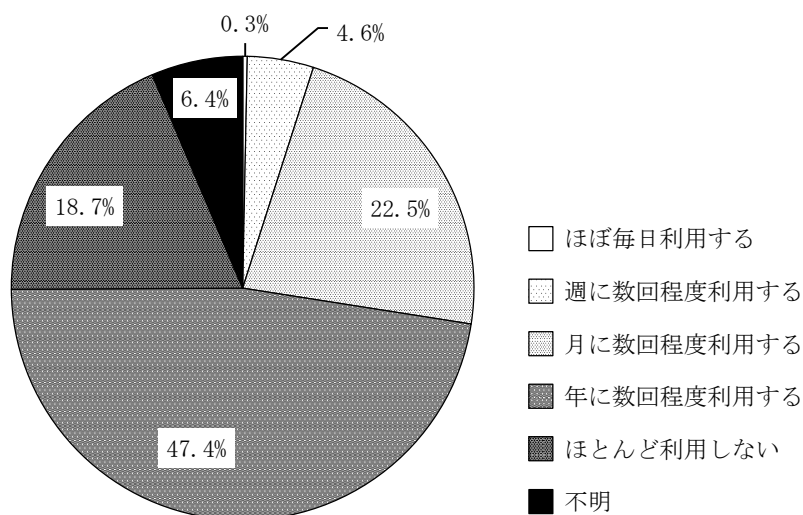
※ ①公民館・コミュニティセンター、②文化ホール、③図書館・図書室、④スポーツ施設、⑤観光レクリエーション施設、⑥ 保健福祉施設

### ①公民館・コミュニティセンター

過去1年間に市内の公民館・コミュニティセンターのいずれかを利用した人は626人（回答者全体1,330人の47.1%）となっている。

利用者の利用頻度については、「年に数回程度利用する」（47.4%）が最も高く、以下、「月に数回程度利用する」（22.5%）、「ほとんど利用しない」（18.7%）、「週に数回程度利用する」（4.6%）、「ほぼ毎日利用する」（0.3%）となっている。

図表2-15 公民館・コミュニティセンターの利用頻度（SA）



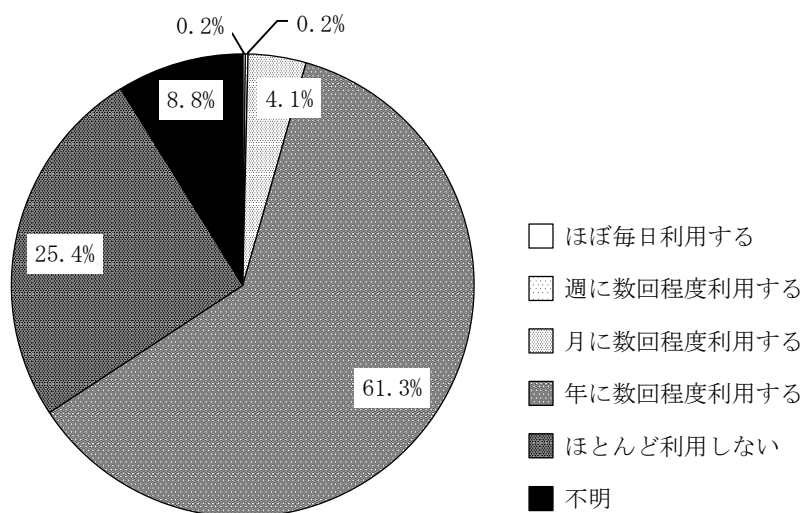
No.	カテゴリー名	n	%
1	ほぼ毎日利用する	2	0.3
2	週に数回程度利用する	29	4.6
3	月に数回程度利用する	141	22.5
4	年に数回程度利用する	297	47.4
5	ほとんど利用しない	117	18.7
	不明	40	6.4
	非該当	704	
	全体（回答者数）	626	100.0

## ②文化ホール

過去1年間に市内の文化ホールのいずれかを利用した人は543人(回答者全体1,330人の40.9%)となっている。

利用者の利用頻度については、「年に数回程度利用する」(61.3%)が最も高く、以下、「ほとんど利用しない」(25.4%)、「月に数回程度利用する」(4.1%)、「ほぼ毎日利用する」(0.2%)、「週に数回程度利用する」(0.2%)となっている。

図表2-16 文化ホールの利用頻度(SA)



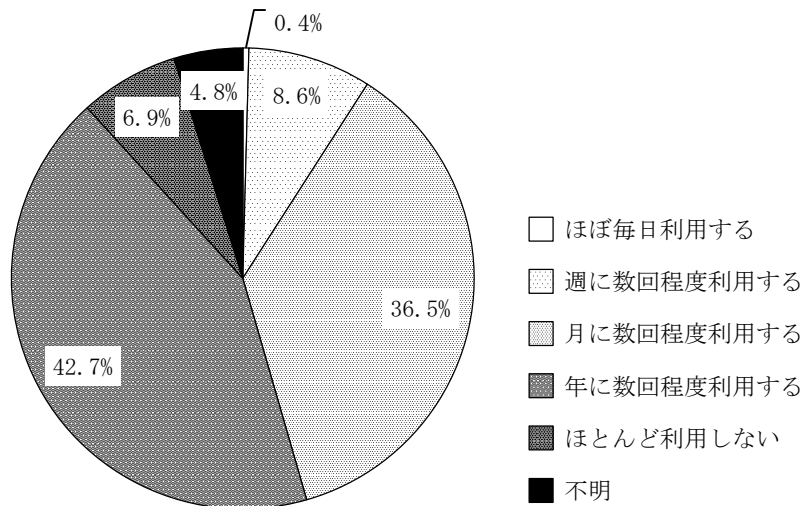
No.	カテゴリー名	n	%
1	ほぼ毎日利用する	1	0.2
2	週に数回程度利用する	1	0.2
3	月に数回程度利用する	22	4.1
4	年に数回程度利用する	333	61.3
5	ほとんど利用しない	138	25.4
	不明	48	8.8
	非該当	787	
	全体(回答者数)	543	100.0

### ③図書室・図書館

過去1年間に市内の図書館・図書室のいずれかを利用した人は707人（回答者全体1,330人の53.2%）となっている。

利用者の利用頻度については、「年に数回程度利用する」（42.7%）が最も高く、以下、「月に数回程度利用する」（36.5%）、「週に数回程度利用する」（8.6%）、「ほとんど利用しない」（6.9%）、「ほぼ毎日利用する」（0.4%）となっている。

図表2-17 図書館・図書室の利用頻度（SA）



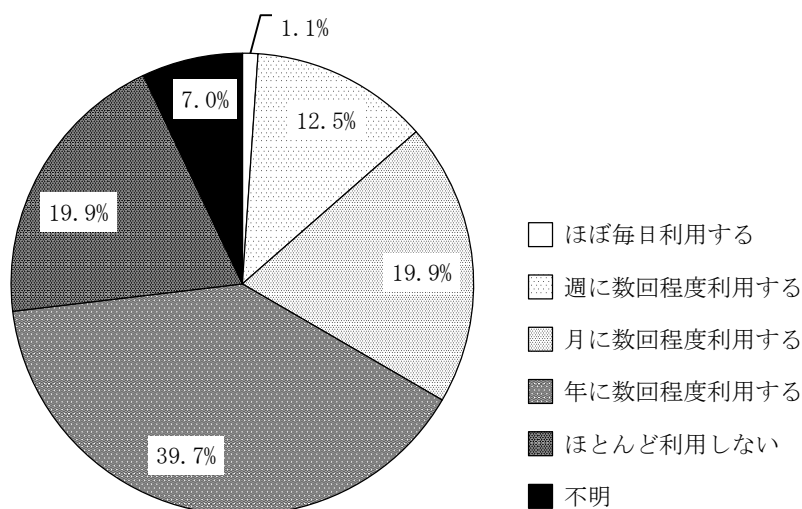
No.	カテゴリー名	n	%
1	ほぼ毎日利用する	3	0.4
2	週に数回程度利用する	61	8.6
3	月に数回程度利用する	258	36.5
4	年に数回程度利用する	302	42.7
5	ほとんど利用しない	49	6.9
	不明	34	4.8
	非該当	623	
	全体（回答者数）	707	100.0

#### ④スポーツ施設

過去1年間に市内のスポーツ施設のいずれかを利用した人は554人（回答者全体1,330人の41.7%）となっている。

利用者の利用頻度については、「年に数回程度利用する」（39.7%）が最も高く、以下、「月に数回程度利用する」（19.9%）、「ほとんど利用しない」（19.9%）、「週に数回程度利用する」（12.5%）、「ほぼ毎日利用する」（1.1%）となっている。

図表 2-18 スポーツ施設の利用頻度（SA）



No.	カテゴリー名	n	%
1	ほぼ毎日利用する	6	1.1
2	週に数回程度利用する	69	12.5
3	月に数回程度利用する	110	19.9
4	年に数回程度利用する	220	39.7
5	ほとんど利用しない	110	19.9
	不明	39	7.0
	非該当	776	
	全体（回答者数）	554	100.0

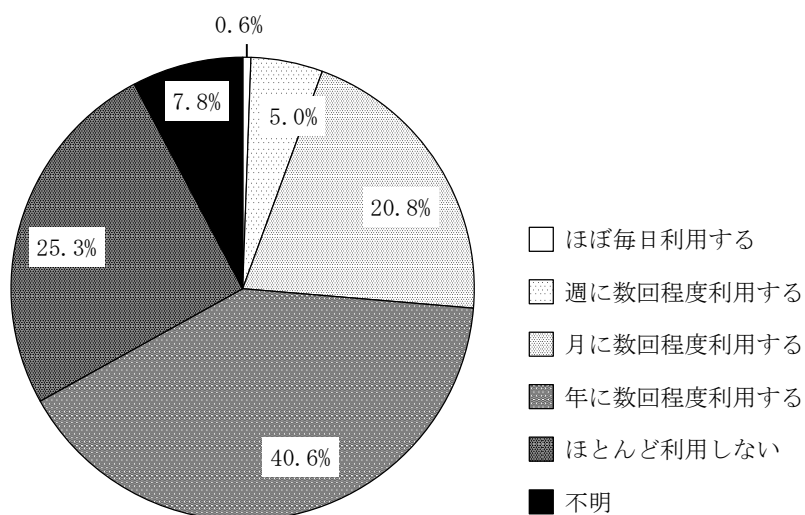


### ⑤観光レクリエーション施設

過去1年間に市内の観光レクリエーション施設のいずれかを利用した人は877人（回答者全体1,330人の65.9%）となっている。

利用者の利用頻度については、「年に数回程度利用する」（40.6%）が最も高く、以下、「ほとんど利用しない」（25.3%）、「月に数回程度利用する」（20.8%）、「週に数回程度利用する」（5.0%）、「ほぼ毎日利用する」（0.6%）となっている。

図表2-19 観光レクリエーション施設の利用頻度（SA）



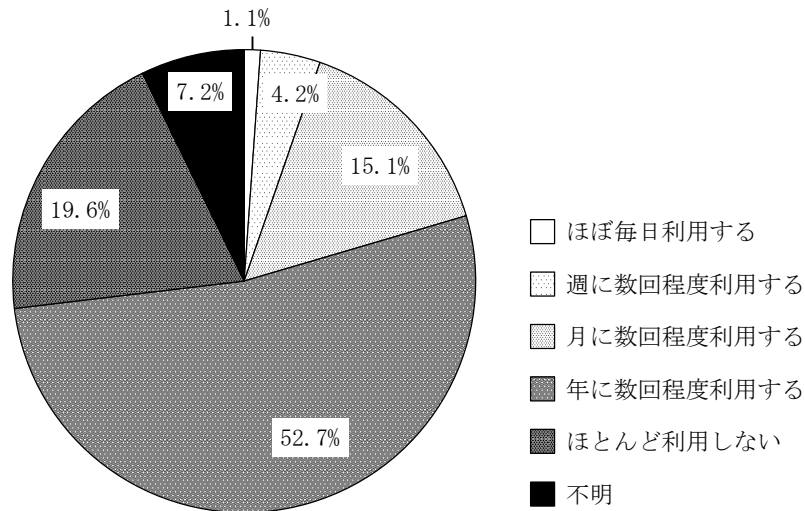
No.	カテゴリー名	n	%
1	ほぼ毎日利用する	5	0.6
2	週に数回程度利用する	44	5.0
3	月に数回程度利用する	182	20.8
4	年に数回程度利用する	356	40.6
5	ほとんど利用しない	222	25.3
	不明	68	7.8
	非該当	453	
	全体（回答者数）	877	100.0

## ⑥保健福祉施設

過去1年間に市内の保健福祉施設のいずれかを利用した人は621人（回答者全体1,330人の46.7%）となっている。

利用者の利用頻度については、「年に数回程度利用する」（52.7%）が最も高く、以下、「ほとんど利用しない」（19.6%）、「月に数回程度利用する」（15.1%）、「週に数回程度利用する」（4.2%）、「ほぼ毎日利用する」（1.1%）となっている。

図表 2-20 保健福祉施設の利用頻度（SA）



No.	カテゴリー名	n	%
1	ほぼ毎日利用する	7	1.1
2	週に数回程度利用する	26	4.2
3	月に数回程度利用する	94	15.1
4	年に数回程度利用する	327	52.7
5	ほとんど利用しない	122	19.6
	不明	45	7.2
	非該当	709	
	全体（回答者数）	621	100.0

### (3) 公共施設までの移動手段

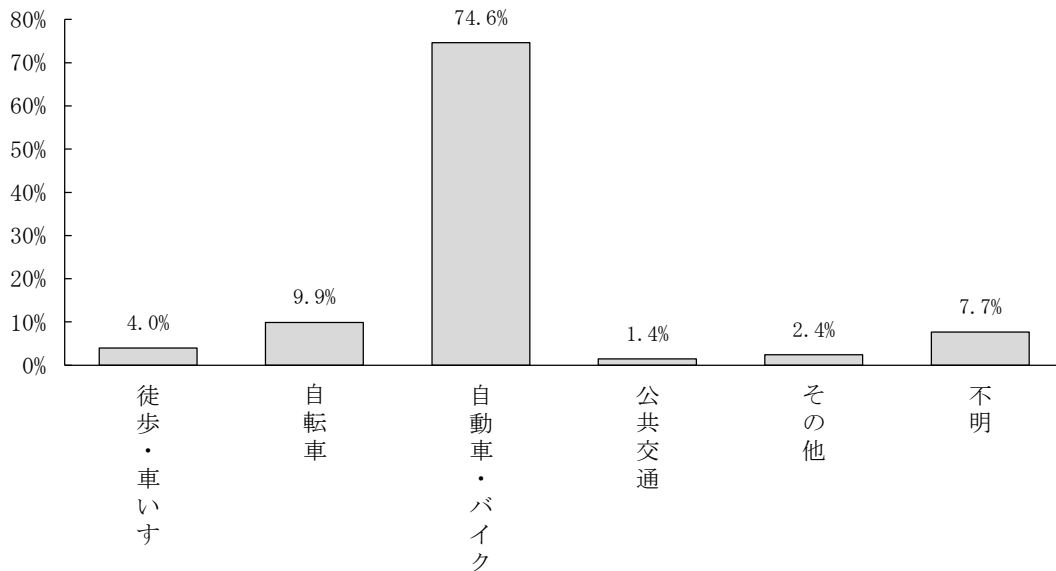
問3 あなたは、どのような移動手段で、公共施設を利用していますか？(①～⑥の項目について、それぞれ1つだけに○印)

※ ①公民館・コミュニティセンター、②文化ホール、③図書館・図書室、④スポーツ施設、⑤観光レクリエーション施設、⑥ 保健福祉施設

#### ①公民館・コミュニティセンター

利用している公民館・コミュニティセンターまでの移動手段については、「自動車・バイク」(74.6%)が最も高く、以下、「自転車」(9.9%)、「徒歩・車いす」(4.0%)、「その他」(2.4%)、「公共交通(バス・タクシー)」(1.4%)となっている。

図表2-21 公民館・コミュニティセンターまでの移動手段度(SA)

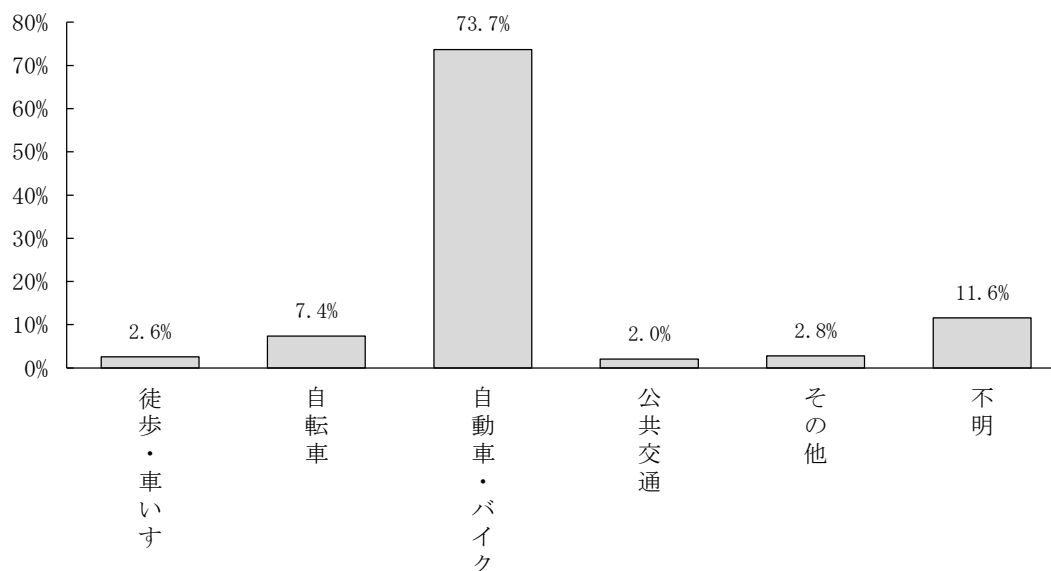


No.	カテゴリー名	n	%
1	徒歩・車いす	25	4.0
2	自転車	62	9.9
3	自動車・バイク	467	74.6
4	公共交通(バス・タクシー)	9	1.4
5	その他	15	2.4
	不明	48	7.7
	非該当	704	
	全体(回答者数)	626	100.0

## ②文化ホール

利用している文化ホールまでの移動手段については、「自動車・バイク」(73.7%)が最も高く、以下、「自転車」(7.4%)、「その他」(2.8%)、「徒歩・車いす」(2.6%)、「公共交通(バス・タクシー)」(2.0%)となっている。

図表2-22 文化ホールまでの移動手段度(SA)

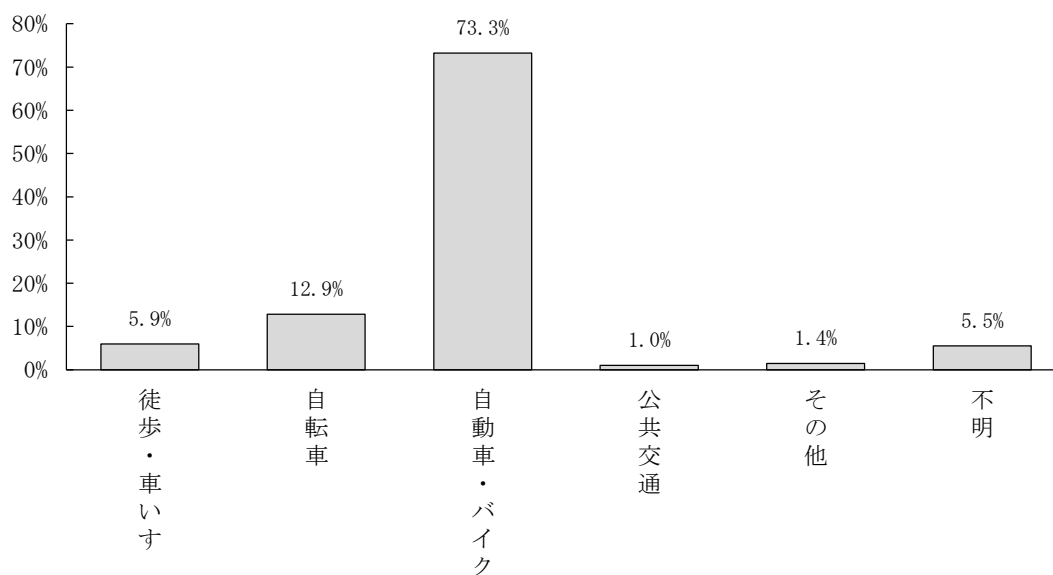


No.	カテゴリー名	n	%
1	徒歩・車いす	14	2.6
2	自転車	40	7.4
3	自動車・バイク	400	73.7
4	公共交通(バス・タクシー)	11	2.0
5	その他	15	2.8
	不明	63	11.6
	非該当	787	
	全体(回答者数)	543	100.0

### ③図書館・図書室

利用している図書館・図書室までの移動手段については、「自動車・バイク」(73.3%)が最も高く、以下、「自転車」(12.9%)、「徒歩・車いす」(5.9%)、「その他」(1.4%)、「公共交通(バス・タクシー)」(1.0%)となっている。

図表 2-23 図書館・図書室までの移動手段度 (SA)

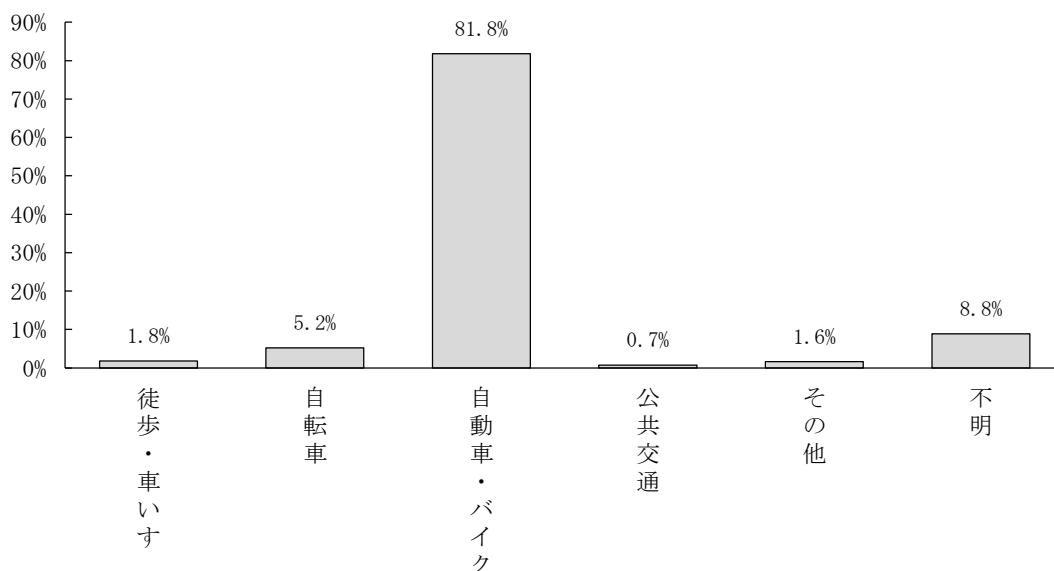


No.	カテゴリー名	n	%
1	徒歩・車いす	42	5.9
2	自転車	91	12.9
3	自動車・バイク	518	73.3
4	公共交通(バス・タクシー)	7	1.0
5	その他	10	1.4
	不明	39	5.5
	非該当	623	
	全体(回答者数)	707	100.0

#### ④スポーツ施設

利用しているスポーツ施設までの移動手段については、「自動車・バイク」(81.8%)が最も高く、以下、「自転車」(5.2%)、「徒歩・車いす」(1.8%)、「その他」(1.6%)、「公共交通(バス・タクシー)」(0.7%)となっている。

図表 2-2 4 スポーツ施設までの移動手段度 (S A)

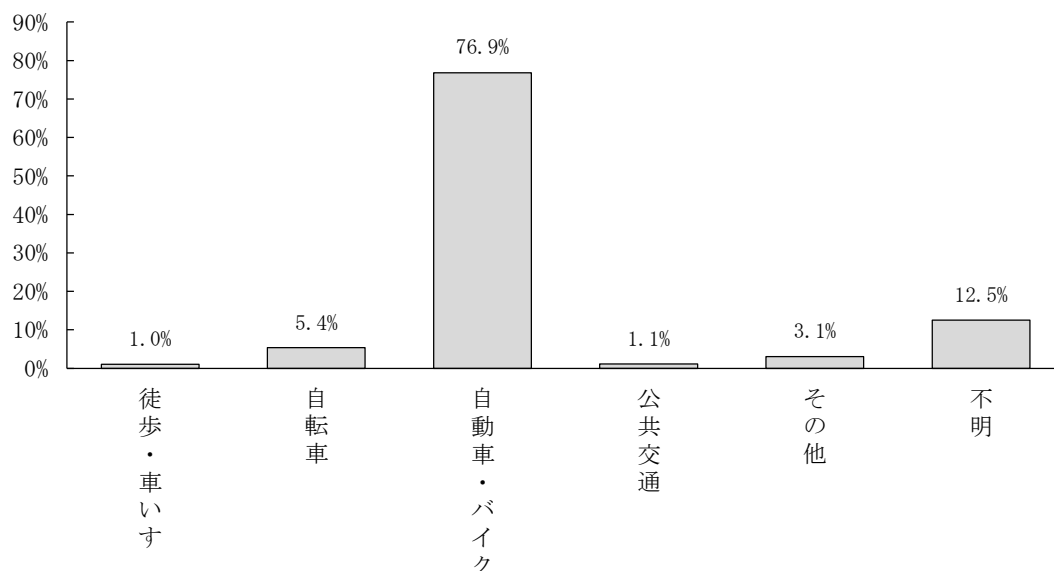


No.	カテゴリー名	n	%
1	徒歩・車いす	10	1.8
2	自転車	29	5.2
3	自動車・バイク	453	81.8
4	公共交通(バス・タクシー)	4	0.7
5	その他	9	1.6
	不明	49	8.8
	非該当	776	
	全体(回答者数)	554	100.0

### ⑤観光レクリエーション施設

利用している観光レクリエーション施設までの移動手段については、「自動車・バイク」(76.9%)が最も高く、以下、「自転車」(5.4%)、「その他」(3.1%)、「公共交通(バス・タクシー)」(1.1%)、「徒歩・車いす」(1.0%)となっている。

図表2-25 観光レクリエーション施設までの移動手段度(SA)

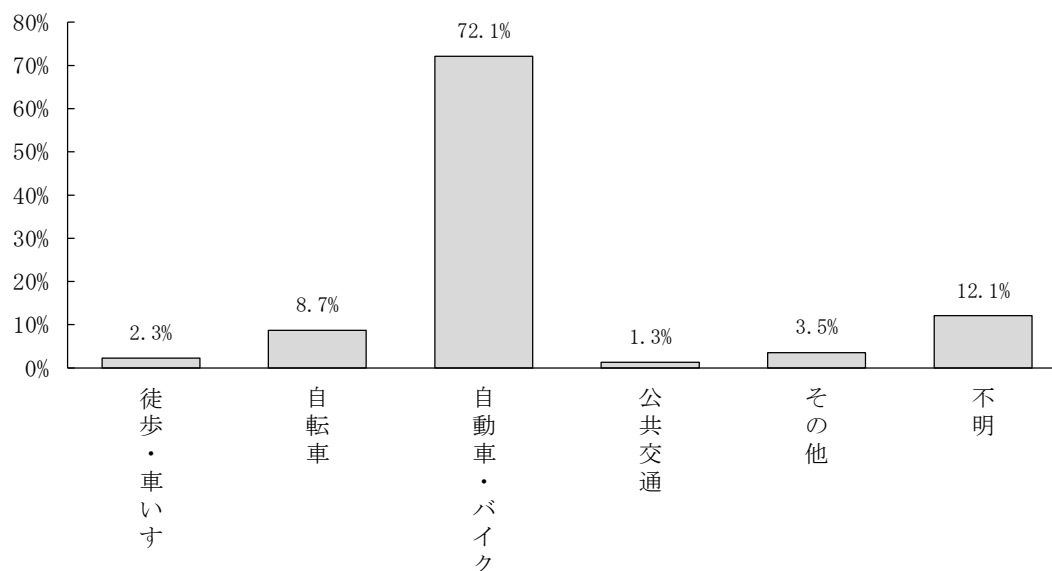


No.	カテゴリー名	n	%
1	徒歩・車いす	9	1.0
2	自転車	47	5.4
3	自動車・バイク	674	76.9
4	公共交通(バス・タクシー)	10	1.1
5	その他	27	3.1
	不明	110	12.5
	非該当	453	
	全体(回答者数)	877	100.0

## ⑥保健福祉施設

利用している保健福祉施設までの移動手段については、「自動車・バイク」(72.1%)が最も高く、以下、「自転車」(8.7%)、「その他」(3.5%)、「徒歩・車いす」(2.3%)、「公共交通(バス・タクシー)」(1.3%)となっている。

図表 2-26 保健福祉施設までの移動手段度 (SA)



No.	カテゴリー名	n	%
1	徒歩・車いす	14	2.3
2	自転車	54	8.7
3	自動車・バイク	448	72.1
4	公共交通(バス・タクシー)	8	1.3
5	その他	22	3.5
	不明	75	12.1
	非該当	709	
	全体(回答者数)	621	100.0



#### (4) 公共施設の満足度

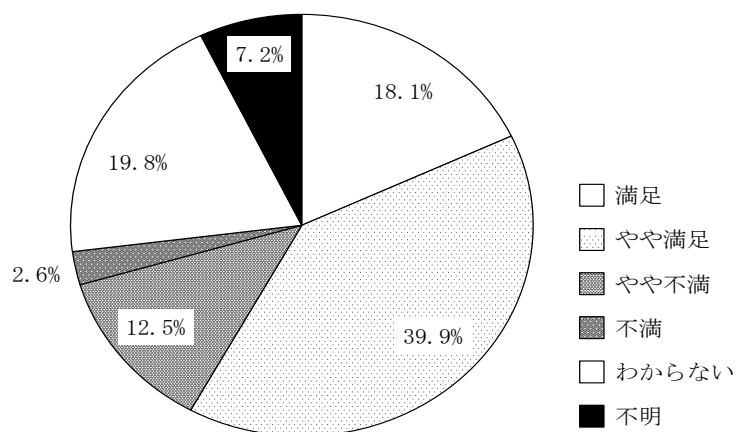
問 4 あなたは公共施設のサービスや設備をどのように評価していますか？（①～⑥の項目について、それぞれ1つだけに○印）

※ ①公民館・コミュニティセンター、②文化ホール、③図書館・図書室、④スポーツ施設、⑤観光レクリエーション施設、⑥ 保健福祉施設

##### ①公民館・コミュニティセンター

利用者の公民館・コミュニティセンターに対する満足度については、「やや満足」(39.9%)が最も高く、以下、「わからない」(19.8%)、「満足」(18.1%)、「やや不満」(12.5%)、「不満」(2.6%)となっている。累計すると、「満足している」人は58.0%、「満足してない」人は15.0%となっている。

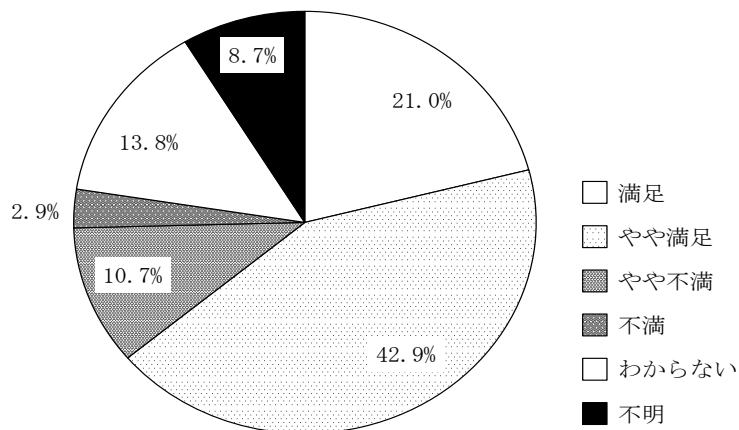
図表 2-27 公民館・コミュニティセンターの満足度 (SA)



##### ②文化ホール

利用者の文化ホールに対する満足度については、「やや満足」(42.9%)が最も高く、以下、「満足」(21.0%)、「わからない」(13.8%)、「やや不満」(10.7%)、「不満」(2.9%)となっている。累計すると、「満足している」は63.9%、「満足してない」人は13.6%となっている。

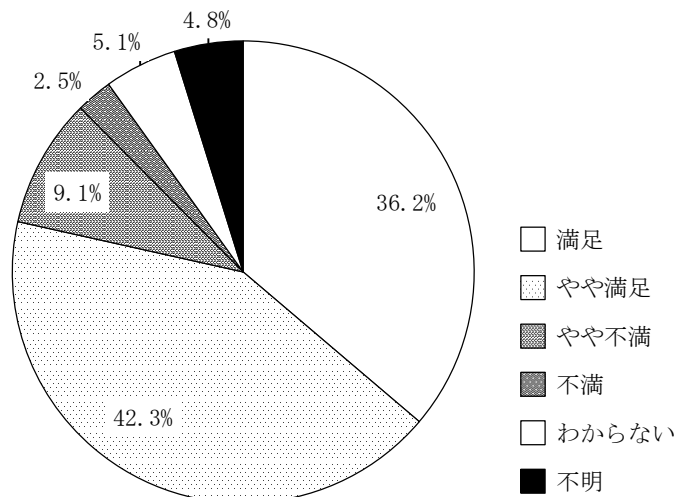
図表 2-28 文化ホールの満足度



### ③図書館・図書室

利用者の図書館・図書室に対する満足度については、「やや満足」(42.3%)が最も高く、以下、「満足」(36.2%)、「やや不満」(9.1%)、「わからない」(5.1%)、「不満」(2.5%)となっている。累計すると、「満足している」人は78.5%、「満足していない」人は11.6%となっている。

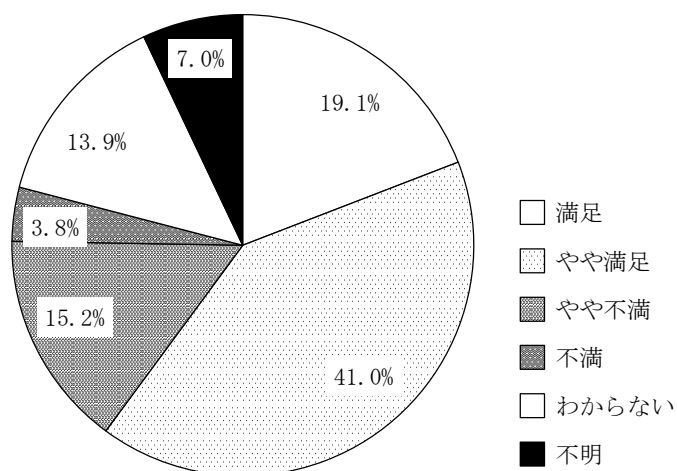
図表 2-29 図書館・図書室の満足度 (SA)



### ④スポーツ施設

利用者のスポーツ施設に対する満足度については、「やや満足」(41.0%)が最も高く、以下、「満足」(19.1%)、「やや不満」(15.2%)、「わからない」(13.9%)、「不満」(3.8%)となっている。累計すると、「満足している」人は60.1%、「満足していない」人は19.0%となっている。

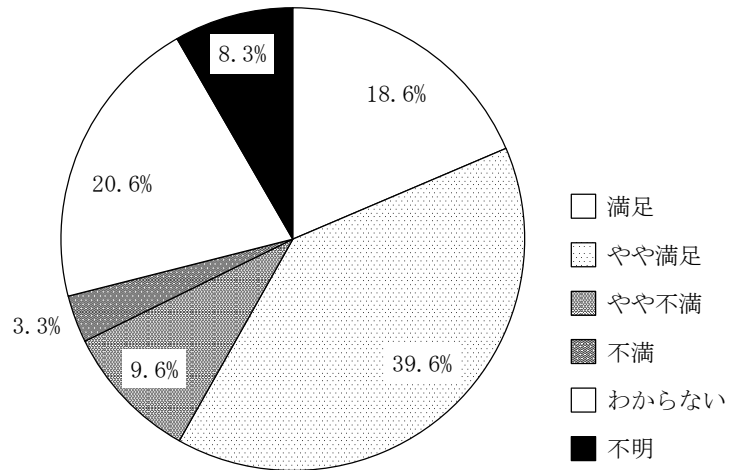
図表 2-30 スポーツ施設の満足度 (SA)



### ⑤観光レクリエーション施設

利用者の観光レクリエーション施設に対する満足度については、「やや満足」(39.6%)が最も高く、以下、「わからない」(20.6%)、「満足」(18.6%)、「やや不満」(9.6%)、「不満」(3.3%)となっている。累計すると、「満足している」人は58.2%、「満足してない」人は12.9%となっている。

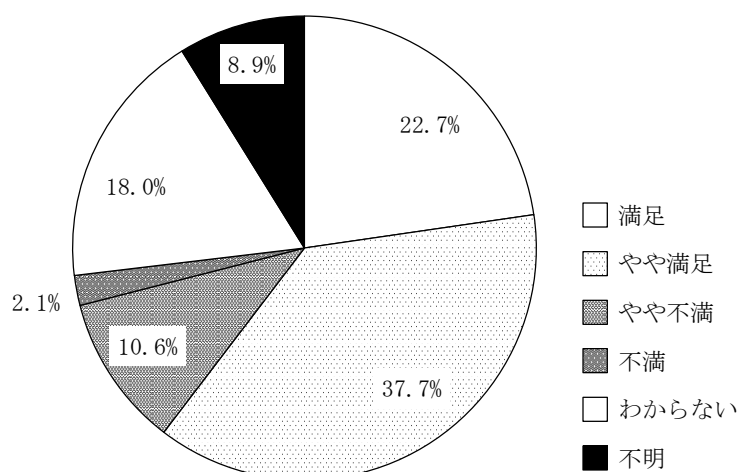
図表 2-3 1 観光レクリエーション施設の満足度 (S A)



### ⑥保健福祉施設

利用者の保健福祉施設に対する満足度については、「やや満足」(37.7%)が最も高く、以下、「満足」(22.7%)、「わからない」(18.0%)、「やや不満」(10.6%)、「不満」(2.1%)となっている。累計すると、「満足している」人は60.4%、「満足してない」人は12.7%となっている。

図表 2-3 2 保健福祉施設の満足度 (S A)



### 3 公共施設再編のあり方

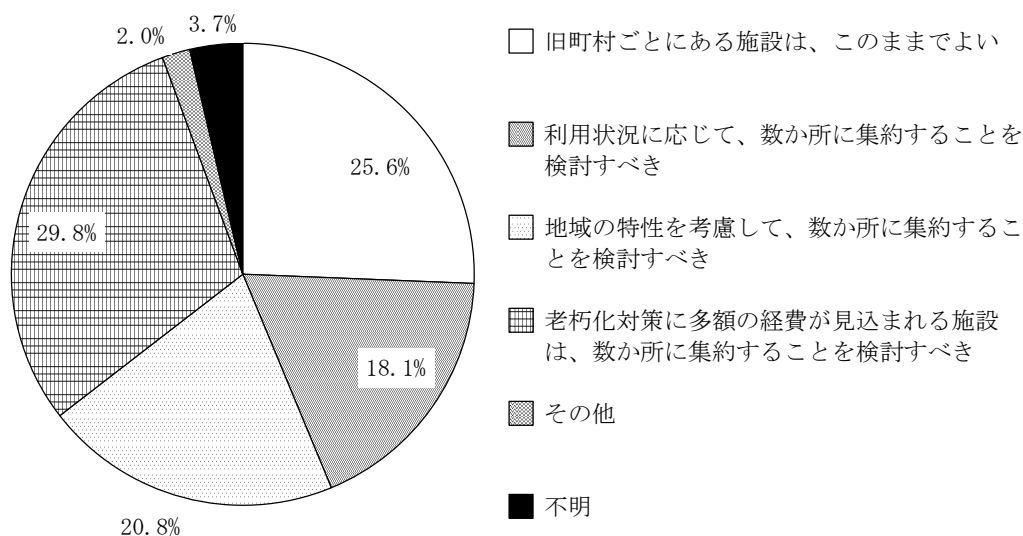
#### (1) 重複施設への対応

問5 本市は6町村の合併により誕生したことから、市内に6か所ある公共施設が多数存在しています。これらの施設は、今後どのようにするべきとお考えですか？（1つだけに○印）

本市は平成17年に6町村の合併により市制施行した。このため旧町村時代に整備した施設のなかには重複した機能を有する施設が多くみられる。

こうした重複施設の対応については、「老朽化対策に多額の経費が見込まれる施設は、数か所に集約することを検討すべき」（29.8%）が最も高く、以下、「旧町村ごとにある施設は、このままでよい」（25.6%）、「地域の特性を考慮して、数か所に集約することを検討すべき」（20.8%）、「利用状況に応じて、数か所に集約することを検討すべき」（18.1%）となっている。

図表 2-33 重複施設への対応（SA）



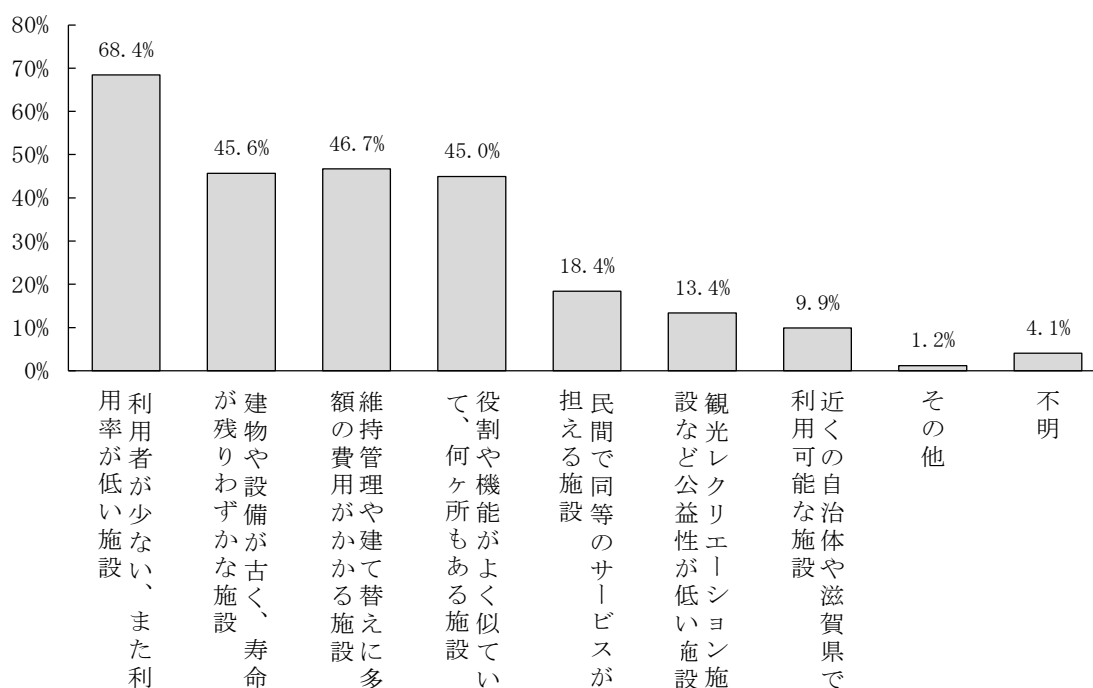
No.	カテゴリー名	n	%
1	旧町村ごとにある施設は、このままでよい	341	25.6
2	利用状況に応じて、数か所に集約することを検討すべき	241	18.1
3	地域の特性を考慮して、数か所に集約することを検討すべき	276	20.8
4	老朽化対策に多額の経費が見込まれる施設は、数か所に集約することを検討すべき	397	29.8
5	その他	26	2.0
	不明	49	3.7
	全体（回答者数）	1,330	100.0

(2) 削減の対象となる施設の考え方

問6 公共施設の数や面積を減らす場合、どのような施設を対象とすべきだとお考えですか？（主なもの3つまでに○印）

本市は類似都市、県内他市と比較すると、市民一人当たりの公共施設の延床面積が大きくなっている。このため、公共施設の量の改革（公共施設の数や面積の削減）が必要な状況にある。今後の削減の対象となる施設の考え方については、「利用者が少ない、また利用率が低い施設」（68.4%）が最も高く、以下、「維持管理や建て替えに多額の費用がかかる施設」（46.7%）、「建物や設備が古く、施設の寿命が残りわずかな施設」（45.6%）、「役割や機能がよく似ていて、市内に何ヶ所もある施設」（45.0%）となっている。

図表 2-3 4 削減の対象となる施設の考え方（MA3）



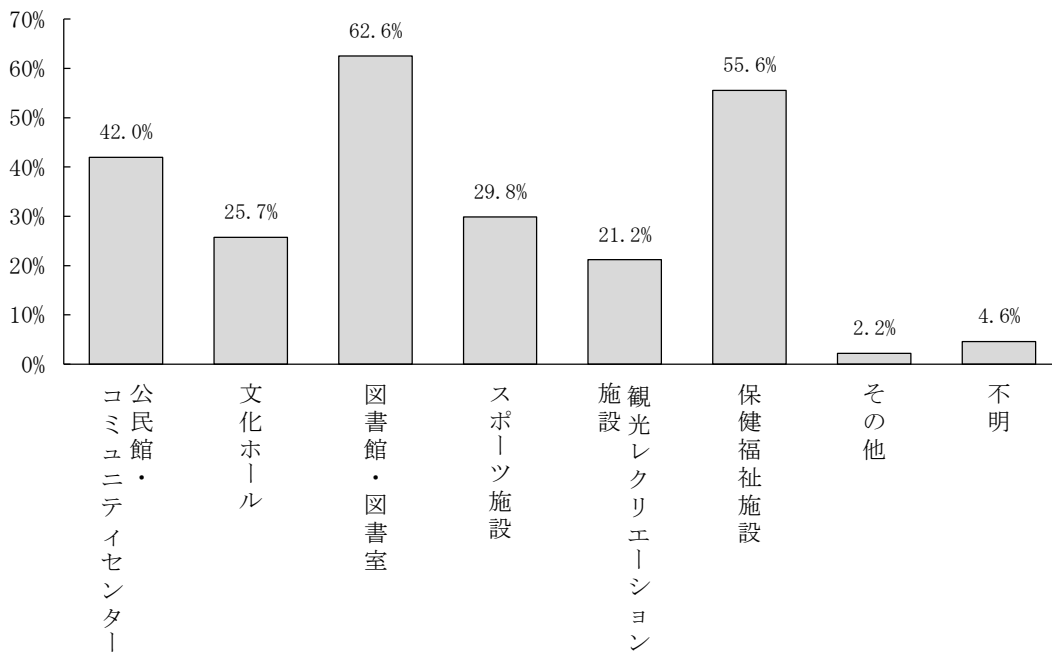
No.	カテゴリー名	n	%
1	利用者が少ない、また利用率が低い施設	910	68.4
2	建物や設備が古く、施設の寿命が残りわずかな施設	607	45.6
3	維持管理や建て替えに多額の費用がかかる施設	621	46.7
4	役割や機能がよく似ていて、市内に何ヶ所もある施設	598	45.0
5	民間で同等のサービスが担える施設や、既に同等のものがある施設	245	18.4
6	観光レクリエーション施設など公益性・公共性が低い施設	178	13.4
7	近くの自治体や滋賀県の施設に利用可能な同等のものがある施設	132	9.9
8	その他	16	1.2
	不明	54	4.1
	全体（回答者数）	1,330	100.0

(3) 今後も維持すべき施設

問7 施設の数減らすことなく、現在の施設数を維持すべき公共施設はありますか？  
(主なもの3つまでに○印)

公共施設の量の改革の対象とせず、今後も維持すべき施設については、「図書館・図書室」(62.6%)が最も高く、以下、「保健福祉施設」(55.6%)、「公民館・コミュニティセンター」(42.0%)となっている。

図表2-35 今後も維持すべき施設 (MA3)



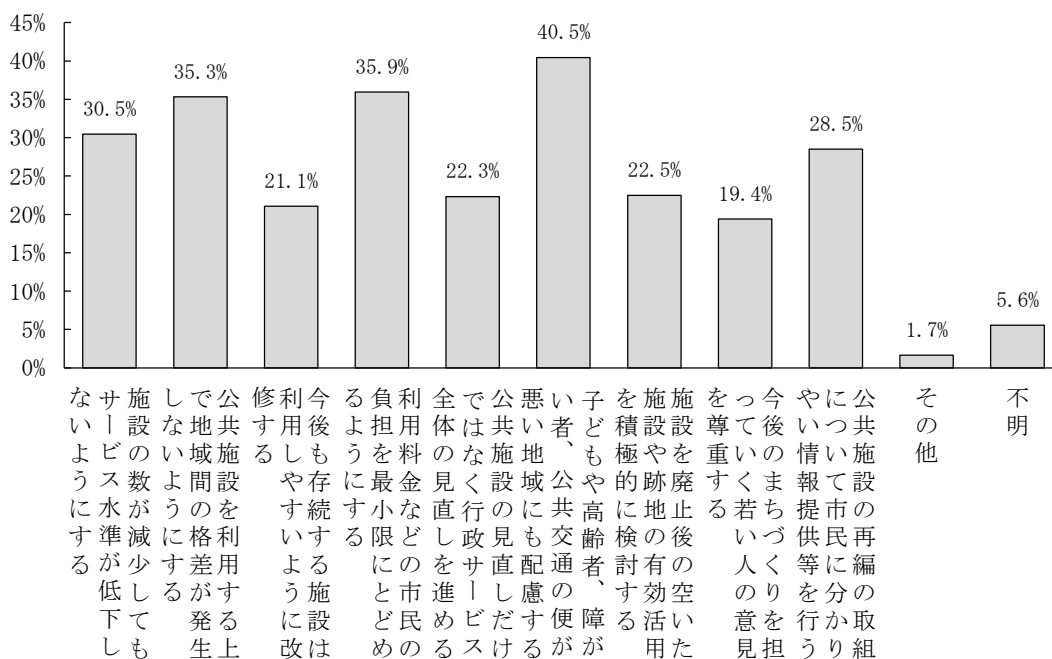
No.	カテゴリー名	n	%
1	公民館・コミュニティセンター	558	42.0
2	文化ホール	342	25.7
3	図書館・図書室	832	62.6
4	スポーツ施設	397	29.8
5	観光レクリエーション施設	282	21.2
6	保健福祉施設	739	55.6
7	その他	29	2.2
	不明	61	4.6
	全体 (回答者数)	1,330	100.0

(4) 再編に向けた留意点

問 8 やむを得ず、公共施設の統廃合や見直しを行う場合、どのような点に留意すべきだとお考えですか？（主なものを3つまでに○印）

「子どもや高齢者、障がい者のほか、公共交通の便が悪い地域の利用者にも配慮した見直しとする」(40.5%) が最も高く、以下、「利用料金などの市民の負担を最小限にとどめるようにする」(35.9%)、「公共施設を利用する上で、地域間の格差が発生しないようにする」(35.3%)、「施設の数やスペースが減少しても、サービスの水準が低下しないようにする」(30.5%)、「施設の数やスペースが減少しても、サービスの水準が低下しないようにする」(30.5%)、「市の公共施設の再編や改革の取組について、市民に対して分かりやすく情報を提供等を行う」(28.5%) となっている。

図表 2-36 再編に向けた留意点 (MA3)



No.	カテゴリー名	n	%
1	施設の数やスペースが減少しても、サービスの水準が低下しないようにする	405	30.5
2	公共施設を利用する上で、地域間の格差が発生しないようにする	470	35.3
3	今後も存続する施設は、利用しやすいように改修する	280	21.1
4	利用料金などの市民の負担を最小限にとどめるようにする	478	35.9
5	公共施設の見直しだけではなく、行政サービス全体の見直しを更に進める	297	22.3
6	子どもや高齢者、障がい者のほか、公共交通の便が悪い地域の利用者にも配慮した見直しとする	538	40.5
7	施設を廃止しても空いた施設や跡地の有効活用を積極的に検討する	299	22.5
8	今後のまちづくりを担っていく10代、20代などの若い人の意見を尊重する	258	19.4
9	市の公共施設の再編や改革の取組について、市民に対して分かりやすく情報を提供等を行う	379	28.5
10	その他	22	1.7
	不明	74	5.6
	全体 (回答者数)	1,330	100.0

#### 4 公共施設の再編の方法

##### (1) 公共施設の評価方法

問9 個別の公共施設が、今後も必要かどうかを評価する場合、どのような観点が重要だとお考えですか？（①～⑨の項目について、それぞれ1つだけに○印）

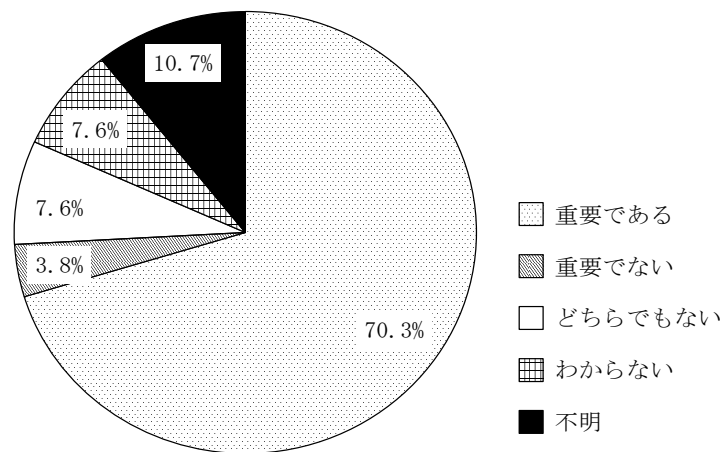
※ ①施設を維持するための費用、②大規模修繕や建て替えに必要な費用、③利用者数や利用率、④公共性や公益性などの社会的なメリット、⑤施設のスペース・規模、⑥施設の機能・特性、⑦施設の立地場所や周辺環境、⑧施設の老朽度、⑨施設の歴史的価値や市民の愛着度

個別の公共施設を評価する項目を9つ掲げ、そのそれぞれについて重要度を調査した。

##### ①施設を維持するための費用

「施設を維持するための費用」に対する評価については、「重要である」70.3%、「重要でない」3.8%、「どちらでもない」7.6%、「わからない」7.6%となっている。

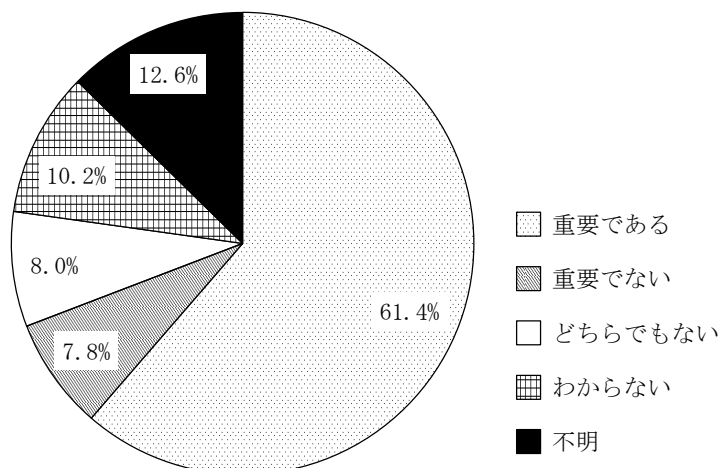
図表2-37 「施設を維持するための費用」に対する評価（SA）



##### ②大規模修繕や建て替えに必要な費用

「大規模修繕や建て替えに必要な費用」に対する評価については、「重要である」61.4%、「重要でない」7.8%、「どちらでもない」8.0%、「わからない」10.2%となっている。

図表2-38 「大規模修繕や建て替えに必要な費用」に対する評価（SA）

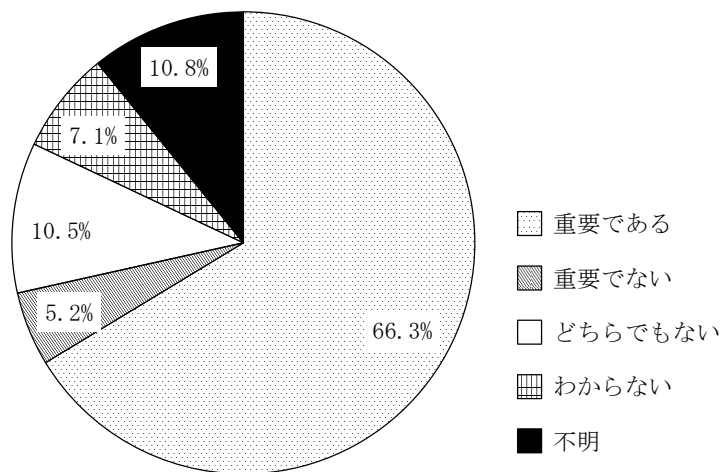




### ③利用者数や利用率

「利用者数や利用率」に対する評価については、「重要である」66.3%、「重要でない」5.2%、「どちらでもない」10.5%、「わからない」7.1%となっている。

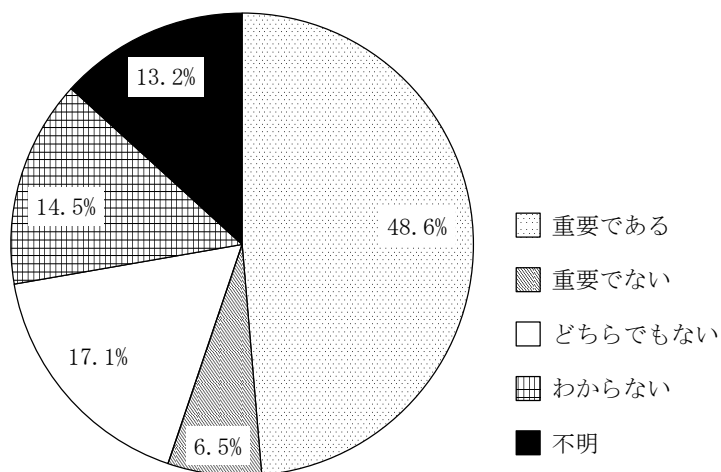
図表 2-39 「利用者数や利用率」に対する評価 (SA)



### ④公共性や公益性などの社会的なメリット

「公共性や公益性などの社会的なメリット」に対する評価については、「重要である」48.6%、「重要でない」6.5%、「どちらでもない」17.1%、「わからない」14.5%となっている。

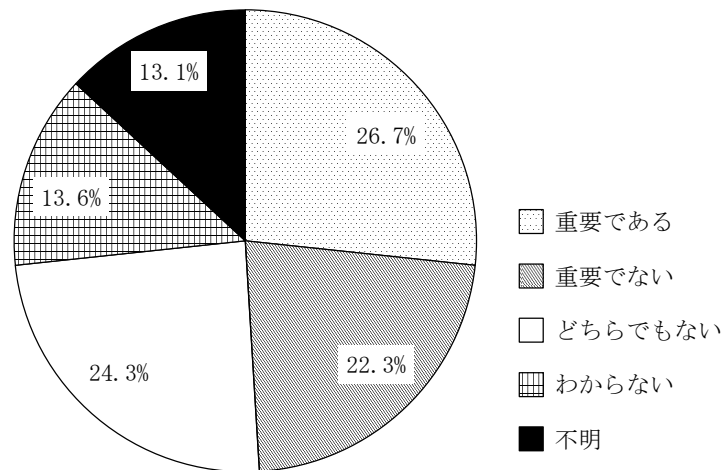
図表 2-40 「公共性や公益性などの社会的なメリット」に対する評価 (SA)



### ⑤施設のスペース・規模

「施設のスペース・規模」に対する評価については、「重要である」26.7%、「重要でない」22.3%、「どちらでもない」24.3%、「わからない」13.6%となっている。

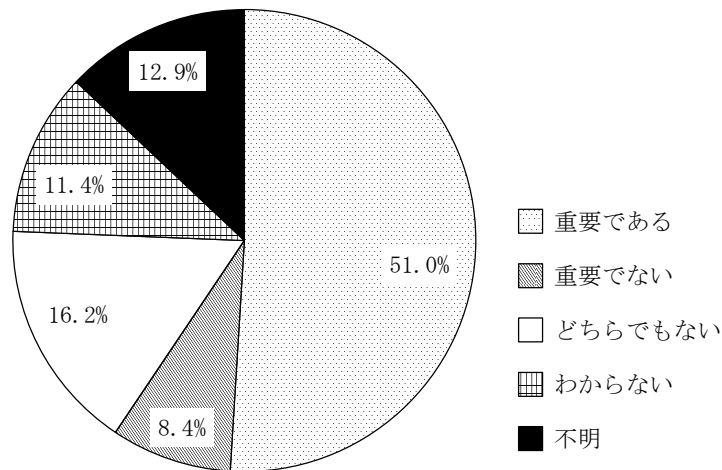
図表 2-4 1 「施設のスペース・規模」に対する評価（SA）



### ⑥施設の機能・特性

「施設の機能・特性」に対する評価については、「重要である」51.0%、「重要でない」8.4%、「どちらでもない」16.2%、「わからない」11.4%となっている。

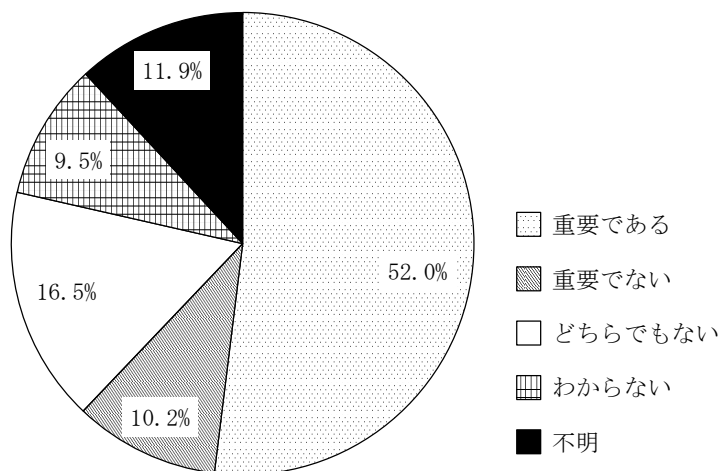
図表 2-4 2 「施設の機能・特性」に対する評価（SA）



### ⑦施設の立地場所や周辺環境

「施設の立地場所や周辺環境」に対する評価については、「重要である」が52.0%、「重要でない」が10.2%、「どちらでもない」16.5%、「わからない」9.5%となっている。

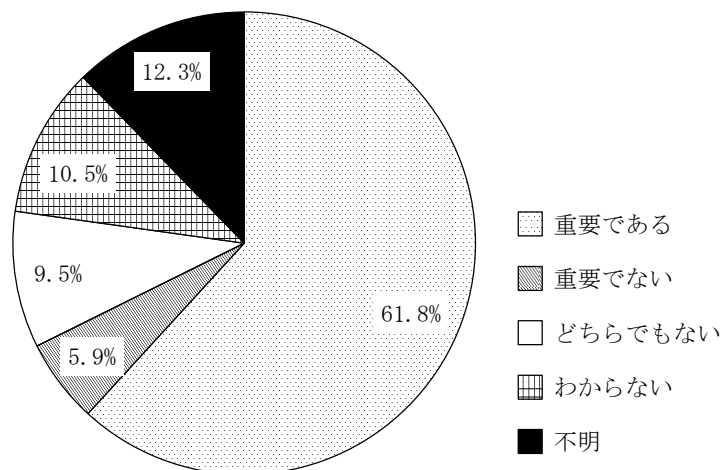
図表 2-4 3 「施設の立地場所や周辺環境」に対する評価（SA）



### ⑧施設の老朽度

「施設の老朽度」に対する評価については、「重要である」61.8%、「重要でない」5.9%、「どちらでもない」9.5%、「わからない」10.5%となっている。

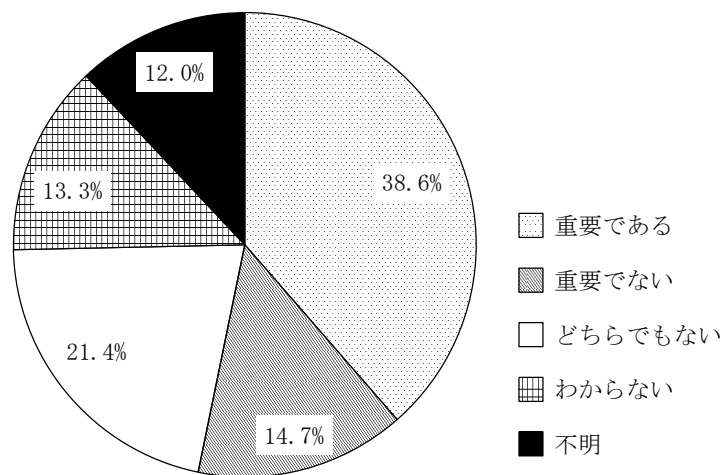
図表 2-4 4 「施設の老朽度」に対する評価（SA）



### ⑨施設の歴史的価値や市民の愛着度

「施設の歴史的価値や市民の愛着度」に対する評価については、「重要である」が38.6%、「重要でない」が14.7%、「どちらでもない」21.4%、「わからない」13.3%となっている。

図表 2-4 5 「施設の歴史的価値や市民の愛着度」に対する評価（SA）

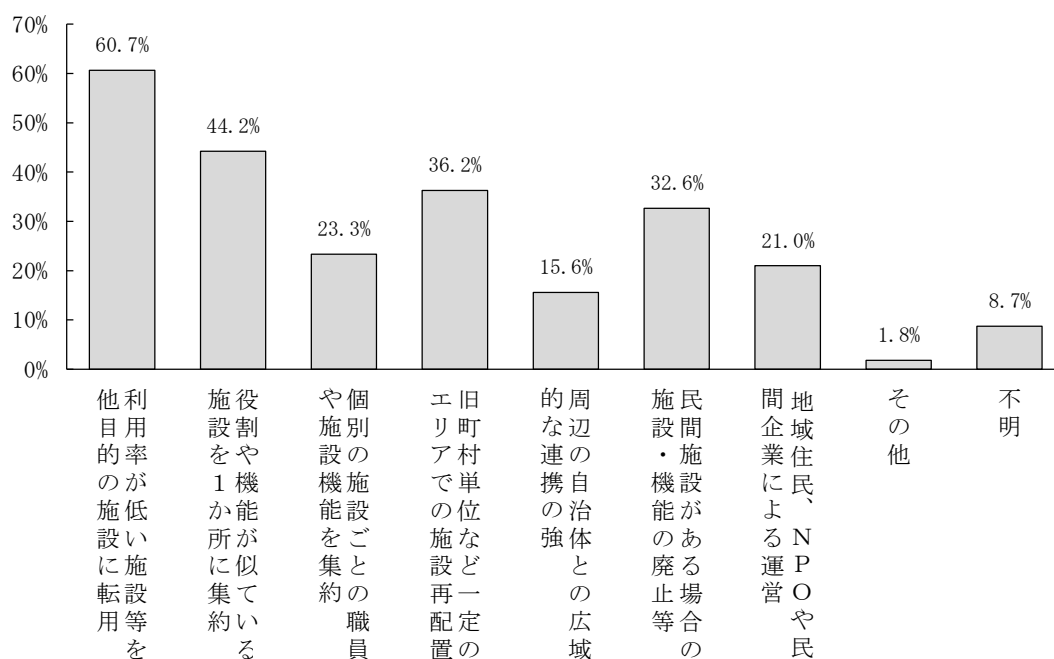


## (2) 公共施設の再編の方法

問 10 公共施設の統廃合などの再編は、どのような方法で進めるべきだとお考えですか  
(主なものを3つまでに○印)

公共施設の統廃合等の再編の方法については、「利用率が低い施設や利用されていない施設を他の目的の施設に転用する」(60.7%)が最も高く、以下、「役割や機能が似ていたり、重なっている複数の施設を1か所に集約する」(44.2%)、「旧町村単位や学区単位など、一定のエリアのなかで効率的な公共施設の再配置を進める」(36.2%)、「代わりとなる民間施設がある場合は、施設・機能の廃止や縮小を進める」(32.6%)となっている。

図表 2-4 6 公共施設の再編の方法 (MA3)



No.	カテゴリー名	n	%
1	利用率が低い施設や利用されていない施設を他の目的の施設に転用する	807	60.7
2	役割や機能が似ていたり、重なっている複数の施設を1か所に集約する	588	44.2
3	個別の施設ごとに配置されている職員や施設の機能を集約を進める	310	23.3
4	旧町村単位や学区単位など、一定のエリアのなかで効率的な公共施設の再配置を進める	482	36.2
5	周辺の自治体との広域的な連携を強化する	207	15.6
6	代わりとなる民間施設がある場合は、施設・機能の廃止や縮小を進める	434	32.6
7	身近な施設は地域住民による運営に、大規模施設はNPOや民間企業による運営を進める	279	21.0
8	その他	24	1.8
	不明	116	8.7
	全体 (回答者数)	1,330	100.0

## 5 公共施設再編に係る市民理解・協力

今後の公共施設の再編を計画的・段階的に推進していくためには、市民の理解・協力が必要となる。このため公共施設の再編に伴い、市民生活に影響が生じることが考えられる8項目をあげ、理解・協力の度合を調査した。

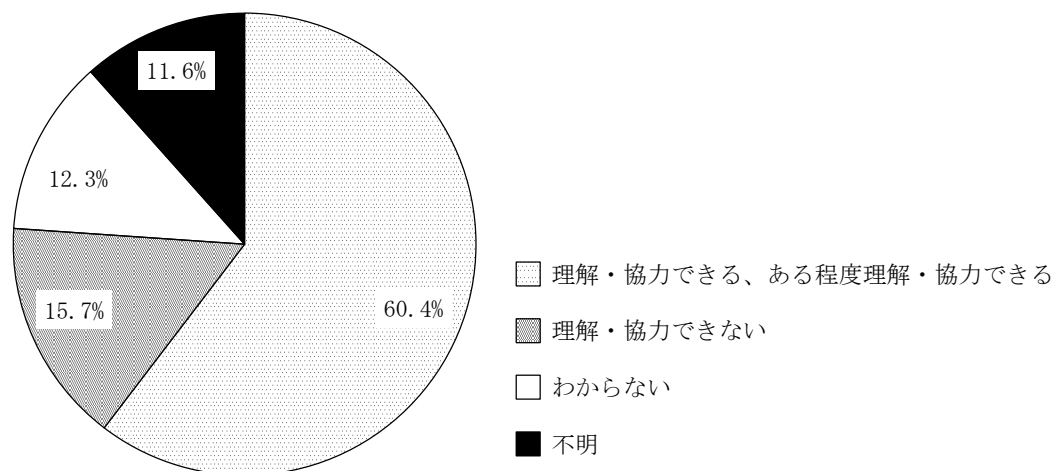
問 11 公共施設の統廃合や見直しには、市民の皆さんのご理解やご協力が必要です。あなたなら、どの程度、理解・協力していただくことが可能でしょうか？（①～⑧の項目について、それぞれ1つだけに○印）

※ ①身近で利用できる公共施設の数やスペースが減ること、②自宅から、利用する公共施設までの距離が遠くなること、③公共施設の開館日や開館時間が減少すること、④施設が定期的に使えなくなったり、利用できる回数が減ること、⑤公共施設の利用料金が値上げされること、⑥施設の職員数が減り、対応に時間がかかること、⑦施設で実施される事業やサービスが減ること、⑧施設の管理を民間に委託するなど、管理運営の方法が変わること

### （1）公共施設の数やスペースの削減

身近で利用できる公共施設の数やスペースが減ること（公共施設の数やスペースの削減）については、「理解・協力できる、ある程度理解・協力できる」60.4%、「理解・協力できない」15.7%、「わからない」12.3%となっている。

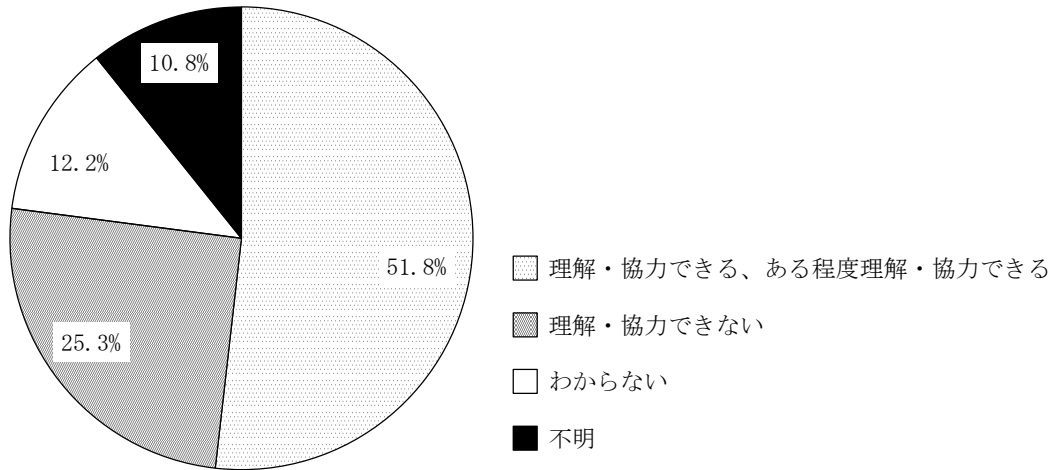
図表 2-4 7 「公共施設の数やスペースの削減」に対する理解・協力（S A）



## (2) 公共施設へのアクセス

自宅から、利用する公共施設までの距離が遠くなること（公共施設へのアクセス）については、「理解・協力できる、ある程度理解・協力できる」51.8%、「理解・協力できない」25.3%、「わからない」12.2%、「わからない」12.2%となっている。

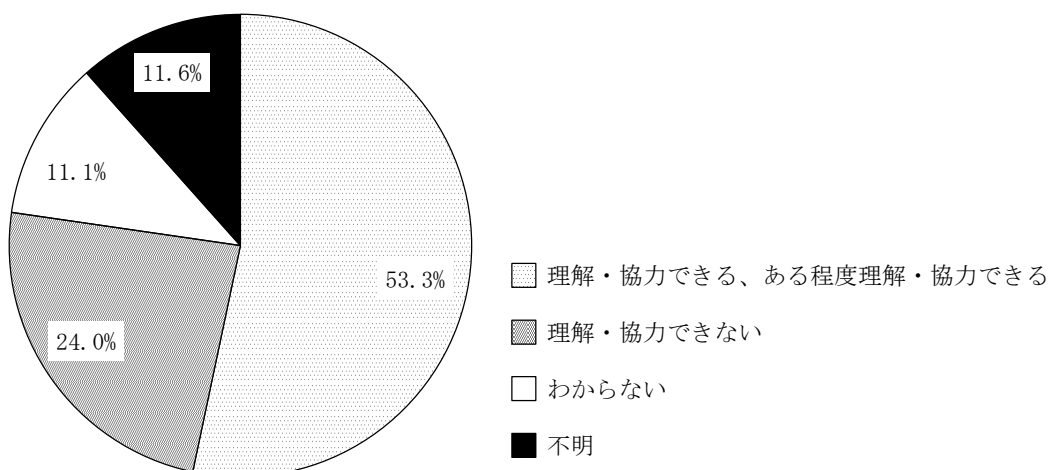
図表 2-4 8 「公共施設へのアクセス」に対する理解・協力（S A）



## (3) 開館日・時間の減少

公共施設の開館日や開館時間が減少すること（開館日・時間の減少）については、「理解・協力できる、ある程度理解・協力できる」53.3%、「理解・協力できない」24.0%、「わからない」11.1%となっている。

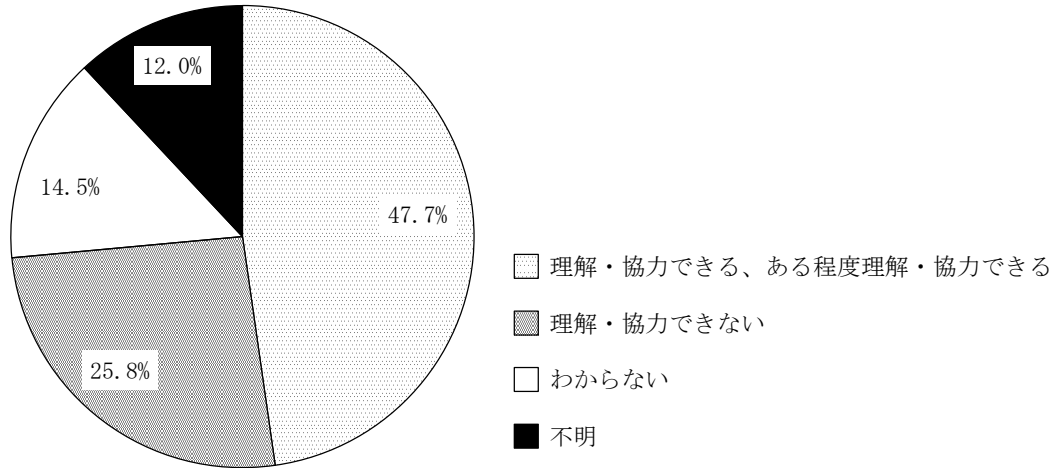
図表 2-4 9 「開館日・時間の減少」に対する理解・協力（S A）



#### (4) 利用可能施設・機会の減少

施設が定期的に使えなくなったり、利用できる回数が減ること（利用可能施設・機会の減少）については、「理解・協力できる、ある程度理解・協力できる」47.7%、「理解・協力できない」25.8%、「わからない」14.5%となっている。

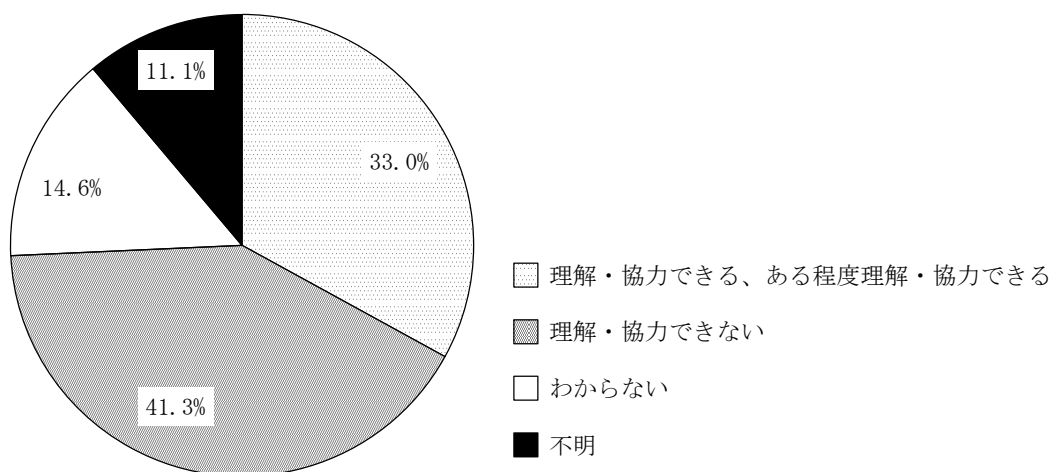
図表 2-50 「利用可能施設・機会の減少」に対する理解・協力（SA）



#### (5) 利用料金の値上げ

公共施設の利用料金が値上げされること（利用料金の値上げ）については、「理解・協力できる、ある程度理解・協力できる」33.0%、「理解・協力できない」41.3%、「わからない」14.6%となっている。

図表 2-51 「利用料金の値上げ」に対する理解・協力（SA）

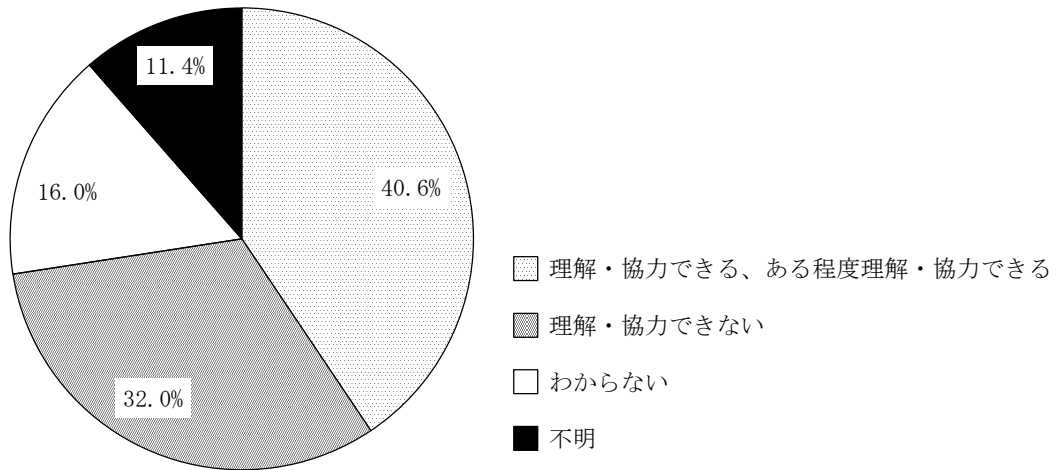




### (6) 施設職員数の削減

施設の職員数が減り、対応に時間がかかること（施設職員数の削減）については、「理解・協力できる、ある程度理解・協力できる」40.6%、「理解・協力できない」32.0%、「わからない」16.0%となっている。

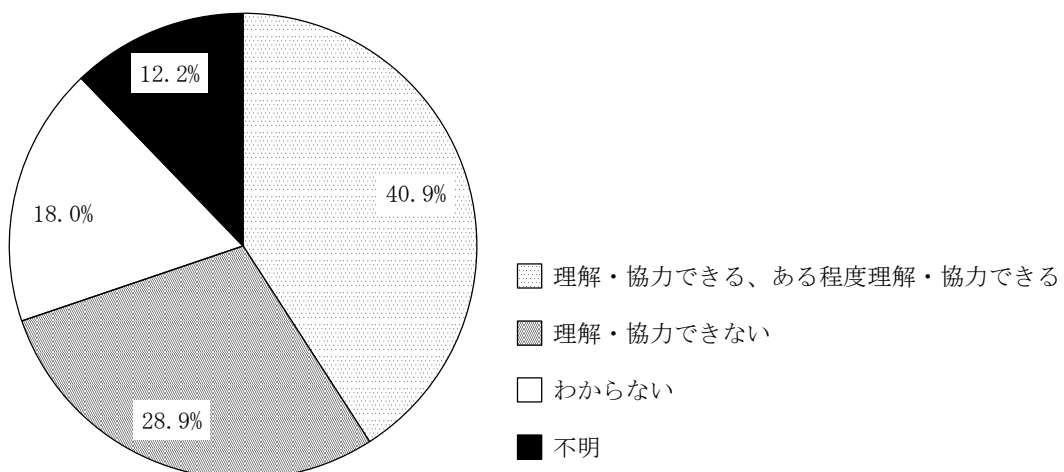
図表 2-5 2 「施設職員数の削減」に対する理解・協力（SA）



### (7) 施設事業・サービスの減少

施設で実施される事業やサービスが減ること（施設事業・サービスの減少）については、「理解・協力できる、ある程度理解・協力できる」40.9%、「理解・協力できない」28.9%、「わからない」18.0%となっている。

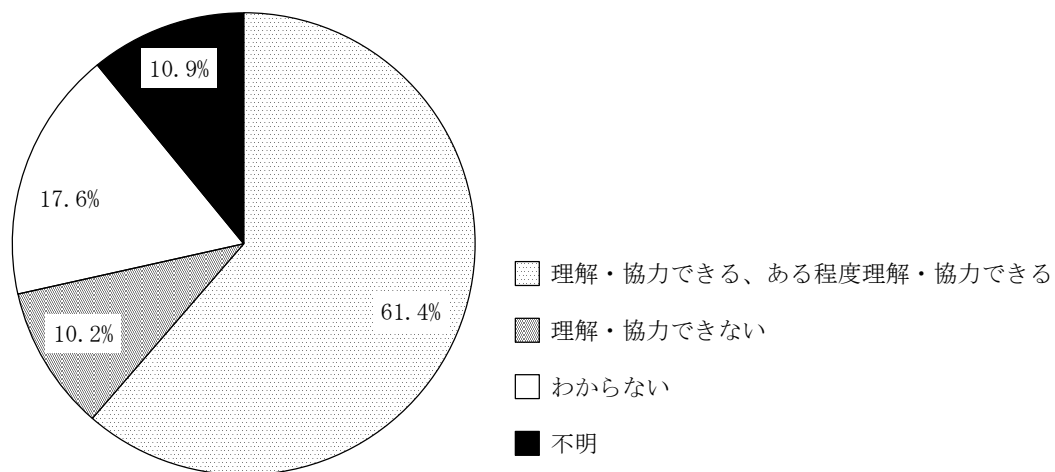
図表 2-5 3 「施設事業・サービスの減少」に対する理解・協力（SA）



### (8) 管理運営方法の変更

施設の管理を民間に委託するなど、管理運営の方法が変わること（管理運営方法の変更）については、「理解・協力できる、ある程度理解・協力できる」61.4%、「理解・協力できない」10.2%、「わからない」17.6%となっている。

図表2-54 「管理運営方法の変更」に対する理解・協力（SA）



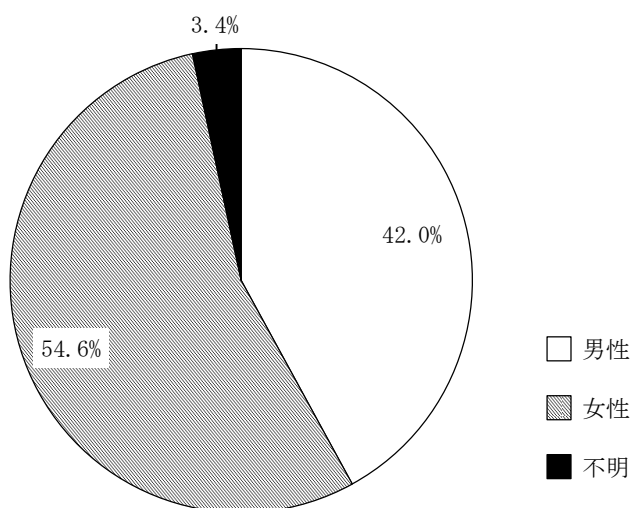
## 6 回答者属性

### (1) 性別

問 12 あなたの性別は、どちらですか？（いずれかに○印）

回答者の性別については、「男性」42.0%、「女性」54.6%となっている。

図表 2-5 5 回答者の性別（SA）



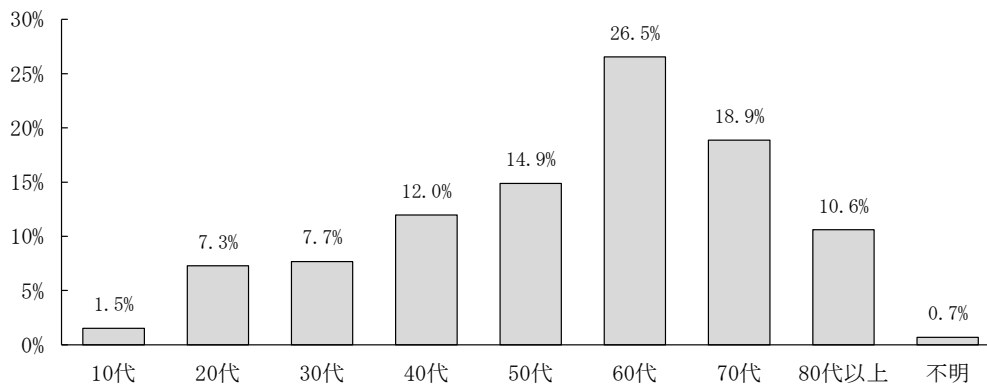
No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	559	42.0
2	女性	726	54.6
	不明	45	3.4
	全体（回答者数）	1,330	100.0

## (2) 年齢

問 13 あなたの年齢(平成 27 年 8 月 1 日現在)は、どれにあたりますか？(1つだけに○印)

回答者の年齢については、「60代」(26.5%)が最も高く、以下、「70代」(18.9%)、「50代」(14.9%)、「40代」(12.0%)、「80代以上」(10.6%)となっている。なお、「60代以上」は、70.9%となっている。

図表 2-56 回答者の年齢 (SA)



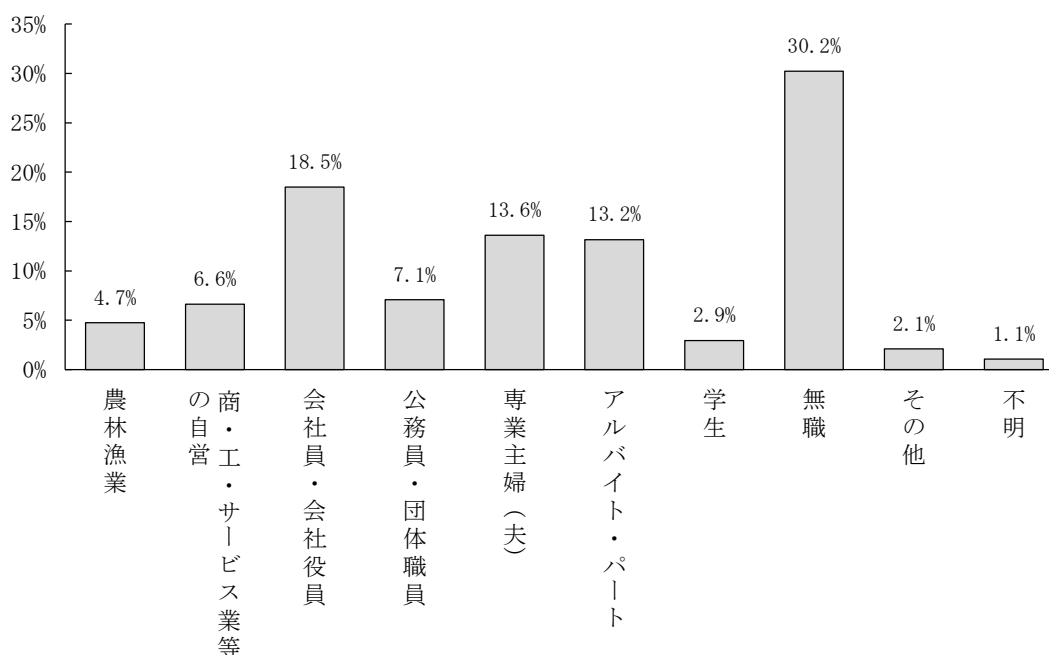
No.	カテゴリー名	n	%
1	10代	20	1.5
2	20代	97	7.3
3	30代	102	7.7
4	40代	159	12.0
5	50代	198	14.9
6	60代	353	26.5
7	70代	251	18.9
8	80代以上	141	10.6
	不明	9	0.7
	全体 (回答者数)	1,330	100.0

### (3) 職業等

問 14 あなたの職業などは、どれにあたりますか？（1つだけに○印）

回答者の職業等については、「無職」(30.2%)が最も高く、以下、「会社員・会社役員」(18.5%)、「専業主婦(夫)」(13.6%)、「アルバイト・パート」(13.2%)となっている。

図表 2-57 回答者の職業等 (SA)



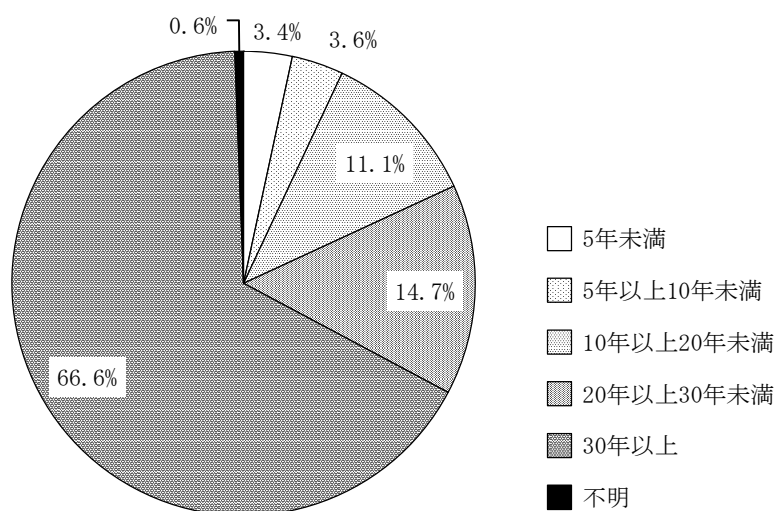
No.	カテゴリー名	n	%
1	農林漁業	63	4.7
2	商・工・サービス業等の自営	88	6.6
3	会社員・会社役員	246	18.5
4	公務員・団体職員	94	7.1
5	専業主婦(夫)	181	13.6
6	アルバイト・パート	175	13.2
7	学生(高校・専門学校・大学等)	39	2.9
8	無職	402	30.2
9	その他	28	2.1
	不明	14	1.1
	全体(回答者数)	1,330	100.0

#### (4) 居住年数

問 15 あなたは高島市にお住まいになって、どれくらい経ちますか？（1つだけに○印、合併前からお住まいの方は、旧町村時代からの通算年数でお答えください）

回答者の高島市の居住年数については、「30年以上」（66.6%）が最も高く、以下、「20年以上30年未満」（14.7%）、「10年以上20年未満」（11.1%）となっている。

図表 2-58 回答者の居住年数（SA）



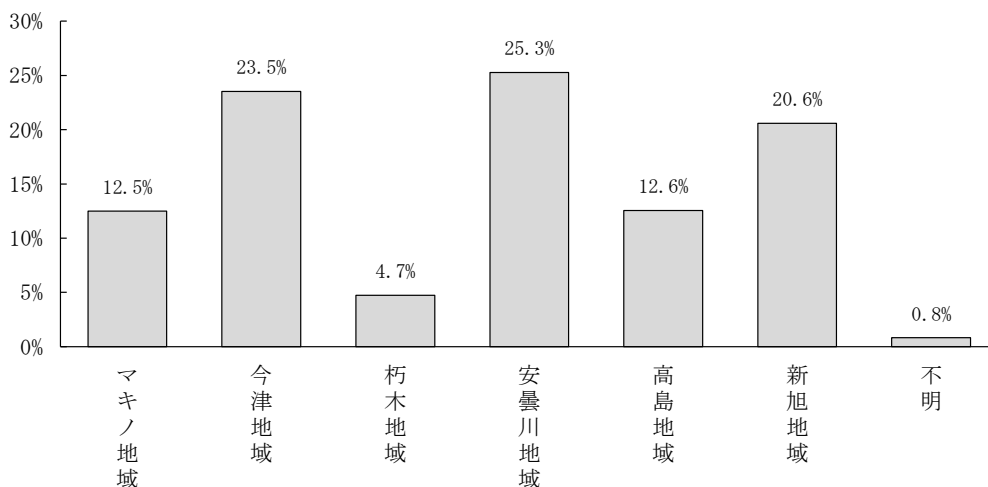
No.	カテゴリー名	n	%
1	5年未満	45	3.4
2	5年以上10年未満	48	3.6
3	10年以上20年未満	148	11.1
4	20年以上30年未満	195	14.7
5	30年以上	886	66.6
	不明	8	0.6
	全体（回答者数）	1,330	100.0

(5) 居住地区

問 16 あなたがお住まいになっている地域は、どこですか？（1つだけに○印）

回答者の居住地区（旧町村エリア）については、「安曇川地域」（25.3%）が最も高く、以下、「今津地域」（23.5%）、「新旭地域」（20.6%）、「高島地域」（12.6%）、「マキノ地域」（12.5%）となっている。

図表 2-59 回答者の居住地区（SA）



No.	カテゴリー名	n	%
1	マキノ地域	166	12.5
2	今津地域	313	23.5
3	朽木地域	63	4.7
4	安曇川地域	336	25.3
5	高島地域	167	12.6
6	新旭地域	274	20.6
	不明	11	0.8
	全体（回答者数）	1,330	100.0

## 7 自由記入

調査票では、質問の最後に自由記入欄を設け、本調査などに関することを自由に記入していただいた。本調査と直接関係のない意見・要望等を除く回答については、次の表のとおり、地区別に分類して掲載した。原則として記入内容をそのまま掲載したが、明確な誤字脱字等は修正を行った。なお、個人や団体が特定される内容は掲載していない。

図表 2-60 自由記入回答

### マキノ地域

No.	性別	年齢	職業	自由意見
1	男性	20代	会社員等	会議等でよく利用させて頂いております。大変ありがたい施設が多いです。今後統廃合となっていく施設もあるかと思いますが、しかたないことだと思います。行政として人口を増やすようなサービスができていけばいいです。
2	男性	30代	会社員等	どこの施設が統廃合されても不満の声は挙がると思うので、将来の財政等の情報を積極的に広め皆に納得してもらうことが重要ではないかと思います。統廃合自体は仕方のないことだと思いますし賛成です。頑張ってください。
3	男性	30代	会社員等	今後にわたって支えていく世代の為に、合理的な改革を望みます。
4	男性	30代	会社員等	問 11 の③④の様な事があればさらに利用を控えてしまう人が増えていくのではないかと思う。利用しやすい利用してみようと思わせることも考えていく事も必要ではないかとも思う。事務的な事は集約していくべきだと思う。
5	男性	40代	会社員等	高齢者が利用しやすいだけでなく若者が高島市に住みやすくなる両面が必要だと思います。
6	男性	40代	会社員等	今までの習慣に捉われず、財政面の配慮が必要。いずれも収入と支出のバランスが大切。子供に負債を残さず、人口が増えるように改革を切に願います。
7	男性	40代	会社員等	公共施設の再編の必要性は理解します。公共施設の削減については、特に子ども、障がい者、高齢者の利用の際の交通手段の確保をお願いします（公共施設の再編により施設までの距離が長くなると思われるため）。
8	男性	50代	農林漁業	福祉センターなど支所と同じ家屋に統合。
9	男性	50代	会社員等	若い世代や老人に使い勝手の良い施設は重点管理を実施し、今よりレベルを下げない様にしてほしい。
10	男性	60代	無職	人口減少の中、思い切った実効性に期待します。頑張ってください。
11	男性	60代	無職	① 基本は利用度が少ない施設は廃止すること。 ② 利用度が多い施設でも維持管理費が高つく場合は管理費用の節約等見直し必要である。
12	男性	60代	無職	行政（市役所）や医療（市民病院）のサービスも含め、バランスを考慮してもらいたい。効率化、経済性が再編の重要課題であることは理解できるが、それを金科玉条のごとく判断して一部地域に集中することなく、市民の一体性を醸成して欲しい。受益者負担で財政支出を減らすのも一案であるがもう少し広い視野から考えることも必要と思う。例えば、冬期の雪の多い地域では、体育施設が空いている時間帯には開放して欲しい。そのことにより健康増進を計って国保費を減らすなどの発想、取組を望む。
13	男性	70代	農林漁業	今よりも遠い施設に集約されたら、ますます利用しない。
14	男性	70代	自営	マキノ町に在住していますが他町と比し公共施設が少ないと思いますがそんなに不便とは思えません、他町ではあまりにも無駄なものが多すぎる様に思います。今後は市内二ヶ所程度に集約すべきと考えます。
15	男性	70代	無職	公共交通しか利用出来ない者にとっては、交通機関が便利にならない限りは、施設がどう変わろうが、建設されようが利用することが困難である。その様な者にとっては利用することが困難である。その様な者にとって利用しやすい立地や交通手段の方法を考慮に入れたい。
16	男性	80超	農林漁業	公共施設が多くて維持管理が大変だろうが、施設を少なくする事によって、面積が高島市は今迄より不便になる所が多くなると思います。出来るだけ市民が、公平に利用出来るようにして下さい。
17	女性	10代	無職	お年寄りが不自由なく暮らせる環境やサービスを考えて欲しいです。公共施設への交通手段を考えて欲しいです（車に乗れない人や公共施設に行く手段がない人が利用できるもの）。



No.	性別	年齢	職業	自由意見
18	女性	20代	会社員等	公共施設の再編にあたり、様々な意見があると思いますが、10年20年後の将来性を考えて検討して頂きたいです。その為にも新しいことにチャレンジしたりすることも大切だと思います。よろしくお願いします。
19	女性	30代	会社員等	公共施設を削減することは、仕方がないことだと思います。市内のいろいろな状況、思いのある中で、おもいきってバツサリ進めることは大切だと今の状況では考えています。ただ進めるにはしっかり市民へ途中の状況であったり、検討中などでもいいので広報をしてほしいと思います。
20	女性	30代	アルバイト	財政面から考えても公共施設の見直しは必要だと思うが、高齢化に伴う交通手段やサービスの質が悪くなる事はあってはいけないと思う。若い人はフットワークが軽いが高齢者になると何かと思うように動けなくなる事をしっかりと考えて、納得できる再編をして頂きたい。
21	女性	40代	自営	各施設の利用料金が上がっていると聞きますが、市民の負担が少しでも減る策を考えていただきたいです。よろしくお願い致します。
22	女性	40代	アルバイト	公共施設の統廃合による再編は、アンケートにお答えした様に、旧町毎に1ヶ所なくても良い施設、お年寄りが利用することに困らないこと等を念頭において決定すべきだと思います。
23	女性	60代	主婦(夫)	個人や各戸の負担なき様、住み良い市を目指して本当に”身の丈に合った行政運営”をしていていただきたいと切に望みます。
24	女性	60代	主婦(夫)	マキノ地域の良い所をのばしバランスよく発展させてほしい。高齢になりいつまで車を運転できるか気になるので、近くの施設などなくさないでほしい。
25	女性	60代	主婦(夫)	施設が同地域に集中せずに高島市の北の地域(マキノ)から南の地域(高島)まで同じ高島市民として何らかのサービスが受けられる様望みます。市の端の地域が忘れられない様、端の地域でもその施設がある事により人が集まれる町(市)作りを望みます。
26	女性	60代	主婦(夫)	あまり利用しないが、廃校になったりした所は、再利用してほしい。
27	女性	60代	アルバイト	少子高齢化のすすむ中、住民すべてが満足できるサービスや公共施設を求められるのはむずかしいと思います。しかし住みやすい高島市、弱者にも目を向けられる町づくりをめざしていけたらよいなと思います。
28	女性	60代	無職	催し物やスポーツ場等近い所で出来る様な場所を残してほしい。高齢者の遊び場又年金生活のため使用料も最低限にしてほしい。4月から金がある事はきました。みんな年よりの遊び場もない様になるなどみんな悲しがっています。気楽に遊べる場を残してほしいです
29	女性	60代	無職	問6,1の「利用者が少ない、利用率が低い施設」が減られるということは、マキノ町など人口の少ない地域にある施設が消えていくということにならないか。交通の便の悪い地域こそ公共施設は減らさないでほしい(過疎の地域がますます過疎化する)。
30	女性	70代	農林漁業	公共施設を縮小し、経費の削減。
31	女性	70代	主婦(夫)	公共施設の利用は人口の少ない地域ではその利用度が少ないのではないかと思います。思い切って「身の丈に合った運営」をするべきだと考えます。コンパクトにすることと内容を充実すること交通の便を考慮したある部分楽しめる場所である事を希望致します。私はこの町に来てから図書館以外はほとんど利用していませんがもっともっと皆が幸せになれるような施設作りをお願い致します。
32	女性	70代	アルバイト	施設の屋外の環境にも配慮が大切。時期的に雑草におおわれ立派な箱物も見た目はとても見苦しい。
33	女性	70代	無職	思い切った再編(削減)を進めて下さい。
34	不明	60代	自営	公共施設の利用度の低い南高北低では(人口密度)、マキノ地域では大変不理になるので各地域でのバランスよく廃止してほしい。
35	不明	60代	自営	地域バランス、地域特性等に配慮して対応検討すべきと考えます。

## 今津地域

No.	性別	年齢	職業	自由意見
1	男性	20代	会社員等	地域格差を考えすぎていたら、一向に進まない、地域ごとに特化したような再編をするべき。マキノは観光今津はスポーツ高島は医療のような住み分けがあっても良いと思う。もちろん格差がないに越したことはないが、とても無理だ。

No.	性別	年齢	職業	自由意見
2	男性	20代	アルバイト	公共施設の統廃合には地域特性を考慮し、市民に対する説明を願います。
3	男性	30代	会社員等	確かに施設の数が多すぎるので、廃止、統廃合、譲渡等を内容考慮しながら積極的に進めていただきたい。
4	男性	30代	会社員等	公共施設再編は、必ず必要な事であると思う。しかし、施設利用料金を上げる等、市民への負担は避けていただきたい。
5	男性	40代	会社員等	各地域でそれぞれに要望はあると思うが、市として全体のバランスを考えることが必要。利用率と維持費を考えて市の財政から縮小しなければいけないのは、家計におきかえてもすぐにわかることである。おもいきった縮小を希望する。
6	男性	40代	無職	機能がよく似ている施設については各町村に一つあれば良いと思う。ホールについては6町村で1つでよいと思う。福祉施設については現状維持で公共施設の削減については壊すのにもお金がかかるし再利用するにもお金がかかるし両面を考えた上での削減をお願いしたい。
7	男性	50代	農林漁業	余りにもムダな施設が多すぎる。高島市内にあればどこにあっても利用するのでぜひ改革をしていただきたい。
8	男性	50代	会社員等	当面の調査として重要な事と思います。次の段階において反映されればなおよいと思います。
9	男性	50代	主婦(夫)	高島市は広いので不便にならないようにして下さい。
10	男性	60代	自営	旧町村が補助金があるため同じような体育館や施設など多く建てたため、集約が必要と思われる。あと地は有効利用し、老人施設等、必要となるものに変更されればと思う。
11	男性	60代	自営	財政上このままでは無理だと思しますので思い切った再編をやらなくてはいけないので反対は承知の上でオープンに理解得られるよう説明をしていけば高島市民の文化として無理は言わないと思うししっかりやってほしい。
12	男性	60代	会社員等	すみやかに実行されることを望みます。
13	男性	60代	アルバイト	公共施設を減少して職員の数を少なくする。
14	男性	60代	無職	老朽化して安全や衛生面で問題のある施設は基本的になくしていけばと思う。重要と思われるのは、文化性を大切に(スポーツでも文化として定着していること)という事。文化性＝特性であり、ここに発展のエネルギーが潜んでいるので単に現在の利用率だけで判断しないでほしいと思います。
15	男性	60代	無職	公共施設のある程度の再編は理解できるが、高島は広い面積を有する地である。単に金銭面だけで考える再編は市民の理解を得ることはできない。慎重さが必要である。
16	男性	60代	無職	公共施設を集約するなら遠い所の施設には行かなくなる。各旧町村ごとに公共施設は残してほしい。
17	女性	20代	会社員等	高齢者の方々の交通の面もしっかり考えて、統合すべきだと思います。
18	女性	20代	会社員等	市内に住んでいる人、自分もそうなのですが、高島にはこんなにたくさんの公共施設があることが今回初めて知りました。市民だけでは今ある公共施設は使用しきれないのは確実なので市以外の人や県外の人たちに使用してもらいなおかつその使用した人たちに観光してもらおうなどしていったほうがよいと思う。
19	女性	30代	アルバイト	思っていた以上に公共施設があることにびっくりしました。今津地域は、公民館、コミュニティーセンターが小学校区以上にあるような感じがする。利用人数が少ない所は減らすと良いと思った。使う人にとっては不便かもしれないが・・・時間は、10時(PM)までだが、曜日によって遅くまで使える日等であると嬉しい。
20	女性	40代	会社員等	観光施設は、市外からの観光客を集客するのに重要ですが、市内の者にはあまり利用することがないので、子供(小学生等)の教育の場(社会見学)に使ったりしてもっとより良く利用して欲しい。市内の施設をみんなが手軽に利用できるように、開放的な施設にして欲しいです。どういうふう利用できるのか、知らない人も多いから。ワークショップや個展、市内の方のアイデアや才能を生かした、町の公共施設を目指してほしいです。
21	女性	40代	会社員等	公共施設の再編だけでなく、高島市が住みやすい町になることを願います。若者の就職口が増え、高齢化に歯止めがかかるよう対策をお願いします、大津方面からの道路、鉄道整備も重要ですし、大きな病院も必要です、将来を見通しての投資も大切だと思います。

No.	性別	年齢	職業	自由意見
22	女性	40代	アルバイト	少子化、高齢化している今日、公共施設の見直しも必要な事ですが車に乗れない高齢者はどこへも出られなくなり、用事のある時は1日ばかりででかけなくてはならないのが現状です。安心して住み良い高島市にしていけるように、みんなで考えたいと思います。
23	女性	40代	アルバイト	大阪市内まで働きに出ており、土日祝しか時間が自由にならないので、ほとんどの公共施設は使用できていません。現在、どの様な施設があるのか把握しておらず今回のアンケートでこんなに沢山の施設がある事を知りました。
24	女性	40代	その他	公共施設の再編で少々不便になってもかまいませんがんばってください。
25	女性	50代	会社員等	特定の人が利用する施設よりも、保健-福祉等の施設を重視する必要があると思う。
26	女性	50代	会社員等	合併により施設が(同じような)多くあるのは、当然のことであり、削減していかなければならない事も当然だと思う。現在は会社勤めなので利用することが少ないが、自分が高齢になった時利用施設が遠いと不便を感じることを思うと利用者が少ないからと削減するのは考えものだと思う。現状市にどれだけの重複施設があるのかもわからないのが現状である。
27	女性	50代	会社員等	利用する側特に(子どもや高齢者、障がいのある方)に立った取組をお願いします。
28	女性	50代	主婦(夫)	高島市の公共施設は、ほとんど車がないと行けない所にあり、公共交通手段で行く方法がわからない。行くにしても時間がかかりすぎるため利用できない。今は、自宅から徒歩、自転車で行ける所のみよく利用している。大きなイベントなどができるホールやグラウンドなどは、行ってみたいと思える内容でないと、時間をかけてまで行かない。でも内容によっては、他県だろうと何とかして行く。小さな会議などの場合は、公民館以外にも、自治会館利用、保健センター利用など多目的で利用できるといいのに、開館時間の問題もあるが。
29	女性	50代	アルバイト	今後も、高島市に住み続けます。明るい未来でありますように願っています。少しでも若者(子供達)が生活しやすいようになればと思います。
30	女性	60代	会社員等	公共施設は近くにあるから利用しやすいという利点があるが利用者数が少なければ統廃合するのは無理からぬことと思います。残す施設はより公益性のある、各年令層に向けた必要な、興味のある取組をすべきだと思います。
31	女性	60代	主婦(夫)	どこで判断するか難しいですが、例えば開館日なのに閉まっているような利用率の低いところは廃する。複合機能のある場合は利用が多い機能は残すなど、手数はかかるかもしれませんが、丁寧に調査、判断してください。利用料についてはよく話題になります。趣味のサークルの人は、年金暮らしだが無料で利用できたからいくつかのサークルで活動できたが、今後はサークル自体が、月会費をすべて会場費にあてられなければならない。値上げも難しいとのこと。
32	女性	60代	主婦(夫)	文化活動を続けようとする者(たとえそれが趣味であっても)にとって自転車や徒歩で行ける距離に利用施設があることを願います。又利用する者は維持に必要な費用は自己負担もいた仕方ないことと思いますが、できるだけ低額にしていれば利用回数も減らさずに活動できます。
33	女性	60代	主婦(夫)	現在私は65才です。子供たちが小学生の頃は図書館をよく利用したり町の催しがあれば出かけたりしました。そのうち私自身が仕事をしたりでほとんど利用しなくなりましたが、今は孫たちが京都に住んでいるのですが遊びに来ると大いに利用しています。又母が90才で介護施設なども利用させてもらっています。市もこの先高齢化が進み、10年、20年後を見すえた運営が必要となるでしょう。若い人が住める市にする必要があると思います。
34	女性	60代	主婦(夫)	余り利用されていない施設は一本化、特に活発に利用されている施設は益々活発化して下さい。図書館、プール、ジム等(特に室内で、夏冬運動できる場所)。
35	女性	60代	主婦(夫)	図書館は絶対に近くにあってほしい。多分遠くになると行かなくなると思う。スポーツ、観光レクリエーション施設は民間にまかせ運営してもらった方が、色々な良いアドバイスも出て良い施設になるかも知れないと思う。

No.	性別	年齢	職業	自由意見
36	女性	60代	アルバイト	旧町村とか学区単位にとらわれずに再編してほしい。これをするにはこの施設、あれをするにはあっちとバラバラで、移動は自家用車。法律がらみでなかなか多目的な施設や環境を作るのはむずかしいのかと思います。年齢を問わず、そこへ行けば、複数の目的が達成できるとよいのと思います。そしてそれ以前に身近な区の集合場所（会館）ずいぶん新しい所が増えていますが古い所も多いので、それが新しくなれば、一番ありがたいです。
37	女性	60代	アルバイト	公共施設の再編は経費節減や色々な面で住民に対する負担が減るのではと思われる。そうでなくても年金の目減りや税金アップ等があり、少しでも再編できる施設への理解や協力はおしまないつもりです。
38	女性	60代	無職	楽しく使用している人が多いので出来るだけ今のままが良い。老朽化が進んで、使用出来なくなったのは、無くしていくのが良い。市民皆が納得する方法などないので。
39	女性	60代	無職	公民館を利用していますが、廊下、トイレが真暗で市の財政も考えて少々の事は、協力したいと思います。公共施設の見直しでサービスの水準が、今以上に低下しないか、高齢化のなかで、私も65才をすぎて生き苦しさを感ずります。
40	女性	70代	主婦（夫）	公共施設をいろいろ利用したいのですが、バスの回数が少なく時間がかかるので困っています。
41	女性	70代	主婦（夫）	改革の仕方によって利用者が減るようでは本末転倒です。本来の目的にそったやり方をお願い致します。
42	女性	70代	主婦（夫）	若い時から65才迄（日赤、福祉推進、高齢者給食、保健所）等々目いっぱい活躍して来ましたが今は若い人々に託して主婦の仕事を楽しみながらやっております。公共施設も色々な所に出掛けました。これからはその地区によって何もかも利用できる施設を1つだけにしたやり方が経費もおさえられて良いのではないのでしょうか。
43	女性	70代	無職	高島市は全体が広いので仕方ない部分も多くあると思います。削減することにより、JRに乗って出かけるのはおっくうとなり、外出は減るだろうと（自分は）思います。日常的に趣味は少なくし、家の回りのみと家事、買い出しでの生活となると、少しさみしいですが財源のことを考えるとそうなるのだらうと思います。
44	女性	70代	無職	私は高齢の為あと何年利用させて頂けるのかわかりませんが子供や孫の時代に多くの負担をさせたくないと言うことが一番ですね。良く時代を継がせたいですね。
45	女性	70代	無職	他県から終いの住いをと移住しました。身近に色々な施設があり自由に利用していますが財政状況が厳しい昨今、統廃合はやむを得ないと思います。健康寿命を長くするため、施設を活用することを考えるのも将来的な財政に寄与すると考えます。
46	女性	80超	自営	これから少子高齢化が進む中合併により重複の施設があるし市の経済も大変だろうと思うと必要最小限に削減しそのかわり小型バス等で歓迎する方法はありますか。
47	女性	80超	無職	いらぬ施設は廃止する。必要な施設は作って行く。
48	女性	80超	無職	公共施設利用にあたり、家族に負担がかからないことを希望します。
49	不明	40代	会社員等	次の世代の負担にならない様に長期的な見方で再編をすすめてください。

## 朽木地域

No.	性別	年齢	職業	自由意見
1	男性	30代	会社員等	利用率が高い・低いも大切だがその土地、地域にとって必要だったりなくては困るものもある。朽木だから利用率が低い、今津だから利用率が高いではなく、利用率は低いけれども、必要としている人がいる事の方も大切ではないか。削減することも大事だがそれに代わるものもきちんと示してくれないと納得はできない。
2	男性	40代	会社員等	公共施設を利用することがあまりないので、個人的には全く必要がない。
3	男性	50代	自営	合併後に出来ていないのが公共施設の縮小（合併）である。各地域住民の特色を未来性を考え早急に取りかかる必要がある。人口減少に伴い、施設を1つの屋根の下に集めるべきだと思う。
4	男性	50代	会社員等	将来を見すえて思い切った統廃合をしてください。

No.	性別	年齢	職業	自由意見
5	男性	60代	農林漁業	公共施設の維持管理は大変だと思いますが、日々の中で目配りが常に必要ではないでしょうか。大変ではあると思いますがそれが行政の務めでもあり、義務でもある。よろしくお願いします。
6	男性	60代	アルバイト	夜間に利用者の少ないグラウンド etc 目につくものも多い。早期にできるものから具体的に施策を実施して欲しい。
7	男性	60代	無職	施設であれ行政サービスであれ公共に関することは格差がなく公平が最重要であり、その意味で現存施設を全て廃止し、リセットして、高島市として出直す。
8	女性	30代	アルバイト	公共施設の統廃合は必要だと思うが、図書館や文化ホールなどは子供達の未来に必要な施設であるので未来への投資だと考えて大事にのこしてほしいと思う。特に図書館は近隣の市町村に比べてもサービスや業績がすばらしく、高島市の未来をつくる宝だと思う。安易に民間委託しないでほしい。
9	女性	40代	主婦(夫)	公共施設の再編により施設数が減っても、職員数を減らさずに維持すれば、サービスの低下も防げるとし、雇用場所の確保にもなると思う(問11で理解できないと答えた理由です)。
10	女性	60代	主婦(夫)	地域性を考えて距離の近い所の施設は統廃合しても通いやすいが、朽木のような遠い所は残してほしいと思います。高齢化が進むので1人暮らしの人などはシェアハウスなどを今の施設のあいた所に住んでもらって、訪問介護の負担が少なくなると思う。
11	女性	60代	主婦(夫)	厳しい財政の中公共施設が多すぎる為、整備大賛成です。私達年金生活には少しでも足りないお金をへらして下さい。
12	女性	60代	無職	公共施設など防災無線で行事など聞きますがどこにあるかわからないのが多くて利用するのに困る。
13	女性	60代	無職	ある程度の集約は必要であるが地域で片寄らない様にして欲しい。朽木は小さくて他町へ行くのも不便であり、最小限の施設は残して欲しい。
14	不明	60代	無職	大変でしょうが、経費削減を進めて下さい。

## 安曇川地域

No.	性別	年齢	職業	自由意見
1	男性	20代	会社員等	施設の閉館時間を延ばしてほしい(スポーツ施設)。
2	男性	20代	会社員等	高島市での環境すごく満足しています。私自身子どもが2人いますが保育園や支援センターの数や催しなどたくさんあり利用しています。公共施設の再編ですが施設が重複していたり、交通の便が悪く少し離れたところにあり観光客があまり来ない所はなくして1つ大きくて施設の中身を集約した整備された施設を交通の便がいい所に建てればよいと思います。
3	男性	30代	会社員等	若い世代の意見をもっと取り上げてほしい。
4	男性	30代	会社員等	高島市は広いので、旧町村単位で似通った施設が複数存在することはある程度必要であると思うが、一方でコスト面の削減やサービスの向上を努めていくことは当然必要で意識してほしいと思う。
5	男性	30代	会社員等	図書館は子どもの心・体を育てる大切な場所。これ以上開館日を減らさないでほしい(開館を減らすより、時間調整でなんとかできれば…)。
6	男性	30代	会社員等	子どもと高齢者の方を考えた再編をしてください。予算を市がどこにかけるか。何に重点をおいているのか、明確に示してほしい。
7	男性	40代	会社員等	地域特性や利用状況、維持管理経費のほか、防災や周辺住民の声など、総合的な判断をしていただきたい。
8	男性	40代	会社員等	大変だとは思いますが高島市がより住みやすくなるよう期待しております。
9	男性	50代	会社員等	高島市内の旧町の複数施設を南北地域に分け施設数を減らす(支所も含めて)。
10	男性	50代	会社員等	現在施設は有効に活用する一方で、老朽化、改修にかかる費用が多額になる施設は積極的に廃止すべき。
11	男性	60代	自営	現在もあまり利用していない施設は不要だが、他の施設を利用する時に、送迎バスや利用時間の延長等も考慮して本当に必要な施設のみ残すという選択もありと思う。職員数やシステムも見直す必要ありと考える。

No.	性別	年齢	職業	自由意見
12	男性	60代	会社員等	公共施設の再編は利用率、メンテナンス費用を考慮し、大胆に行うべき。数より質向上に力を入れる方が望ましい。また、地域（自治会単位）のコミュニケーション向上のためには、自治会の集会所を充実できる様に予算配分を行う。駅前公園整備や観光地に資源を集中してほしい。
13	男性	60代	会社員等	面積の大きい高島市ですので、地域格差が出ない行政の運営を期待します。
14	男性	60代	無職	現在も利用していない施設が多くあるので、有効利用出来るのかそれぞれ検証し、廃止か存続かを決めてほしい。
15	男性	60代	その他	将来を見据え、無駄を排し、経費節減による財政の健全化が重要と考える。公共施設とは言え維持費捻出の為には利用者の自己負担額（受益者負担）の増額も考慮すべき。
16	男性	70代	農林漁業	予算や財政状況が悪ければ利用率が低い施設から順に廃止や削減されていったらいいのではないかと思います。
17	男性	70代	無職	旧町単位の図書館や公民館は現在の1/2にすべきだ。
18	男性	70代	無職	公共施設等の再編の状況情報についてもっと具体的に現在、どうなっているかを知らせてほしい。
19	男性	80超	無職	重複に近い施設は間引きして、利用者負担してもらってサービス面は低下しないですばらしい施設にしてほしいです。
20	女性	20代	会社員等	高島市民でも、ほとんど公共施設を利用していなかったことに今回のアンケートで気付きました。観光レクリエーション施設は市民だけでなく県内外からの方々が多く利用されているので高島市の活性化に繋がると考えています。これからの施設に関しては統合ではなく特性を活かして催し物をしたりすることによって維持することはできないのでしょうか。頑張ってください。
21	女性	20代	学生	人ありきの施設である。しかしながら、利用者の減少→施設縮小・廃止という図は短縮にすぎる。老朽と利用減少を同列に語るべきでない。まずは公共施設を人々が積極的に利用するよう働きかけることが重要である。今、踏ん張らなければ、市民は交流する場をなくす。将来、必ず後悔することになるだろう。人を人口という数値だけでみてはならない。
22	女性	30代	自営	高齢化が進んでいるので公共施設への交通手段が自家用車だけになるようでは、利用できなくなるので、高島市の地域性や将来性をしっかりと見すえた再編がされるように望みます。例えば図書館は、住居の近くにあるからこそ利用も増える。遠い所まで行くなら近くの本屋で…とかインターネットで…と図書館離れになる。よい施設があるので民間に運営をまかせても、閉鎖するようなことにならないでほしい。
23	女性	30代	会社員等	利用者が少ないからといって公共施設の数減らすのではなく、内容や対象者によって減らしてほしい。高齢者が多い所は高齢者が利用しやすい場所。
24	女性	30代	主婦（夫）	市内で同じ施設がいくつもあるが、1つにまとめると遠くて行きにくいということにならないようできるだけ南部北部というふうに考えてほしい。再編後の施設利用をきっちり決めてから再編してほしい。市の税金が使われている施設なので、ほったらかしにならないようにお願いします。
25	女性	30代	アルバイト	子供達から若い世代の人達（子育て世代）が住みやすい（使いやすい）と思える施設がないと、少子高齢化はますます加速していく一方だと思えます。若者の意見もぜひとり入れて検討してもらえれば幸いです。
26	女性	40代	会社員等	公共施設は災害時の避難場所として利用される所も多いと思うので、地域の活性化、生活向上を図るためだけの整備ではなく、人命を救う為の公共施設としての役割がしっかり果たせる施設になるよう、削減・整備については充分検討し、高島市にとってのBest案を作り出してほしいと願います。（P.S）バリアフリー化が進んでいる中、今だに車いすやバギーで施設内を自由に動けない所があります。もう一度施設を再確認してください。
27	女性	40代	会社員等	25年後のことを考えると仕方ない事だと思いますが、一方住みにくくなるような高島市にならないように考えて下さい。
28	女性	40代	主婦（夫）	再編する事については賛成だが、予算等経費だけで統廃合してはいけないと思います。地域の利便性を主体に考えていかなければ、人口の少ない地域は不便になる可能性があると思います。
29	女性	40代	主婦（夫）	似た役割を持つ施設が近くに集中しているものは違う役割をあてると良いと思います。

No.	性別	年齢	職業	自由意見
30	女性	50代	アルバイト	施設の数や職員の数を減らす等まるで理解できません。公共施設は、市民の健康に大いに関係するという事が、市民が生き生きと生活する、その事が市の経費削減となる事がまるで理解されていません。もっと先進県を参考にされてはどうでしょう。市民が健康で生き生きと生活する事が、どんなに大切な事なのか、もう建物を建てる事はやめましょう。
31	女性	60代	農林漁業	市内にこれだけの沢山の公共施設があるとはびっくりしました、これから人口も減ってきますので利用者の少ない施設は減らすべきだと考えます。
32	女性	60代	主婦（夫）	高齢化社会の事も考え、年配者や障がい者が活用しやすい公共施設への再編を願う。
33	女性	60代	主婦（夫）	公共施設が一部の地域に片寄っているので1,2カ所に減らす（コミセン）（スポーツ施設）。
34	女性	60代	主婦（夫）	私は今まだ60才台で車の運転ができ、公共施設が少し遠くなくても対応できていると思いますが、これからの高齢化社会の市行政・サービスは根本的に見直していく必要があるのではないのでしょうか。健康寿命を伸ばしていくために、保健・スポーツ施設と知的刺激の活動の場となる公民館や図書館は、利用額や運営方法で、市民にとって優しく、楽しく、使いやすいものであって欲しいです。また、若く新しい住民を迎え入れ、少子化対策等も充実させていくことも大切だと思います。
35	女性	60代	主婦（夫）	定年を過ぎた者にとって、公民館の行事や教室は、経費も安く気軽に行く事が出来て楽しみでもあります。市になって、他町村の方とも交流が出来ました。でも、数が減って遠くなると行くのにおっくうになります。出来るだけ残していただきたい。開館日や時間で調整していただけたらと思います。
36	女性	60代	アルバイト	計画策定される前に貴市が以前実施されたような市民参加型（事業仕分け）の検討会議を実施し、広く市民の意見を聴く方法を検討してください。
37	女性	70代	自営	似たようなコミセンがいっぱい有る。私は利用したことがほとんど無い。高島市の面積は広いと言え、一つの市にいつまでも多くの施設はいらないと思う。近くに多くの施設が有ると便利と思われるかも知れないが、働く人の数、財政や人口減少も計算に入れて置くべき時が来ている。
38	女性	70代	主婦（夫）	町から遠いので、交通の便が悪く行きたくとも、なかなか行けず残念に思っています。それに高齢ですのではなかなか出向くことが出来ません。やはり町の方に住まないといけないと最近思っています。
39	女性	70代	無職	大変良いことだと思います。住みよい街づくり、公平、平等に高島市民の未来の為に、力をそそいで下さい。
40	女性	70代	無職	高齢化社会になり公共施設の利用もだんだん減ると思いますし、介護施設のようなものが沢山出来るのがいいと思う。
41	女性	80超	無職	健康増進を図る施設はぜひとも残していただきたい。
42	女性	80超	無職	1人暮らしのため駅まで行くにはお足がなく不便であるから何とか考へてほしい。
43	不明	60代	自営	もっと公共施設が利用しやすくしてほしい。

## 高島地域

No.	性別	年齢	職業	自由意見
1	男性	20代	会社員等	使いやすい公共施設が欲しい。
2	男性	30代	会社員等	老朽化している施設、利用者の少ない施設は集約する多少地域差が出るが仕方ないと思う。そのかわり、集約された施設は、サービス、設備の面で優遇してほしい（料金、設備など）集約→上記が現状のままなら意味ない。反発が出るのでは。
3	男性	40代	無職	公共施設の再編を進めて高島市が財政破綻しないようにして下さい。
4	男性	50代	会社員等	財政が厳しいなか、今日までと同様のサービスは出来なくて当然である。人口減を見越して、箱モノと職員を減らす。先に減らして、必要最小限のサービスを守らなければならない。今日までに年金等で優遇されてきた高齢者ががまんしてもらって若い世代にお金を使うべき。支所や窓口業務はITを活用して民間に委託すべき。
5	男性	50代	会社員等	将来の使用方法や移動手段（公共交通機関）等の利用も視野に入れて考えて頂きたい。現在は、車等の運転が出来ますが今後は運転出来なくなる方々が増加すると思われます。

No.	性別	年齢	職業	自由意見
6	男性	50代	会社員等	30年ぶりに高島に戻ってきましたが、町村合併により同様の箱物が多く目につきます。やはり早急に減すべきと思います。
7	男性	50代	会社員等	ある程度の利用料が必要なことは理解できるが、できるだけ低額にして頂き、利用者の負担が少ない方が、利用率も上がると思う。
8	男性	60代	自営	公共施設が少なくなれば、職員数も考えて欲しい。
9	男性	60代	会社員等	特に統合した場合には交通の足を市が確保する事。民間委託が可能な施設は、選択肢の一つとする事。費用対効果も大事だが本当に必要な物はその限りではない。地域間の格差是正（地域の一局集中）は、十分考慮する事。
10	男性	70代	無職	高島市の公共施設の現れ①②③④どれを取っても厳しいものであり30年間で50%削減とあるがもっと10年間単位でドラスチックにやるべきと思います。
11	男性	70代	無職	生きがいづくり、健康づくりの場としての公共施設は、交通の便の良い所駐車場がゆったりとして事故を心配しなくても出かけられる事が重要と思う。別に地域の中の小さなグループ活動縁側の居場所づくりで高齢者の生がいと健康づくりが出来る村のリーダーの育成も。
12	男性	70代	無職	公共施設の一極集中化を極力避ける様に願いたく。
13	女性	10代	学生	グラウンドとかのスポーツ施設は多かったり、ほかの所にもあることが多いので少なくてもいいかなと思いました。図書館は町に1つはないと、勉強したり調べ物をしたりするのに困りそうだと思います。公民館とコミュニティーセンターは多すぎかなと思いました。観光系は人気のない所は人気のある所と合体すればいいのではないかと思います。
14	女性	20代	学生	公共施設は様々な所にあるより、1カ所にまとめ、そこへの交通機関を充実させる方が、利用率もあがるし、それによって活気も生まれると思う。市民全体の交流の場にもなると思う。特に、私たちの世代は、スポーツ施設などの機能がもっと充実すれば、若者も多く利用し、よいのではないかと考える。
15	女性	40代	主婦（夫）	役所仕事で終わらせず、個人での動きが不自由な弱者視点での利便性を優先していただきたい。
16	女性	40代	アルバイト	お年寄りのグラウンドゴルフなど、遊び場は多いが、10代20代が遊べる場があまりないように思います。子どもが小さい頃バドミントンやバレーなど気軽に利用できる場があまりなく、公園ばかり行ってました。もっと室内のスポーツが気軽に利用できる場があるといいと思います。体育館などはありますが、利用しにくいように思います。もっとスポーツ道具を貸し出しみんな利用しやすいスポーツ施設を作ってほしいです。
17	女性	40代	不明	役所にしかできないことへ業務を集約していくことが必要だと思います。また今後の人口減少にそなえた街づくりを行うべき、税金も湯水のごとくわいてくるものではない。 unnecessary設備投資や補助は打ち切るべきではないでしょうか。合併から10年ほとんど何も変わらない高島市、何の合併でしょう。私達市民ももう少し、賢くならないといけませんね。
18	女性	50代	主婦（夫）	高島市を南部、北部に統合して考え、公共施設だけでなく支所、出先機関も含め今のスタイルにこだわらず、もっと柔軟に住民の立場になって（申請、手続きなども）今以上にわかりやすく説明が必要だと思います。何ごとにもマニュアル通りではなく、親切に又、ていねいな対応を切に願います。
19	女性	50代	その他	地域格差が出たり、弱者に不利があるような再編はしないでほしい。
20	女性	50代	不明	公共施設がどこにあるのかわからない。自転車なので、かいものついでによれる所にしか行ったことがない。
21	女性	60代	会社員等	高島の人口が増える為にも働く女性を支援する施設の充実など。
22	女性	60代	会社員等	希望だけで言えば、福祉施設に力を入れて頂きたいが、難しい面もあるかをお願いします。若い世代が減り高齢者が増えるのは分かっていることなので、なるべく、サービスの低下を招かないように願いたいです。
23	女性	60代	主婦（夫）	公共施設いらない物ははぶくこと。
24	女性	60代	アルバイト	今後、人口の減少が益々加速していく事を考えると、子や孫に負担させる意味でも、必要が有るかどうかもっと早く、実行に移すべきである。税収入が減って行く事が、判っているのに、いつまでも、このままで、行くのはどうかと思う。30年の間に調整するなどのんきな事を言わずにどんどん調整すべき。市の必要な財源に当てるべきであり、不要なものにはお金をかけないで下さい。



No.	性別	年齢	職業	自由意見
25	女性	60代	アルバイト	合併で再編が必要なのはよくわかります。市民の意思をよく反映するような形ですすめて下さい。
26	女性	60代	無職	少数意見にふり廻わされず、公共施設等の建設維持に無駄使いをしない様にしてほしいです。
27	女性	60代	無職	改めて各公共施設の利用状況多い事に気付きました。利用人数…等又建物の(善・悪)など検討が必要かと想います。高齢社会とも言われ地域間の密着度も大切にしていきたいです。よろしくお願ひします。お疲れ様です。
28	女性	60代	無職	・人口減少や老朽化の為、統廃合も止むなしとしても、利用しにくくなっては意味をなさないので、足の確保など、利用料金も最小限に。利用したくなる施設や企画に心がけて下さい。・問に対する答 3 つの数制限には、選択に苦しみました。特に問 8 に関しては、全てに○をしたいと思います。
29	女性	70代	会社員等	6 つの市町村が一つになった事で色々な弊害は仕方がない事だと思つていますが人口の多い町だけに施設が充実されている事だけはさけて欲しい。
30	女性	80超	無職	施設の再編により、合理的な運営を望む。
31	女性	80超	無職	出来るならば高齢者に少しでも暮しやすい地域にして頂ければと思つています。

### 新旭地域

No.	性別	年齢	職業	自由意見
1	男性	30代	会社員等	調査だけで終わらないようにしてください。健全な公共施設運営をよろしくお願ひします。
2	男性	30代	会社員等	方向性①②の考え方で良いと思つています。
3	男性	30代	会社員等	利用回数や利用率は、現在の施設の数を見ると、各地域にあることや、保護者などの休日に利用するといったことがあるため、低い(少ない)数値になることが当然のため、利用率が低いからいらぬ施設ということにはならないのではないか。高島市内であれば、距離の問題は影響が少ないと思うが、施設が減り、利用者が集中してしまうことでのデメリットは考えないといけない。
4	男性	30代	会社員等	今年度より高島市に転居した者ですが、今日のアンケートを通して役割が重複している、又は利用目的がはっきりとしていない施設が多く有ることを初めて知りました。一刻も早い施設の再編を期待しています。
5	男性	30代	会社員等	予算、効率を考え進めていただきたい。人口減少社会に対応すべく大改革していただきたいと思つています。
6	男性	30代	会社員等	専門部署を設置する等により、一局集中で事務を行い、ドライに(担当の感情によらない形)で進めないと進まないと思つています。
7	男性	40代	会社員等	これから住む人が減っていくので、こういう問題は、さけてとおれないので、5年先・10年先を考えて、いろんな人の意見をきいて、これからどうしていくか議論が必要だと思つています。
8	男性	40代	会社員等	市民の意見をきいていただいてありがたいですが、市民の意見を1つ1つ満たそうと市が頑張つて、その結果が、現在の公共施設の乱立となっていると思つています。全国他市の先進事例や成功事例が非常に参考になると思つています。あまり市民の意見にふり回されずに大所高所からの賢明な思慮によって、高島市民を良き方向へ導いていって下さい。
9	男性	50代	会社員等	統廃合・見直し→市民の行政サービスの維持について避けては通れない行財政改革を市民に理解してもらう。小手先の見直しではなく、抜本的に施設関連経費また施設に係る事業経費の大きいものについては、特に廃止(統合)し、そこから生じる経費でその他の市民サービスの向上に充てる。
10	男性	60代	農林漁業	廃校、廃施設で使用可能な建物については起業を目指す者、福祉関係、ボランティア団体等に管理をまかせ自由な発想で活用してもらえば、家賃等の収益増加につながるものと思われ、建物の維持管理についても利用者に負担させる等すれば良い。
11	男性	60代	自営	現在、未来を見据えて時代に合った規模等を計画すべき。
12	男性	60代	自営	いらぬ施設は、早く処分する事。
13	男性	60代	会社員等	2つの方向性は堅持して下さい。ただ、利用率が低くても、行政だからできる、行政でないと出来ないものもあると思うので、その施設の機能・特性を見極めてほしい。

No.	性別	年齢	職業	自由意見
14	男性	60代	会社員等	利用率の少ない施設は廃止すべきです。施設があるだけで、人件費がかかり税金のムダで廃止すべきです。
15	男性	60代	会社員等	公共施設を利用できるようにもっとアピールして欲しい。
16	男性	60代	無職	公共施設を利用することは無いですが、全般的に見てどの施設を取っても中途半端のように思います。そうした意味から施設を存続維持するとすれば、必要に応じて整理統合のうねハード、ソフト面にお金をかけて質の高い内容で取り組むことが必要だと思います。
17	男性	70代	無職	民間に任せられる施設を多くする。
18	男性	80超	無職	無駄な施設は廃止した方がいいと思う。
19	男性	80超	無職	今までも利用しにくかったのに再編削減されたら、ますます利用できない。
20	女性	10代	学生	施設の閉館日や開館時間が減少するのは困る。例えば図書館などそこで学生が勉強するなどしているのもっと長くしてほしいくらい。
21	女性	30代	アルバイト	交通の便が悪いのに利用する近くの公共施設がなくなったりするだろう地域から乗り合いで車を出すなど、考慮が必要だと思う。
22	女性	30代	その他	子育てをしてる人間にとっては、今の図書館だったり、大きな公園だったりはとても助かっています。他の市の方にもうらやましがられます。私としては、どの施設も存続して行って欲しいですが、市の財政面ももちろん大切なので協力したいと思います。ただ残される施設の維持、管理だけは徹底して頂きたいと思います（遊具の点検、草かり、新しい図書、読み聞かせの会など）。
23	女性	40代	会社員等	文化ホールのような日常生活に密着していない施設と図書館のような施設を同じように「統合」「集約」していく方向で検討していくのは間違っている気がします。文化ホールの統合はあっても図書館の統合はあってはならないと思います。特に子供が利用する施設は、学区ごとに整備されるとよいと思うので増やしていただきたいくらいです。
24	女性	40代	アルバイト	市内にしているのは、土日だけで、施設を利用する事がほとんどなく利用したい施設もないので残念。
25	女性	50代	会社員等	再編はむづかしい問題かもしれませんが、今後、子供達が大人になってもすみよいための施設、働く場所としての場所があればと思います。色々大変かもしれませんが市民がすみやすい町つくりのために考えて、再編してほしいと思います。
26	女性	50代	主婦（夫）	大幅な公共施設の削減に賛成です。人口も減少している現状や全体的な施設の老朽化などを考えると思い切った整理をして負の財産をへらすべきだと考えます。
27	女性	50代	アルバイト	市民の意見は確実に取り入れるように努力してほしい。
28	女性	50代	アルバイト	現在ほとんど利用していない。今わかりませんが利用料金無料なのか知りませんが利用する人には無料じゃなくとるべきだと思います。
29	女性	50代	アルバイト	図書館は地域にとってとても大切なものです。これ以上閉館日を減らさないで欲しいです。もちろん各市町村に1つずつはゆずれないと思います。仕事の関係で文化事業を観に行くことがなかなか出来ませんが、財政面の理由だけで、文化的なものを廃止して行くのは慎重にしていきたいなと思います。
30	女性	60代	主婦（夫）	市内の公共施設はほとんど（全く）利用していません。健康に関しては大学病院へ。文化ホール他に関しては他県（大阪）へ文化塾に通ってます。観光に関しては市外へ。という事は、市内の公共施設に関してはどれも中途半端で十分じゃないという事、つまり人口の割には施設が多すぎ、そのためどの施設も中途半端で満足できるだけの機能を果たしていないように思います。全て縮小すべきで、中味の濃い施設にしてはと思います。
31	女性	60代	主婦（夫）	利用度に応じて検討するべきだと思います。
32	女性	60代	アルバイト	公共施設は高島市の合併の時点で今後どのように維持管理をしていくのか（高島市の財政と考）同時進行で考えていくべきではないかと思っています。高齢化が進み、どんな公共施設が必要なのか、住民の方々と考えていく必要があると思います。
33	女性	60代	アルバイト	文化・福祉等充実をしてほしい。今より悪くしない。施設利用料はとらない。健康教室でコミュニティーセンター利用していますが利用料かかると今と同じ回数いけない。目の前の経済的なことではなく介護予防など幅広い視点で考えて下さい。

No.	性別	年齢	職業	自由意見
34	女性	70代	無職	必要性をよく検討して無駄のないようにして頂きたいです。
35	女性	70代	無職	本当に必要な事とムダと思われる事をしっかり調査し、検討して公共施設としてふさわしい活用と運営ができるようにしてほしいです。
36	女性	80超	無職	年寄りには遠くへ行くのが難しいので近くの施設がないと不便でこまります。
37	女性	80超	無職	多少のあつれきがあっても断行すべき。